

八六三(鑛冶)冶金學實驗第一	三	三	三	八六八(鑛冶)鐵冶金學計畫	九	六	三
八六四(鑛冶)冶金學實驗第二	三	三	三	八六九(鑛冶)製造冶金學計畫及製圖	九	六	三
八六五(鑛冶)冶金學實驗第三	三	三	三	八七〇(鑛冶)冶金學實地演習第一			
八六六(鑛冶)冶金學實驗第四	六			八七一(鑛冶)冶金學實地演習第二			
八六七(鑛冶)冶金學計畫及製圖	九	六	三				
							夏季休暇中

第三 摘錄

本學部ハ實驗室列品室ヲ備フルノ外學生ヲシテ實地ノ業ヲ執リ或ハ實地工業上ノ視察ヲ爲シ以テ學理應用ノ知識ヲ養成セシムルヲ目的トシテ別ニ實習規程及學生實習心得等ノ設アリ

第十五章 文學部

第一 職員(同職中ノ氏名ハ)

(六月一日現在)

學部長 教授文學博士文學士 宇野哲人 熊本
 教授 宗教學宗教史講座擔任

ドクトル・オブ・ローズ(カリフォルニア大學)

ドクトル・オノレール(ストラスブール大學)

宗教學宗教史講座擔任	文學博士文學士	姊崎正治	東京
西洋史學第二講座擔任	文學博士文學士	村川堅固	熊本
美學美術史第二講座擔任	文學博士文學士	瀧精一	東京
哲學哲學史第一講座擔任	文學博士文學士	葉木嚴翼	東京
倫理學第一講座擔任	文學博士文學士	吉田熊次	山形
教育學第一講座擔任	文學博士文學士	黑板勝美	長崎
國史學第三講座擔任	文學博士文學士	宇野哲人	熊本
支那哲學支那文學第三講座擔任	文學博士文學士	宇野哲人	熊本
教育學第三講座擔任	文學博士文學士	春山作樹	兵庫
支那哲學支那文學第二講座擔任	文學博士文學士	鹽谷溫	東京

英吉利語學英吉利文學第一講座擔任 文學博士文學士 市河三喜 東京
 國語學國文學第二講座擔任 文學博士文學士 藤村作 福岡
 國史學第一講座擔任 文學博士文學士 辻善之助 東京
 朝鮮史講座擔任 文學博士文學士 池內宏 東京
 心理學(海外出張中) 文學博士文學士 桑田芳藏 鳥取
 倫理學第二講座擔任 文學博士文學士 深作安文 茨城
 倫理學第一講座分擔 文學士 戶田貞三 東京
 社會學第一講座擔任 文學士 橋本進吉 東京
 國語學國文學第一講座擔任 文學士 今井登志喜 長野
 史學地理學講座擔任 文學士 伊藤吉之助 山形
 哲學哲學史第二講座擔任 文學博士文學士 宇井伯壽 愛知
 印度哲學第一講座擔任 文學博士文學士 大西克禮 愛媛
 美學美術史第一講座擔任 文學博士文學士 齋藤勇 福島
 英吉利語學英吉利文學第二講座擔任 文學博士文學士 辰野隆 東京
 佛蘭西語學佛蘭西文學講座擔任 文學博士文學士 木村謹治 秋田
 獨逸語學獨逸文學第一講座擔任 文學博士文學士

教育學第四講座擔任 文學博士文學士 入澤宗壽 鳥取
 東洋史學第一講座擔任 文學士 和田清 神奈川
 言語學講座擔任 文學博士文學士 小倉進平 宮城
 授業擔任

日本法制史 教授法學博士法學士 中田 薰 東京
 精神病學 教授醫學博士醫學士 三宅 曠 一 東京
 生理學 教授醫學博士醫學士 永井 潛 東京

助教授

教育學 文學士 阿部重孝 新潟
 教育學第五講座擔任 文學博士文學士 石橋智信 北海道
 宗教學宗教史 文學士 今井時郎 宮城
 社會學 文學士 原田淑人 東京
 社會學第二講座擔任 文學士 增田惟茂 愛媛
 考古學 文學士 山田珠樹 東京
 心理學 文學士 久松潛一 愛知
 佛蘭西文學 文學士
 國語學國文學第三講座擔任 文學士

哲學哲學史 文學士 出 隆 岡山
 國史學 文學博士文學士 中村孝也 群馬
 心理學(在外研究中) 文學士 千輪 浩 岡山
 國史學 文學博士文學士 平泉 澄 福井
 支那語學 文學士 竹田 復 山梨
 英吉利語學 文學士 澤村寅二郎 京都
 梵語學 文學博士文學士 長井真琴 福井
 印度哲學 文學士 宇野圓空 京都
 宗教學 文學士 福島直四郎 東京
 梵語學 文學士 高田真治 大分
 支那哲學 文學士 加藤 繁 東京
 東洋史學 文學士 金田一京助 岩手
 言語學 文學士 伊能 新湯 東京
 美術史 文學士 山 中謙二 長野
 印度哲學 第二講座擔任 (ドクトル・オブ・フイロソフイー) 文學士 宮本正尊 新潟
 印度哲學 第一講座擔任 (オックスフォード大學) 文學士 山中謙二 長野

佛蘭西語學佛蘭西文學

教育學

獨逸語學獨逸文學

授業擔當

人類學

應用心理學

講師

助教授理學博士 松村 瞭 茨城
 助教授文學博士文學士 淡路圓治郎 東京

論理學

神道 講座分擔

佛蘭西語學

宗教學宗教史

哲學

國文學

心理學

西藏語及西藏佛教

第十五章 文學部 職員

文學士 鈴木信太郎 埼玉
 文學士 上村福幸 熊本
 文學士 相良守峯 山形
 文學博士文學士 紀平正美 三重
 文學博士文學士 宮地直一 高知
 文學士 豐島與志雄 福岡
 文學博士文學士 矢吹慶輝 福岡
 文學士 大島正徳 神奈川
 文學士 志田義秀 富山
 文學士 城戸幡太郎 愛媛
 文學士 池田澄達 長野

- 演劇史 文學博士 高野辰之 東京
- 獨逸語學 文學士 立澤剛 福岡
- 獨逸語學 文學士 新關良三 山形
- 英吉利語學 文學士 井手義行 熊本
- 倫理學 文學士 長屋喜一 岐阜
- 社會學 文學士 松岡潤一郎 千葉
- 倫理學 文學士 友枝高彦 福岡
- 國史學 文學士 相田二郎 神奈川
- 社會學 文學士 綿貫哲雄 群馬
- 獨逸語學獨逸文學 博士ル・フィロソフィエー(ライプツヒ大學) エルヴィン・ヤーン 獨逸
- 露西亞語學露西亞文學 文學士 八杉貞利 東京
- 支那文學 文學士 佐久節 茨城
- 英吉利文學 博士エラー・オブ・リテレチュア(オックスフォード大學) アーチー・スタントン・ホイットフィールド 英國
- 英吉利語學英吉利文學 博士エラー・オブ・アーツ(ケンブリッジ大學) ウキリアム・エンブスン 英國
- 英吉利語學 文學士 佐々木達 廣島

揚學倫 民中國華

- 支那語學 佛蘭西語學佛蘭西文學 博士ル・ド・テオロジイ(フリーブル大學) ドクトル・エス・レツトル(フリーブル大學) ビエール・アンベルクロード 佛國
- 言語學 文學士 神保格 東京
- 希臘語羅旬語學 文學士 神田盾夫 東京
- 支那語學 戴恩霖 中國華
- 神道講座分擔 文學博士 山本信哉 愛媛
- 音樂論 文學士 出邊尙雄 大阪
- 神話學 文學士 松村武雄 熊本
- 神道 文學士 原田敏明 熊本
- 蘭學 文學士 板澤武雄 東京

史料編纂官

- 文學博士文學士 辻善之助 東京
- 文學博士 和田英松 東京
- 文學士 中村勝麻呂 滋賀

文學博士文學士	渡邊 世祐	山口
文學博士文學士	中山久四郎	東京
文學士	龍 肅	東京
文學博士	鷲尾順敬	大阪
文學博士	山本信哉	愛媛
文學士	花見朔巳	福島
文學博士文學士	中村孝也	群馬
文學士	伊木壽一	山口
	井野邊茂雄	高知
	岩橋小彌太	京都
	高柳 尙	静岡

第二 規程

第一條 本學部ニ左ノ學科ヲ設ク

國文學、國史學、支那哲學、支那文學、東洋史學、西洋史學、哲學、印度哲學、梵文學、心理學、倫理學、宗教學、宗教史、社會學、教育學、美學、美術史、言語學、英吉利文學、獨逸文學、佛蘭西文

學

第二條 入學志望者ハ其ノ學修セントスル學科ヲ入學願書ニ記入スヘシ

學生轉科ヲ出願スルトキハ學年ノ始メニ限り許可スルコトアルヘシ

第三條 學生ハ在學中別表第一ニ依リ所屬學科ノ授業科目ヲ修了スルヲ要シ其ノ

他任意ニ本學部ニ於ケル授業科目ヲ學修スルコトヲ得

他學部ニ於ケル授業科目ヲ學修セントスルトキハ本學部長及關係學部長ノ許可

ヲ受クヘシ

第四條 一授業科目一學年每週二時間乃至四時間ヲ以テ授業ノ一單位トス但シ同

一學年ニ於ケル二種ノ授業科目ヲ合セテ一單位トナスコトアルヘシ

別ニ定ムル所ノ外國語學修課程ニ依ル外國語ハ各期ノ授業ヲ以テ各一單位トナ

スコトヲ得

第五條 學生ハ每學年六單位以上ノ授業科目ヲ學修スヘシ

第六條 授業科目ノ題目ハ每學年ノ始メニ之ヲ發表ス

第七條 學生ハ每學年學修セントスル授業科目ヲ五月末日マテニ届出ツヘシ

届出ヲナササル科目ハ之ヲ學修スルコトヲ得ス

第八條 授業科目ノ修了ハ試験ニ依リ之ヲ證明ス
 修了試験ハ其ノ學年内ニ學修セル科目ニツキ之ヲ受クルモノトス
 第九條 休學シタル者ハ其ノ學年ノ修了試験ヲ受クルコトヲ得ス
 第十條 修了試験ハ三月一日ヨリ三月十五日マテニ之ヲ行フ但シ學年ノ中途ニ於テ完結スル授業ニ在リテハ隨時之ヲ行フコトアルヘシ
 第十一條 修了試験ヲ受ケントスル者ハ一月三十一日マテニ受験科目ヲ届出ツヘシ但シ學年ノ中途ニ於テ完結スル授業ニ在リテハ其ノ都度之ヲ届出ツヘシ
 第十二條 大學令第十條ニ依リ本學部ノ試験ヲ受ケ文學士ト稱スルコトヲ得ルニハ別表第一各學科所定ノ科目單位數ヲ合セテ授業科目二十一單位以上ヲ修了シ卒業試験ニ合格スルコトヲ要ス
 第十三條 卒業試験ハ論文試験及口述試験トス但シ口述試験ハ場合ニ依リテ之ヲ省略スルコトアルヘシ
 第十四條 卒業試験ノ論文ヲ提出セントスル者ハ二箇年以上在學シ授業科目十五單位以上ヲ修了シタル者ナルヲ要ス

第十五條 卒業試験ノ論文ノ題目ハ六月十五日マテニ當該學科教員ノ承認ヲ經テ十一月三十日マテニ届出ツヘシ
 第十六條 卒業試験ノ論文ハ十二月二十八日マテニ之ヲ學部長ニ提出スヘシ
 第十七條 口述試験ハ三月十六日以後ニ於テ之ヲ行フ
 第十八條 論文試験ニ合格シタル者修了試験又ハ口述試験ニ出席スルコト能ハサル時ハ當該科目試験施行以前ニ其ノ事情ヲ具シテ願出テタル場合ニ限り教授會ノ議ヲ經テ特別試験ヲ許可スルコトアルヘシ
 第十九條 修了試験及卒業試験成績ハ甲乙丙丁ノ四等トシ丙以上ヲ合格トス
 第二十條 卒業後教員無試験檢定ヲ受ケントスル者ハ其ノ志望ニ應シ在學中第十二條所定ノ授業科目ニ別表第二若クハ第三ノ科目ヲ含メテ修了スルコトヲ要ス
 第二十一條 在學六學年ニ及ヒ卒業試験ニ合格セサル者ハ之ヲ除籍ス但シ休學シタル學年ハ之ヲ算入セス

別表第一

學科	科目	單位數
國文學	國語學	一〇

學科	科目	單位數
支那哲學	支那哲學	七
支那文學	支那文學	九
印度哲學	印度哲學	八
梵文學	梵文學	八

第一條 本規程ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
 第二條 舊規程ニヨリ支那哲學科支那文學科印度哲學科梵文學科美學美術史學科
 へ入學シタル學生ハ左表ニ從ヒ所屬學科ノ授業科目ヲ修了スルコトヲ要ス

附則

言語學	英語學	獨逸文學	佛蘭西文學
英語學	獨逸文學	佛蘭西文學	佛蘭西文學
七	一一	一一	一一

國史學	支那哲學	支那文學	東洋史學	西洋史學	哲學	印度哲學	梵文學	心理學	倫理學	宗教學	社會學	教育學	美術史
國史學	支那哲學	支那文學	東洋史學	西洋史學	哲學	印度哲學	梵文學	心理學	倫理學	宗教學	社會學	教育學	美術史
一〇	(甲)支那哲學 五 (乙)支那語學 二	支那文學 五 支那哲學 二	九	七	八	(甲)印度哲學 七 (乙)梵語學梵文學 七	七	七	八	八	八	八	(甲)美術史 六 (乙)美術史 四

第三條 前條ノ規定ハ昭和九年三月三十一日マテ其ノ効力ヲ有ス

別表第二中學校師範學校高等女學校教員無試驗檢定ニ關スル分

檢定科目	修了科目及單位數
修身	倫理學概論(一) 倫理學「東洋及西洋」(二) 社會學概論(一) 哲學概論(一) 教育學概論(一) 教育史概論(一)
教育	教育行政(一) 教育史概論(一) 各科教授論(一) 社會學概論(一) 教育行政(一) 心理學概論(一) 倫理學概論(一)
國語漢文	國語學、國文學、支那哲學、支那文學(一〇) 言語學概論(一) 教育學概論(一) 教育史概論(一)
歷史	國史概論、東洋史概論、西洋史概論、國史學、東洋史學、西洋史學(一三) 教育學概論(一) 教育史概論(一)
英語	(甲) 英吉利語學英吉利文學(七) 言語學概論(一) 教育學概論(一) 教育史概論(一) (乙) 高等學校ニ於テ第一外國語トシテ履修シ更ニ本學部ニ於テ外國語學修課程ヲ 修了シ且教育學概論、教育史概論各一單位ヲ修了シタルモ、
獨語	(甲) 獨逸語學獨逸文學(七) 言語學概論(一) 教育學概論(一) 教育史概論(一) (乙) 同前
佛語	(甲) 佛蘭西語學佛蘭西文學(七) 言語學概論(一) 教育學概論(一) 教育史概論(一) (乙) 同前
公民科	倫理學「東洋、西洋」(二) 社會學(一) 憲法(一) 行政法「總論、各論」(二) 民法「總則、親族及相續」(二) 經濟學「原論、政策」(二) 社會政策(二)

附則

本規程ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

別表第三高等學校教員無試驗檢定ニ關スル分

檢定科目	修了科目及單位數
修身	倫理學概論(一) 倫理學「東洋及西洋」(四) 支那哲學(一) 印度哲學又ハ宗教學 概論(一) 社會學概論(一) 哲學(二) 教育學(二)
國語	國語學、國文學(九) 支那哲學、支那文學(三) 教育學(二)
漢文	支那哲學、支那文學(九) 國語學、國文學(三) 教育學(二)
英語	英吉利語學英吉利文學(九) 言語學概論(一) 教育學(二)
佛語	佛蘭西語學佛蘭西文學(九) 言語學概論(一) 教育學(二)
獨語	獨逸語學獨逸文學(九) 言語學概論(一) 教育學(二)
日本史及東洋史	史學概論、國史概論、東洋史概論、西洋史概論、國史學、東洋史學(一五) 教育學(二) 教育學(二)
西洋史	史學概論、西洋史概論、西洋史學、國史概論、東洋史概論、東洋史學(一三) 教育學(二)
哲學概論	哲學概論(一) 東洋哲學史概論(二) 支那哲學又ハ印度哲學(一) 西洋哲學史概 論(二) 哲學(二) 心理學概論又ハ社會學概論(一) 倫理學概論又ハ美學概論若 ハ宗教學概論(一) 教育學(二)
心理及論理	倫理學概論(一) 心理學(三) 論理學(一) 哲學概論(一) 哲學(二) 倫理學概論(二) 社會學概論(一) 教育學(二)

外國語學修課程

第一條 本規程ニ依ル外國語ハ英吉利語、獨逸語、佛蘭西語ノ三種トス
 第二條 前條ノ外國語ヲ學修セントスル者ハ其ノ一種ヲ選定シ五月末日マテニ届出ツヘシ

第三條 學修期間ヲ前期後期ニ分チ各一學年トス

第四條 別表第二ニ依リ外國語ノ教員無試験檢定ヲ受ケントスル者ハ二學年間之ヲ學修スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ在リテハ前期ノ課程ヲ修了シタル者ニアラサレハ後期ノ課程ヲ學修スルコトヲ得ス

第五條 修了試験ハ每期ノ終ニ於テ之ヲ行フ

第三 摘錄

本學部ニ史料編纂所アリ本所ノ事業ハ明治二年四月四日勅語ヲ三條太政大臣ニ賜ヒ修史ノ業ヲ興スヘキ旨ヲ宣ハセラレタルニ濫觴ス其後數々官制ノ沿革アリ同二十一年內閣修史局ヲ廢セラレ其著手ノ修史事業ヲ本學ニ屬セラル、ニ及ヒ編年史編纂掛ヲ設置セラル同二十八年四月ソノ名稱ヲ史料編纂掛ト改メ又昭和四年七月

史料編纂所ト改メラル創業以來國史材料ノ蒐集ト其編纂トニ從事セシカ編年史料ノ稿大略成リタルヲ以テ明治三十三年四月ヨリ更ニ大ニ修訂ヲ加ヘ漸次ニ大日本史料、大日本古文書ノ名ヲ以テ出版シ大日本史料ニアリテハ先ツ鎌倉時代、南北朝時代、江戸時代ノ三部ヲ置キ大日本古文書ノ部ト共ニ孰レモ引續キ編纂出版ニ從事セリ明治三十八年四月史料編纂官等ノ官制ヲ設ケラレシカ大正十三年九月更ニ史料編纂官等ノ定員ヲ増加シ平安時代ヨリ江戸時代ニ至ル間各時代ノ區分ニ從ヒ既設編纂部ト合セテ十一編纂部ヲ設ケ以テ各時代ノ大日本史料ノ編纂出版ヲ一齊ニ開始スルコト、セリ又明治三十九年八月外務省ヨリ其從來編纂中ナリシ幕末外國關係文書集編纂事業ト之ニ關スル書類トヲ引繼キテ更ニ修正増補ヲ加ヘ同四十二年度ヨリ幕末外國關係文書ト題シ大日本古文書ノ一部分トシテ漸次出版スルニ至レリ今日マテニ出版セルモノハ史料百二十五冊、古文書五十七冊トス又大日本史料ノ綱要ヲ摘錄シテ史料綜覽ト題シ第一冊ヨリ第七冊マテ編纂出版セリ又王政復古ニ關スル編年史料ナル復古記ヲ印刷シ十五冊ヲ出版セリ此他歴史科教授用參考掛圖ト題シテ從來諸方面ヨリ蒐集シタル肖像畫及ヒ其他ノ繪畫中ヨリ教育上ニ必要ナルモノヲ擇ヒ十二輯百二十七種、百四十四枚ヲ、又史林聚芳ト名ツケテ珍貴ナル古文

書、繪畫ノ類ヲ收メテ七輯六十三種、八十四枚ヲ、又古簡集影ト名ツケテ希觀ノ文書典籍ヲ複製シテ十四輯八種(二百八十九枚)ヲ又古文書時代鑑ト稱シテ各時代古文書ノ代表的ノモノヲ收メ正編上下二輯二百十種(二百四十枚)ヲ續編上下二輯二百十六種(二百四十枚)ヲ出版セリ以上ノ事業進行ニツイテ其材料ノ蒐集ハ年ヲ逐フテ増加シ其主ナルモノハ奈良正倉院御物ノ古文書ヲ始メ社寺諸家等ノモノニシテ其數ハ古文書約十七萬六千餘通古記録等六萬二百三十餘點肖像畫ノ模寫九百三十一點古地圖類等ノ模寫五百三十八點肖像畫、繪卷物、古文書等ノ寫真一萬八千二百五十點ニ上レリ故ニ圖書館ト同シク教授學生ノ研究ニ資スルコトハ勿論又各府縣郡市町村史編纂ノ爲メ或ハ華族其他ノ諸向ヨリ家史若クハ特殊ノ事項取調ノ爲メ等其資料ヲ此ニ取ルモノ亦少カラス又時々史料展覽會ヲ開キ古文書古記録、圖畫等ヲ陳列シテ専門家ヲシテ研究ノ資料ヲ得シメ衆人ヲシテ歴史ノ興味ヲ感得セシム

文學部新聞研究室ハ昭和四年七月有志ノ寄附金ヲ基金トシテ設置セシモノニシテ文學部長ノ監督ニ屬シ法、文、經濟三學部教授中ヨリ一名宛研究指導ヲ囑託セリ研究生ハ每年法、文、經濟三學部ノ學生ノ志望者中ヨリ十數名ヲ選抜シテ入室ヲ許可ス

第十六章 理學部

第一 職員(同職中ノ氏名ハ)

(六月一日現在)

學部長

教授理學博士理學士 柴田 桂太 東京

教授

數學第三講座擔任

ドクトル・オノリス・コーサ(オスロ大學)

數學第二講座擔任

數學第五講座擔任

植物生理化學講座擔任

植物學第二講座擔任

航空物理學第一講座擔任

理論物理學第一講座擔任

化學第二講座擔任

化學第三講座擔任

星學第一講座擔任

地質學第三講座擔任

理學博士理學士 高木 貞治 岐阜

理學博士理學士 吉江 琢兒 山形

理學博士理學士 中川 銓吉 東京

理學博士理學士 柴田 桂太 東京

理學博士理學士 寺澤 寛一 東京

理學博士理學士 片山 正夫 東京

理學博士理學士 柴田 雄次 東京

理學博士理學士 平山 清次 宮城

理學博士理學士 加藤 武夫 山形

星學第二講座擔任

理學博士 理學士 早乙女清房 東京

數學第一講座擔任

理學博士 理學士 竹内端三 東京

動物學第一講座擔任

ドクトル・オブ・フィロソフィー(コロンビア大學)

理學博士 理學士 谷津直秀 東京

植物學第一講座分擔

理學博士 理學士 早田文藏 東京

化學第一講座擔任

理學博士 理學士 鮫島實三郎 東京

結晶學講座擔任

理學博士 理學士 西川正治 東京

氣象學講座擔任(海外出張中)

理學博士 理學士 藤原咲平 長野

物理學第一講座擔任

理學博士 理學士 清水武雄 石川

物理學第三講座擔任

理學博士 理學士 田中務 福岡

植物學第一講座分擔

理學博士 理學士 中井猛之進 山口

植物學第三講座分擔

理學博士 理學士 坪井誠太郎 東京

地質學第一講座擔任(海外出張中)

理學博士 理學士 木内政藏 東京

物理學第二講座擔任

理學博士 理學士 木村健二郎 東京

分析化學講座擔任

理學博士 理學士 神奈川

物理學

教授 理學博士 理學士 寺田寅彦 高知

應用化學

教授 工學博士 工學士 龜山直人 東京

物理金相學

教授 理學博士 理學士 小林辰男 岡山

助教

動物學第三講座擔任

理學博士 理學士 田中茂穂 東京

電氣化學講座擔任

理學博士 理學士 山口與平 静岡

化學第四講座擔任

理學博士 理學士 久保田勉之助 千葉

地理學講座擔任

理學士 辻村太郎 神奈川

星學

理學博士 理學士 萩原雄祐 大阪

地震學講座擔任

理學博士 理學士 松澤武雄 埼玉

數學第四講座擔任

理學博士 理學士 末綱恕一 大分

星學

理學士 福見尙文 愛媛

植物學第二講座分擔

理學博士 理學士 中野治房 千葉

物理學第二講座擔任

理學士 酒井佐明 東京

生物學講座擔任

理學士 左右田徳郎 神奈川

人類學	理學博士 松村 瞭	茨城
礦物學 講座擔任	理學士 伊藤 貞市	大阪
數學	理學博士 辻 正次	三重
物理學 講座擔任	理學士 落合 麒一郎	東京
化學	理學博士 水島 三一郎	東京
植物學 第三講座分擔	理學博士 小倉 謙	宮城
物理學 第一講座分擔	理學士 坂井 卓三	靜岡
動物學 第二講座擔任	理學士 合田 得輔	山口
地理學	理學士 多田 文男	東京
地震學	理學士 岸上 冬彦	東京
物理學 第一講座分擔	理學士 小谷 正雄	兵庫
化學	理學博士 漆原 義之	東京
植物學	理學博士 牧野 富太郎	高知
化學	理學博士 飯盛 里安	東京
講師		

星學	理學士 橋元 昌矣	岩手
礦物學(在外研究中)	理學士 南 英一	東京
植物學 講座擔任	理學博士 篠遠 喜人	長野
遺傳學 第三講座分擔	理學博士 關口 鯉吉	靜岡
星學	理學士 和田 文吉	大分
植物學	理學士 鎌田 武雄	東京
動物學(在外研究中)	理學士 河角 廣	長野
地震學	理學博士 德永 重康	東京
地質學 第二講座分擔	理學博士 矢部長 克	東京
地質學 第二講座分擔	理學士 福地 信世	東京
礦物學	理學博士 福地 信世	東京
工業物理學 講座擔任	工學博士 本多 侃士	長野
金相學	理學博士 仁田 勇	靜岡
動物生理學	醫學博士 福田 邦三	岡山
動物學	理學士 丘 英通	東京
海洋學	理學博士 小倉 伸吉	宮城

礦物化學 理學士 吉村 恂 廣島
 植物學 理學博士 田宮 博 大阪
 物理學 理學士 小穴 純 長野
 放射能作學 講座擔任 理學士 嵯峨根 遼吉 長崎

第二 學科課程

第一條 本學部ニ左ノ十學科ヲ置ク

- 數學科 天文學科
- 物理學科 化學科
- 動物學科 植物學科
- 地質學科 礦物學科
- 地理學科 地震學科

學生ハ一ノ學科ニ就キテ入學ヲ許可セララルモノトス

第二條 各學科ノ授業科目ヲ必修科目、選擇科目、參考科目ノ三種トス

第三條 學生ハ其ノ所屬以外ノ學科ノ授業科目ヲモ學修スルコトヲ得

第四條 學生ハ每學年ノ始メニ於テ當該學年間ニ學修セント欲スル科目ヲ定メテ

之ヲ申請シ許可ヲ受クヘシ
 授業ノ開始期カ學年ノ始メニアラサル科目ニアリテハ其ノ時ニ於テ前項ノ申請
 ナナスコトヲ得

第五條 一科目ニ就キ前條ノ申請ヲナス學生ノ員數學修セシメ得ヘキ人員ニ超過

スルトキハ左ノ順位ニヨリ之ヲ許可ス

- 一 當該科目ヲ必修科目トスル者
- 二 當該科目ヲ選擇科目トスル者
- 三 當該科目ヲ參考科目トスル者
- 四 其ノ他ノ者

同一順位ノ者ニ就キテノ順序ハ適宜之ヲ定ム

第六條 各科目ノ成績ハ優良、可、不可ノ四等トシ優良、可ヲ合格トス

前項ノ成績ハ擔任教員ノ報告ニ基キ教授會ニ於テ之ヲ決定ス

第七條 學修セル科目及成績ハ學生ノ請求ニヨリ學修簿ニ記入シテ擔任教員之ヲ
 證明ス

第八條 三學年以上在學シ所屬學科ノ必修科目全部及左ノ標準ニヨル選擇科目ニ

就キ合格ノ成績ヲ得タル者ヲ卒業者トス

- 數學科 二科目以上
- 天文學科 三科目以上
- 物理學科 甲乙ノ内一以上
- 化學科 甲乙丙丁ノ内一以上
- 動物學科 三科目以上
- 植物學科 二科目以上
- 地質學科 甲乙ノ内一以上
- 礦物學科 二科目以上
- 地理學科 三科目以上
- 地震學科 三科目以上

第九條 在學期間ハ六學年以上ニ涉ルコトヲ得ス但シ休學シタル學年ハ之ヲ算入セズ

第十條 前項ノ期間ハ再入學及轉科シタル者ニ就キテハ教授會ニ於テ別ニ之ヲ定ム
各學科ニ於ケル授業科目左ノ如シ

數 學 科		必 修 科 目		期 間	每 週 時 數	每 週 回 數
微分積分學	一年	球面天文學及最小二乘法	一年	一年	三	三
代數	一年	軌道論	半年	一年	二	二
幾何學	一年	天體力學	一年	一年	三	三
函數論	一年	實地天文學	一年	一年	二	二
微分方程式論	一年	天體物理學	一年	一年	一	一
力學(質點及剛體)	一年	曆ノ計算演習	一年	一年	一	一
特別講義	一年	天體觀測(第一)	半年	一年	二	二
數學講究	一年	天文學講究又ハ實地研究	一年	一年	三	三
撰擇科目	一年	微分積分學	一年	一年	四	四
代數及整數論	一年	力學(質點、剛體、流體)	一年	一年	三	三
綜合幾何學及	一年	一般物理學	一年	一年	二	二
確率及統計學	一年	光學	一年	一年	二	二
球面天文學	一年	選擇科目	一年	一年	二	二
天體力學	一年	物性論及熱學	一年	一年	二	二
流體力學	半年	電氣磁氣學	一年	一年	三	三
一般物理學	一年	物理學實驗(第一段)	一年	一年	二	二
物理學實驗	一年	物理學實驗(第二段)	一年	一年	二	二
天文學科	一年	物理數學	一年	一年	四	四
		天體觀測(第二)	一年	一年	二	二

代數學	一年	二	演習一
幾何學	一年	三	演習一
函數論	一年	三	演習一
微分方程式論	一年	三	演習一
確率及統計	一年	二	
參考科目			
一般天文學			
太陰運動論			
天體力學特別講義			
地震學			
地球物理學			
氣象學			
相對論			
幾何光學			
原子構造及量子力學			
物理學ニ於ケル統計現象			
彈性論及音響學			
物理學科			
必修科目	期間	每週時數	每週回数
力學(質點、剛體、流體)	一年	四	演習一

物性論及熱學	一年	二	演習一
彈性論及音響學	半年	二	演習一
熱力學氣體論及熱輻射論	一年	二	演習一
電氣磁氣學	一年	三	演習一
光學	一年	二	演習一
放射能作學	半年	二	
X線	半年	二	
相對論	半年	二	
原子構造及量子力學	半年	二	
物理學實驗(第一段)	一年	四	演習一
物理學實驗(第二段)	一年	二	
物理學論講	一年	一	
選擇科目			
甲、物理學講習	一年	二	
乙、物理學特別實驗	一年	一	
參考科目			
(適宜左記並ニ其ノ他ノ題目ノ内ヨリ開講ス)			
力學特別講義			
結晶學及結晶物理學			

幾何光學			
物理金相學			
氣象學			
物理學ニ於ケル統計現象			
航空物理學			
應用電氣學			
微分積分學			
幾何學			
代數學			
函數學			
微分方程式			
積分方程式			
化學通論			
化學實驗			
球面天文學及最小二乘法			
天體物理學			
地震學			
地球物理學			
化學科			
必修科目			

化學通論	一年	三	
無機化學	一年	五	
有機化學	一年	五	
物理化學	一年	三	
分析化學	一年	二	
應用化學	一年	四	
一般物理學	一年	三	
分析化學實驗	一年		
無機化學實驗	一年		
有機化學實驗	一年		
物理化學實驗	一年		
特別問題實驗	一年		
選擇科目			
甲、電氣化學及實驗	一年	三	
乙、生物化學及實驗	一年	三	
丙、鑛物學	一年	二	
鑛物學實驗	一年		
丁、電氣磁氣學	一年	三	
物理學實驗	一年		
參考科目			

第十六章 理學部 學科課程

遺傳學	植物生態學	植物生理學	植物形態學	隱花植物學	植物分類學	植物學	植物化學實驗	古生物學實驗	生理學實習	遺傳學實習	植物生理學實習	植物組織學實習	植物分類學實習	細菌學及實驗	化學通論	一般物理學	病理總論
一年	半年	一年	一年	一年	一年	一年	半年	一年	一年	一年	一年	一年	半年	一年	一年	一年	一年
二	三	三	三	二	三									三	三	三	
							二	一		一	三	二	二	二			

參考科目	動物細胞組織實習	動物學實習	地史學	人體生理學一般	動物細胞組織學	動物實驗形態學	動物學總論	無脊椎動物學及實驗	脊椎動物學	特別研究及論文	生物化學實驗	遺傳學實習	植物生理學實習	植物組織學實習	植物學野外實習	植物學	細菌學及實驗	生物化學
	半年	一年	半年	一年	半年	一年	半年	一年	一年	半年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	半年	一年
	二		三	二	三	二	二	三	二								二	
																		隨時

理學部
學科課程
第十六章

動物生理學實習	動物學海實習	動物學實習	脊椎動物發生學	動物細胞組織學	動物實驗形態學	動物生理學	脊椎動物學	無脊椎動物學	動物學總論	動物學	植物學	金相學	有機化學實驗法	膠質化學	分光化學	原子論、放射論	物理化學	數學
一年	夏季休業中二週間	一年	半年	半年	一年	一年	半年	半年	半年	半年	一年	半年	一年	半年	半年	半年	一年	一年
			三	三	二	二	三	三	二			三	三	二	三	三	二	三

心理學概論	普通地質學	人類學	生物化學	古生物學	人體解剖學	人體生理學	人體生理學一般	遺傳學	植物生理學	植物生態學	植物學	隱花植物學	植物分類學	昆蟲學	特別研究及論文	脊椎動物發生學實習	動物細胞組織學實習	動物生理學海實習
半年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	一年	半年	一年	一年	一年	一年	半年	半年	半年	半年	夏季休業中二週間
三	二		二	二			二	二	三	三	三	二	三	二				

二一四

植物學特別講義	一年	二	
動物生理學	一年	二	
普通地質學	半年	三	
古生物學	一年	二	
地質學	一年	三	
一般物理學	一年	三	
化學通論	一年	三	
有機化學	一年	五	
動物學臨海實習	冬季休業中一週間		
地質學科			
必修科目	期 間	每週時數	每週回数
普通地質學	半年	三	一
地史學及實驗	半年	三	一
地質學野外巡檢	半年	三	一
地質學實驗	半年	三	一
地質圖學及演習	半年	三	一
岩石學及實驗	半年	三	一
應用地質學及實習	半年	三	一
鑛物學及實驗	一年	三	一
地質學演習	一年	二	一

特別研究及論文	一年	三	三
選擇科目			
化學通論	一年	三	一
化學實驗	半年	一	一
甲 岩漿論及變成論	半年	一	一
鑛物化學及實驗	半年	二	一
一般物理學	一年	三	一
及左ノ科目ノ中二科目以上			
岩石學特別實驗	半年	二	一
結晶學及實驗	半年	二	一
數 學	一年	三	一
物理學實驗(第一段)	一年	三	二
物理化學	一年	三	二
無機化學	一年	五	二
物理金相學	半年	三	一
放射學	半年	三	一
地球物理學	半年	二	一
地震學	半年	二	一
自然地理學	一年	三	一
地 誌	一年	二	一
石油探鑛學	一年	二	一

古生物學及實驗	一年	二	一
層 位 學			
但シ岩石學特別實驗ヲ選擇スルモノハ必ス物			
理學實驗第一段ヲ修得スヘキモノトス			
古生物學及實驗	一年	二	一
動物學	一年	三	一
植物分類學	一年	三	一
自然地理學	一年	三	一
及左ノ科目ノ中一科目以上			
岩漿論及變成論	半年	一	一
地 震 學	半年	二	一
地 誌	一年	二	一
人類學	一年	二	一
植物學實驗	一年	二	一
地球物理學	一年	二	一
海洋學	一年	二	一
遺傳學	一年	二	一
石油探鑛學	一年	二	一
層 位 學	一年	二	一
一般物理學	一年	三	一
鑛物學科			

必修科目	期 間	每週時數	每週回数
鑛物學及實驗	一年	二	二
結晶學及實驗	半年	二	一
岩石學及實驗	半年	三	一
化學實驗	半年	二	一
鑛物學野外巡檢	半年	三	一
特別研究及論文	半年	二	一
鑛物化學及實驗	半年	二	一
岩漿論及變成論	半年	一	一
化學通論	一年	三	一
一般物理學	一年	三	一
普通地質學	半年	三	一
鑛物學實習	半年	三	一
選擇科目			
無機化學	一年	五	二
物理化學	一年	三	一
分析化學	一年	二	一
數 學	一年	三	一
結晶物理學	半年	三	一
物理學實驗(第一段)	一年	三	二

應用地質學及實習	一年	三	一
地史學及實驗	半年	三	一
地質圖學及演習	半年	三	一
右ノ科目中二科目以上			
地理學科			
必修科目			
自然地理學	一年	三	一
人文地理學	一年	三	一
地誌(甲)(隔年開講)	一年	二	一
地誌(乙)(隔年開講)	一年	二	一
地理學演習	一年	二	一
地理學研究	一年	二	一
地理學巡檢	一年	二	一
圖學及實習	一年	二	一
選擇科目			
地理學特別講義	半年	一	
普通地質學	半年	三	
地史學	半年	三	
岩石學及實驗	半年	三	
礦物學	一年	二	

礦物學實驗	一年	一
一般物理學	一年	一
物理學實驗	一年	三
地點測定法實習	半年	一
地球物理學	半年	一
海洋學	半年	一
氣象學	半年	一
地震學	半年	一
人類學	半年	一
史學概論	半年	一
國法學	半年	一
參考科目		
一般天文學	一年	一
測地學	一年	一
政治學	一年	一
社會學	一年	一
經濟學	一年	一
統計學	一年	一
地震學科		
必修科目		

地震計測學及實習(第一段)	半年	二	一
地震計測學及實習(第二段)	一年	二	一
物性論及熱學	一年	二	一
彈性論及音響學	半年	二	一
物理學實驗(第一段)	一年	二	一
物理學實驗(第二段)	一年	二	一
力學(質點、剛體、流體)	一年	四	一
物理數學	一年	四	一
地球物理學	半年	二	
普通地質學	半年	三	
地史學及實驗	半年	三	
地震學特別講義	半年	三	
地震學特別研究及論文	半年	三	
地質學野外巡檢	半年	三	
選擇科目			
材料強弱論	一年	二	

氣象學	一年	一
天體物理學	一年	一
岩石學及實驗	半年	三
熱力學氣體論及熱射論	一年	二
熱氣磁氣學	一年	三
電氣磁氣學	一年	三
確率及其應用	一年	二
積分方程式	一年	二
積分學	一年	二
微分積分學	一年	三
土木工程大意	一年	二
建築學大意	一年	二
火山物理學	半年	一
火山論	半年	一
地形學	一年	一
海洋學	半年	一
放射能學	半年	一
其他	半年	二

附則

本改正施行ノ際(昭和五年)現ニ在學スル學生ノ卒業ニ必要ナル學科目ハ新舊學科

課程ヲ參酌シテ教授會ニ於テ之ヲ定ム

本改正施行ノ際(昭和六年五月二十日)現ニ動物學科及植物學科ニ在學スル學生ノ卒業ニ必要ナル學科目ハ新舊學科課程ヲ參酌シテ教授會ニ於テ之ヲ定ム

第三 摘錄

本學部ハ各教室所屬ノ標本室ヲ有スルノ外本學部附屬植物園同臨海實驗所地震學實驗所等ノ諸設備アリ

植物園ハ其ノ面積四萬八千八百餘坪ヲ有シ小石川區白山御殿町ニ在リ園内ニハ遍ク内外各地ノ植物ヲ栽培シ以テ職員學生ノ實驗用ニ資ス其ノ種類今ヤ三千餘種ニ及ヘリ而シテ園内ヲ區劃シテ植物分類花壇藥用植物花壇有用植物花壇山地植物栽培所水草栽培所樹木園洋式庭園日本式庭園等トス又溫室數棟ヲ有シ專ラ熱帶地方ニ産スル植物ヲ收容シ日本式溫室(陸室大阪室穴室等)ニハ主トシテ琉球臺灣小笠原島等ノ半熱帶植物ヲ收容ス

本園ニ於テハ廣ク海外ノ諸學校植物研究所植物園及植物學者ト種子ノ交換ヲ爲スヲ以テ隔年種子目錄ヲ印刷シテ之ヲ内國ノ諸學校並外國ノ諸植物園大學及植物學者等ニ贈致シ以テ種子ノ選擇ニ便ス

明治三十五年十一月栃木縣日光町字佛岩ニ植物分園ヲ設ケタリシモ土地狹隘ノタメ明治四十二年六月同町字蓮花石ニ移轉シ爾來數回隣接地ヲ購入シテ土地ノ擴張ヲ圖リ現時ハ其ノ總面積一萬九千餘坪ヲ有シ宿舍ノ外ニ實驗室ヲ建設シ高山植物ノ研究ニ便ス蓋シ日光山ハ各種ノ植物ニ富ミ最モ高山植物ノ研究ニ適應ス故ニ茲ニ分園ヲ設ケ一ハ本學ノ職員學生ヲシテ高山植物ノ研究ニ便シ一ハ該地方及各地高山ノ植物ヲ蒐集培養シ且海外ノ高山植物ヲモ移植シ以テ斯學ノ研究ニ資ス大正天皇御治世中毎年夏期日光御用邸ニ御避暑ノ砌ハ毎日玉步ヲ此ノ分園ニ運ハセラレテ其ノ風光ヲ賞シ給ヒシノ光榮ヲ擔ヒタルニ依リ崩御ノ後本學内ノ職員ハ廣ク學外ノ有志者ト相謀リテ昭和二年十月大正天皇行幸記念園ヲ同分園内ノ一劃ニ造營セリ

以上兩植物園共ニ觀覽規則ヲ制定シ衆庶ノ來觀ニ便ス

○理學部附屬植物園觀覽規則

第一條 理學部附屬植物園ハ東京帝國大學職員學生生徒ノ植物學ヲ實地ニ研究スル所トス

此規則ヲ遵守スル者ハ何人ニテモ來觀スルヲ得ヘシ

第二條 本園内ノ植物ハ總テ園長ノ特許ヲ得タル者ニ非レハ自生ノモノト雖モ採折スルコトヲ得ス

第三條 本園ハ毎月一月一日ヲ除ク左ノ時間内ニ於テ來觀ヲ許ス但臨時來觀ヲ謝絶スルコトアルトキハ門外ニ揭示スヘシ

自四月一日 午前六時ヨリ午後五時三十分マテ

自五月一日 午前六時ヨリ午後六時マテ

自八月三十一日 午前七時ヨリ午後五時マテ

自九月三十日 午前七時ヨリ午後四時三十分マテ

自十一月三十日 午前八時ヨリ午後四時マテ

自十二月一日 午前八時ヨリ午後四時マテ

第四條 東京帝國大學職員及學生生徒ヲ除ク外來觀者ハ必ス觀覽券ヲ携フヘシ

但學生ハ制服ヲ着用シ生徒ハ理學部ヨリ交附セル證票ヲ携フヘシ又十年未滿

ノ小兒ハ相當保護者ノ附添アルヲ要ス

第五條 觀覽券ハ左ノ四種トス

通常觀覽券(五歲未滿ノ者ハ觀覽券ヲ要セス 一枚金貳拾錢)

特別觀覽券(溫室山草栽培所其他) 各一枚金五錢

二十回觀覽券 一冊金貳圓八拾錢

五十回觀覽券 一冊金六圓

但諸學校團體觀覽者等ニハ特ニ減額ヲ爲スコトアルヘシ

溫室ノ觀覽ハ毎日曜日祝祭日竝土曜日正午ヨリトス

最モ臨時之ヲ許可スルコトアルヘシ

山草栽培所及其他ノ特別觀覽ハ隨時之ヲ許可ス

第六條 左ノ事項ニ該當スル者ハ入園ヲ謝絶シ又ハ園内ヨリ退出セシムヘシ

一、癡狂者又ハ亂醉者

二、足駄及日和下駄ヲ穿チ又ハ畜類ヲ牽ク者

三、園内ニ於テ飲酒放歌吟誦及其他喧騒ノ所爲アル者

四、風俗ヲ害シ安寧秩序ヲ亂スノ虞アル者

五、前各號ノ外園内ノ揭示ニ背キ又ハ掛員ノ制止ニ應セサル者

第七條 園内ノ花卉樹木其他物品ヲ傷害スルトキハ相當ノ代價ヲ償ハシム但其

所爲ニシテ故意ニ出ツルト認ムルトキハ尙其筋ノ處分ヲ受ケシムルコトアル

へシ
第八條 植物學篤志者ニハ特許證ヲ交附シテ實地研究上便宜ヲ與フルコトアル

へシ
第九條 園長ハ觀覽者ニ必要ノ事項ヲ隨時園内ニ揭示スヘシ

○理學部附屬植物園日光分園觀覽規則

第一條 本分園ハ左ノ日時ニ於テ觀覽ヲ許可ス

但臨時觀覽ヲ謝絶スルコトアルトキハ門外ニ揭示スヘシ

自五月一日 午前八時ヨリ午後四時三十分マテ
至十一月三十日

第二條 觀覽人ハ入園ノ際觀覽券ヲ門衛ニ示シ退出ノ際門衛ニ渡スヘシ但出門ノ際觀覽券ヲ有セサル者ニ對シテハ觀覽料ヲ徵收ス

第三條 觀覽券ハ左ノ二種トス

通常觀覽券(五歳未満ノ者ハ觀覽券ヲ要セス
五歳以上十歳未満ノ小兒ハ一枚金五錢)

二十回觀覽券

一枚金拾錢
一冊金壹圓六拾錢

第四條 前三條以外ノ事項ニ關シテハ總テ理學部附屬植物園觀覽規則ヲ準用ス
三崎臨海實驗所ハ本學部及農學部水產學科ノ教員學生生徒ヲシテ專ラ海產生物ノ

研究實驗ニ從事セシムル所トス本所ハ明治十八年創メテ神奈川縣三崎町三崎ニ建設シ後研究ノ業大ニ進ムト共ニ學生生徒亦年ヲ逐フテ増加シ爲ニ所内狹隘ヲ告ケタルヲ以テ更ニ三崎ヲ距ル北方里許小網代荒井城址附近ノ地ヲ求メテ移轉ノ工事ヲ起シ明治三十年十二月ヲ以テ本所ヲ此ニ開始セリ

明治四十年農學部ニ水產學科ノ新設ニ伴ヒテ本所擴張ノ事業大ニ進ミ今ヤ優ニ四十餘名ノ學生及研究者ヲ容ルルノ設備ヲ得即チ實習室、研究室、圖書室、標本室、水族室、宿寄舍等ノ完備ヲ見ルニ至レリ本所ハ昭和三年七月五日ヨリ水族室、標本室ヲ公開シ一般ノ觀覽ニ供ス

昭和四年十月五日ヲ以テ實驗所貸附規程ヲ制定セリ昭和六年新ニ水族室、標本室ヲ増築シ昭和七年五月一日ヨリ之ヲ公開セリ尙本所ニ於テハ明治三十一年以來夏期ニ動物學臨海實習會ヲ開キ既ニ二十一回ニ及ヘリ

○理學部附屬臨海實驗所貸附規程

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ本所ニ於テ差支ナキ場合ニ限り許可ヲ受ケ本所ヲ使用スルコトヲ得

一、本學理學部及農學部ヲ除ク他學部職員、學生、生徒及卒業生

- 二、本學以外ノ他ノ帝國大學及官公私立大學職員學生生徒及卒業生
 - 三、官公私立専門學校ノ教職員及生徒ニシテ臨海實習ヲナサントスル者
 - 四、官廳又ハ諸研究所職員
 - 五、本所臨海實習會終了者
 - 六、其ノ他本所ニ於テ適當ト認メタル者
- 第二條 本所ヲ使用セント欲スル者ハ所定ノ願書ヲ理學部經由本所長ニ提出スヘシ但シ第一條第一號乃至第四號ニ該當スルモノニアリテハ願書提出前當該學校長又ハ本屬長官ヲ經由スルヲ要ス
- 第三條 本所ノ使用者ハ本所ノ規約ヲ遵守シ研究費ヲ自辨シ第四條ノ使用料ヲ納ムヘキモノトス
- 第四條 實驗室使用料左ノ如シ
- 一、實驗室座席一個ニ付一日金五拾錢
 - 二、實驗室一室ニ付一日金五圓
- 第五條 前條ノ使用料ハ本學會計課ニ之ヲ前納スヘシ但シ既納ノ使用料ハ如何ナル事由アルモ之ヲ還付セス

第六條 研究ノ必要ニヨリ使用滿期後引續キ延期ヲ願出ツル者アルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第七條 本所ニ於テ不適當ト認メタルトキハ第一條ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

○理學部附屬臨海實驗室水族室觀覽規則

第一條 臨海實驗室水族室ハ臨海實習若シクハ研究ニ必要ナル海產物ヲ飼育スル所トス

此規則ヲ遵守スル者ハ何人ニテモ參觀スルヲ得ヘシ

第二條 本水族室ハ左ノ期間參觀ヲ許可ス但臨時參觀ヲ謝絶スルコトアル時ハ所内ニ之ヲ揭示スヘシ

- 自四月一日 午前九時ヨリ午後四時マテ
- 至六月三十日
- 自七月一日 午前八時ヨリ午後五時マテ
- 至九月三十日
- 自十月一日 午前九時ヨリ午後四時マテ
- 至十月卅一日

第三條 東京帝國大學職員及學生生徒ヲ除ク外參觀者ハ必ス觀覽券ヲ携帯スヘシ

第四條 生物學篤志者ニハ特別觀覽券ヲ交付シ實地研究上便宜ヲ與フルコトアルヘシ

第五條 觀覽券ハ左ノ二種トス但五歲未滿ノ小兒ハ無料トス

通常觀覽券 大人

一枚金拾錢

小人(十二歲以下)

金五錢

特別觀覽券

無料

第六條 諸學校生徒見學團其他ノ諸團體ニ對シテハ觀覽料ヲ減額スルコトアルヘシ

第七條 左ノ事項ニ該當スル者ハ參觀ヲ謝絶シ又ハ室外ニ退去セシムヘシ

一、相當附添者ナキ十歲未滿ノ小兒

二、癡狂者又ハ亂醉者

三、風俗ヲ害シ秩序ヲ亂ス虞アル者

四、裸體者若シクハ海水衣ヲ着用スル者

五、掛員ノ制止ニ應セサル者

第八條 水族室ノ設備ヲ破壞シ魚類其他ニ傷害ヲ加ヘタル時ハ相當ノ代償ヲ爲

サシム但其所爲ニシテ故意ニ出ツト認ムル時ハ其ノ筋ノ處分ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第九條 觀覽券ハ所定ノ販賣人ヲシテ之ヲ販賣セシム

第十條 前各條ノ外參觀者ニ必要ノ事項ハ隨時所内ニ揭示スヘシ

○動物學臨海實習會規則

第一條 動物學臨海實習會ハ官公私立學校ノ博物學教員ニ海產動物學ノ實習ヲ爲サシムルヲ以テ目的トス

實習ノ指導ハ東京帝國大學教授助教授若クハ講師之ヲ擔任ス

第二條 動物學臨海實習會ノ開期ハ三週間乃至四週間トス

第三條 募集ノ人員及開會期日ハ官報ヲ以テ廣告ス

第四條 入會ヲ望ム者ハ第十二條書式ニ依リ東京帝國大學理學部長ヘ願出ツヘシ

第五條 入會ヲ許可シタル時ハ理學部ヨリ當該學校ヘ通知ス

第六條 入會許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ實習料金拾圓ヲ東京帝國大學會計課ニ納付スヘシ

但既納實習料ハ入會出願者ノ都合ニ依リ入會ヲ取消ス等ノコトアルモ之ヲ返付セス

第七條 會員ハ各自顯微鏡及解剖器械ヲ携帯スヘシ

第八條 實習中ハ解剖皿硝子器具及豫備ノ器械ヲ會員ニ貸付シ又實驗材料及必要藥品ヲ給ス

第九條 會員ハ本所ニ於ケル時々ノ揭示ヲ堅ク遵守スヘシ

第十條 會員中本所ニ於テ實習ニ不適當ナリト認メタルモノハ之ヲ除名スルコトアルヘシ

第十一條 實習滿期ニ至リ其成績佳良ナル者ニハ理學部ヨリ證明書ヲ附與ス

第十二條 動物學臨海實習會入會願書式ハ左ノ如シ

入 會 願

何立何學校職名

何

某

生年月日

右東京帝國大學理學部附屬臨海實驗所ニ於テ動物學臨海實習志望ニ付

御許可成被下度履歷書相添此段相願候也

年 月 日

右

何

某

(印)

東京帝國大學理學部長殿

前書何某ハ本校博物學教員ニ有之候處尙教授上ノ練達ヲ計ル爲メ動物學臨海實習會ニ入會志望ニ付御許可相成候様致度入會中本人ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候右保證致候也

右

學 校 長

何

某

(印)

履 歷

書

本族籍

現在ノ職名

何

生年月日

某

學業官職賞罰等

當該官衙等

何 何 年 年 年

何 何 月 月 月
何 何 日 日 日

何 何 々 々

何 何 々 々

地震學實驗所ハ明治十三年ノ創設ニ係リ元機械工學技師ユーイング氏故關谷教授及其ノ他ノ諸氏曾テ數種ノ水平動及上下動地震器械ヲ考案製作シテ地震研究ニ從事シタルニ基因ス今ヤ器械ニ改良ヲ加フルト共ニ各種ノ新シキ器械ヲ設計製作シ大小遠近ノ地震ハ勿論脈動微動及緩慢ナル地動ニ至ルマテ觀測シ得ルニ至レリ最近高倍率地震計ノ製作成リ人工地震ニヨル地下構造ノ調査ヲ進メ更ニ地震ニ對スル建築物強弱ノ研究ヲ行ヒツ、アリ本所ハ嘗テ各種ノ地震計ヲ一ツ橋外ニ於ケル東京帝國大學用地内地震觀測所ニ配置シテ地動ヲ驗測シ以テ地震ノ建築物ニ及ホス影響及地質地形等ニ因リテ變化スル模様如何ヲ研究シ來リシカ大震災ニ遭遇シ未タ復舊スルニ至ラサルハ遺憾ナリ尙別ニ地震研究所ト協力シテ鎌倉、三崎、清澄山、秩父、東金、和歌浦、田邊、富岡、福良、桃山、室戸ニ各種ノ地動計測器械ヲ配置シ筑波、三鷹ノ地震研究所支所ノ觀測ト相俟テ地動ノ研究ヲ進メ學生ノ實地指導ニ遺憾ナキヲ期ス

第十七章 農學部

第一 職員(同職中ノ氏名ハ)

(六月一日現在)

學部長

教授林學博士林學士 諸 戸 北 郎 三 重

教授

農藝化學、化學第二講座擔任	農學博士農學士 鈴木梅太郎 東京
畜産學第一講座擔任	農學博士農學士 岩住良治 宮城
農藝化學、化學第一講座擔任	農學博士農學士 麻生慶次郎 東京
地質學土壤學講座分擔	林學博士林學士 諸 戸 北 郎 三 重
林學第四講座擔任	獸醫學博士獸醫學士 仁 田 直 靜 岡
家畜內科學、家畜外科學	農學博士農學士 高橋偵造 長野
第三講座擔任	農學博士農學士 佐藤寛次 山形
農藝化學、化學第五講座擔任	農學博士獸醫學士 島村虎猪 高知
農學第一講座擔任	農學博士農學士 宗 正 雄 大 分
家畜生理學講座擔任	農學博士農學士 那 須 皓 東 京
動物學、昆蟲學、養蠶學	
第三講座擔任	
農政學、經濟學第三講座擔任	

第十七章 農學部 職員

水産化學講座擔任 農學博士農學士男爵 山川 洵 東京
 生物化學講座擔任 農學博士農學士 川瀬惣次郎 徳島
 林學第三講座擔任 林學博士林學士 藺部 一郎 和歌山
 農産製造學講座擔任 農學博士農學士 藪田貞治郎 滋賀
 水産學第三講座分擔 理學博士理學士 草野俊助 福島
 植物病理學講座擔任 理學博士理學士 田中貞次 新潟
 農業工學第一講座擔任 農學士 田中貞次 新潟
 農藝化學、化學第三講座擔任 農學博士農學士 平塚英吉 山形
 森林化學講座擔任 林學博士林學士 三浦伊八郎 和歌山
 動物學、昆蟲學、養蠶學 理學博士理學士 楠木外岐雄 石川
 第一講座擔任 林學博士林學士 藤岡光長 愛媛
 森林利用學講座擔任 林學博士林學士 藤岡光長 愛媛
 農政學、經濟學第一講座擔任 經濟學士 荒木光太郎 東京
 水産學第一講座擔任 農學博士水産學士 雨宮育作 東京
 農學第二講座擔任 農學博士農學士 佐々木 喬 鳥取
 家畜衛生學、家畜藥物學講座擔任 農學博士獸醫學士 田中丑雄 東京
 植物學講座擔任 植物學博士 三宅 驥一 東京
ドクトル・オブ・フィロソフィ、マ
 ター・オブ・アーツ(コルネル大學)

園藝學第二講座擔任 農學博士農學士 丹羽鼎三 宮城
 園藝學第一講座擔任 農學博士農學士 淺見與七 岐阜

授業擔任

冷蔵法、機械學 教授工學博士工學士 加茂正雄 東京
 殖民政策 教授法學士 矢内原忠雄 愛媛
 財政學、經濟學、農業經濟學演習 教授法學士 大内兵衛 東京

助教授

獸醫學 農學博士獸醫學士 江本 修 徳島
 農藝化學 農學士 松山芳彦 熊本
 農學 農學士 衣川義雄 茨城
 獸醫學 家畜內科學、家畜外科學第一講座擔任 農學博士獸醫學士 板垣四郎 山形
 農學 農學士 末松直次 熊本
 林學(千葉縣演習林勤務) 林學士 牧 俊夫 愛知
 林學 農學博士林學士 吉田正男 東京
 林學第一講座擔任 獸醫學博士獸醫學士 增井 清 静岡
 獸醫學 獸醫學博士獸醫學士 增井 清 静岡
 家畜解剖學講座分擔

農藝化學 農學士 春日井 新一郎 東京
 林學(臺灣演習林勤務) 林學士 笹名孝太郎 愛媛
 植物學 理學士 小南 清 東京
 動物學 農學博士 農學士 町田次郎 埼玉
 農政學、經濟學 農學士 東畑精一 三重
 經濟學 第二講座擔任 工學士 清水幸重 東京
 農藝化學 農學博士 農學士 佐々木 林治郎 岩手
 修身、心理及論理、教授法 文學士 青木誠四郎 長野
 農藝化學 農學博士 農學士 坂口謹一郎 新潟
 經濟學 法學士 竹內良三郎 長野
 林學(北海道演習林勤務) 林學士 中山正章 山梨
 林學(樺太演習林兼勤) 農學士 望月 峯 山梨
 農藝化學 農學博士 農學士 遠山祐三 東京
 農業經濟學 農學士 法學士 野間海造 廣島
 水產學(在外研究中) 水產學士 伊藤孝一 東京

林學 第二講座擔任 農學博士 林學士 中村賢太郎 三重
 農業經濟學 農學士 近藤康男 愛知
 農業經濟學 農學士 錦織英夫 島根
 家畜內科學、家畜外科學 第二講座擔任 農學博士 獸醫學士 松葉重雄 埼玉
 水產學 第二講座擔任 水產學博士 水產學士 石川 昌 愛知
 授業擔當
 教育學 助教授文學士 阿部重孝 新潟
 商工政策、經濟學、農業經濟學演習 助教授經濟學士 脇村義太郎 和歌山
 應用力學、土木工程大意 助教授工學士 山崎匡輔 群馬
 講師
 憲法 法學博士 法學士 清水 澄 北海道
 水產植物學 理學博士 理學士 岡村金太郎 東京
 機械學 工學士 星野三郎 福島
 森林土木學、同特別演習、森林土木學實習、
 森林土木學及森林機械學、木材商業論、木材商業實習
 植物學實驗 林學博士 林學士 西垣晋作 奈良
 理學博士 岡村周諦 和歌山

行政法
 森林動物學、應用昆蟲學、
 動物學實驗
 有機化學
 解剖學、同實習
 製絲論
 農業微生物論、植物學實驗
 植物學、同實驗
 森林法律學
 測量學、同實習
 農業動力機、農業機械學、
 農具論
 病理學總論
 牧場實習、農場實習
 農產物市場論、農業經濟學
 農業統計學
 農業造構學

法學士 山田準次郎 愛知
 理學士 矢野宗幹 福岡
 農學博士 農學士 後藤格次 福岡
 大澤竹次郎 岩手
 農學士 田中八郎 京都
 農學士 石山信一 東京
 向坂道治 東京
 法學博士 法學士 有馬忠三郎 香川
 農學士 藤井祐人 熊本
 農學士 廣部達三 宮城
 醫學博士 獸醫學士 醫學士 木村哲二 東京
 酒井克巳 和歌山
 獸醫學士 水野武夫 熊本
 農學士 法學士 經濟學士 竹下清松 東京
 農學士 牧隆泰 三重

物理化學
 造園學、獨逸語
 電氣化學
 數學
 商法
 養蠶學、農學實驗
 園邑計畫論
 狩獵術、森林保護學
 產科學
 水質論、化學實驗、水產化學實驗
 害蟲、森林動物學、動物學實驗
 測樹學、同實習、森林經理學、實習、
 林價算法及林業較利學、同實習
 森林保護學
 森林經理學、同實習
 森林理水及砂防工學特別實習

理學士 菅沼市藏 靜岡
 林學博士 林學士 田村剛 岡山
 理學博士 理學士 井上春成 熊本
 理學士 三輪彰 愛知
 法學士 東季彦 北海道
 農學博士 農學士 石森直人 長野
 農學士 折下吉延 山形
 農學士 小島俊文 東京
 農學博士 獸醫學士 佐藤繁雄 福島
 農學士 大槻茂雄 東京
 農學士 栗原章平 群馬
 農學士 嶺一三 福岡
 林學士 田中八百八 福岡
 林學士 中村賢一郎 東京
 農學士 櫻井莊三 長野

政治學
應用氣象學
農業法律學
漁政論
內科學內科診療實習
機械學
農業法律學
農業水利學、計畫製圖、農業工程、測量實習及製圖、農學大意、栽培論及育種學、農學大意、飼料作物學、栽培論、農學特別實驗、植物學實驗、動物學實驗、特別講義及實驗、漁船論
農業物理學
農業史
乳肉衛生
狩獵術

農學博士 農學士 住江金之 熊本
林學士子爵 野宮定茂 東京
農學博士 獸醫學士 中村哲哉 埼玉
獸醫學士 飯塚安喜雄 群馬
經濟學士 東浦庄治 三重
農學士法學士 廣澤吉平 茨城
農學士 湯山清 静岡
農學士 木島俊雄 山口
陸軍步兵少佐 生田寅雄 山口
陸軍騎兵大尉 井置榮一 兵庫
獸醫學士 村田庚午郎 福井
農學士 西村米八 群馬

法學士堀真琴 宮城
理學士築地宜雄 熊本
法學士田中長茂 宮崎
法學士寺田省一 茨城
獸醫學士 林伊兵衛 千葉
工學博士 杉村伊兵衛 東京
法學士 五十子卷三 東京
農學士 秋葉滿壽次 廣島
農學士 東條健二 東京
農學博士 農學士 野口彌吉 東京
工學士 高島三郎 福岡
農學士 難波得三 岡山
法學士 柳田國男 長野
獸醫學士 池上幸健 神奈川
農學士 島田錦藏 東京

實科講師

浮游生物學、海洋學、海洋學實驗
農林地質學、地質學
農產製造學、化學
林學大意
細菌學、同實習
衛生學、衛生學實習
農政學
法學大意及農業法律
英語
英語
外科學、外科診療實習、英語
體操
乘馬演習
蹄學、馬學、蹄學演習、馬學演習
牧場實習
農業大意、飼料作物學、植物學實驗、動物學實驗、特別講義及實驗

農學士 相川廣秋 東京
理學士 柴田秀賢 東京

農業教員養成所講師

農業教授法、實地授業

數學、物理及氣象

社會學

體操

農業工學、農學實驗

園藝學

哲學概論

養蠶、農學實驗

教育行政

作物病蟲害

法學大意

地質及土壤、肥料、英語、
農藝化學實驗

作物

作物、農學實驗(在外研究中)

農學士文學士 橋村 博 佐賀

農學士 難波得三 岡山

文學士 林 惠海 山口

農學士 廣井家太 新潟

農學士 秋葉滿壽次 廣島

農學士 吉永義信 長崎

文學士 斯波義慧 滋賀

農學博士農學士 石森直人 長野

文學士 中島靈圓 山口

農學士 栗原章平 群馬

農學士法學士 廣澤吉平 茨城

農學士 大川金作 兵庫

農學士 東條健二 東京

農學博士農學士 野口彌吉 東京

農學士 西村米八 群馬

山崎 犀二 岡山

實科授業擔當

化學實驗

解析幾何學及微積分學

化學

英語

數學

獸醫學大意

英語

獨逸語

特別講義及實驗

英語

獨逸語

農具論

農學士 和田光德 熊本

農學士 藤林 誠 東京

農學士 大政正隆 愛媛

農學士 錦織英夫 鳥根

農學士 江口武夫 山形

農學士 橋爪敬三郎 東京

農學士 加唐勝三 東京

文學士 岡田隆平 愛知

農學士 小川 隆 静岡

農學士 加藤嘉太郎 神奈川

農學士 三井鼎三 東京

農學士 庄司英信 静岡

造園學
 家畜管理實習、調劑法實習、
 英語、物理學及氣象學

農學士 小寺 駿吉 岐阜
 農學士 島崎 保正 静岡
 農學士 荻原 貞夫 長野

第二 學科課程

第一條 農學部ニ左ノ六學科ヲ置ク

- 農學科
- 林學科
- 水產學科
- 農藝化學科
- 獸醫學科
- 農業經濟學科

第二條 一學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

- 夏學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル
- 冬學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第三條 授業科目ヲ必修科目及選擇科目トス

第四條 各學科ニ於ケル必修科目、選擇科目並其ノ每週授業時間數左ノ如シ

農學部 必修科目	農學部 學科課程	
	夏學期	冬學期
應用氣象學	三	三
農林地質學	三	三
土壤學	三	三
肥料學	四	四
植物生理學	一	四
植物病理學	四	四
農業微生物學	四	四
農業動物學	一	四
應用昆蟲學	二	二
農業物理學	二	二
實驗遺傳學	二	二
育種學	二	二
栽培汎論	二	二
作物學	二	二
園藝學	二	二
庭園及花卉	二	二
畜產學	二	二
養蠶學	三	三

測量學	農業工學	農業經營學	農政學	植物學實驗	動物學實驗	農學實驗	農學特別實驗	農場實習	測量實習及製圖	卒業論文	選擇科目
二	二	二	三	二回	二回	一回	一回	一回	一回	一回	夏學期 二 冬學期 二
熱帶作物園	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
公園	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
園邑計畫論	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
細菌學及免疫學總論	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
榮養化學總論	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
榮養化學各論	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
馬學	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
衛生學	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

畜產製造學	蠶絲生理學及病理學	蠶絲論	蠶絲化學	農業造構學	農業水利學(第二)	農業機械學	農業數學	比較農業史	殖民政策	產業組合論	農業信用論	農產物取引論	農學	應用氣象學	農林地質學	土壤學
二	三	二	一	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	三	三
二	三	二	一	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	三	三
二	三	二	一	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	三	三

肥料學	數力學	應用力學	測量學	栽培學	作物學	農業工程學	農業造構學	農業水利學(第一)	農業水利學(第二)	農業動力機	農業機械學	耕地整理	農業道路	土木工程大意	經濟學	農業經營學	農業法律學	測量實習及製圖	農學實驗	農業工程實習
三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

計畫製圖	卒業論文	畜產學	園藝學	熱帶作物	庭園	公園	國邑計畫論	殖民政策	農政學	特別講義	農藝化學科	有機化學	物理化學	分析化學	農林地質學
二	三	三	三	二	二	二	二	三	三	三	三	三	二	二	三
二	三	三	三	二	二	二	二	三	三	三	三	三	二	二	三
二	三	三	三	二	二	二	二	三	三	三	三	三	二	二	三

植物生理學	生物化學總論	生物化學各論	生物化學研究法	土壤學	肥料學	栽培學	茶業化學總論	茶業化學各論	釀造學總論	農產製造學	分析化學實驗	農藝化學實驗	卒業論文	電氣化學	農業物理學	應用氣象學	農業動物學	經濟學	
四	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	四	四	四	四
四	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	四	四	四	四
四	二	二	二	三	三	二	二	二	三	三	二	二	二	二	三	四	四	四	四

畜產學	畜產製造學	養蠶學	蠶絲化學	纖維化學	機械學	細菌學及免疫學總論	釀造學各論	肥料製造學	農業經營學	作物學	園藝學	特別講義	農藝化學特別實驗	醱酵學實驗	生物化學實驗
二	二	三	一	二	一	二	二	一	二	二	二	二	(夏學期)	(夏學期)	(夏學期)
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

選擇スヘキ科目八十科目以上トシ内一科目
ハ實驗タルコトヲ要ス

應用氣象學	農林地質學	土壤化學	森林生理學	植物生理學	森林植物學	數學及力學	測量學	測樹學	經濟學	法學通論	林價算法及林業校利學	造林學	森林保護學	森林利用學	森林經理學	森林管理法	森林政治學	森林土木學	森林理水及砂防工學	林產製造學
三	三	三	四	四	二	二	三	四	四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	三	三	二	二	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三

公園	森林植物學實驗	測量學實習及製圖	測樹學實習	造林學實習	森林經理學實習	森林理水及砂防工學實習	林產製造學實驗	森林化學實驗	實地演習	卒業論文	選擇科目
二	一回	二回	二回	(隨時)	(隨時)	一回	一回	一回	(隨時)	一回	夏學期
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	冬學期

森林立地學	森林動物學	熱帶林業	森林風致論	庭園	狩獵術	財政學	應用力學	農學大意	土木學大意	森林利用學實驗	森林土木學實習	林學特別講義及實習	森林土木學並森林理水及砂防工學特別實習	森林化學特別實驗	選擇スヘキ科目ハ六科目以上トシ内一科目	ハ林學特別講義及實習、森林土木學並森林理水及砂防工學特別實習又ハ森林化學特別實驗タルコトヲ要ス	獸醫學科
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一回	一回	五回	五回	五回	五回	五回	二
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

解剖學	五	三
組織學	二	三
胎生學	一	三
生理學	四	二
馬醫學	二	二
蹄鐵學	一	二
寄生動物學	一	三
藥物學	三	三
病理學總論	三	三
細菌學及免疫學總論	三	四
細菌學及免疫學各論	四	二
病理解剖學	三	四
內科學	三	四
外科學	四	五
畜產學	三	二
衛生學	三	三
傳染病學	三	三
產科學	三	三
乳肉衛生學	三	二
獸醫警察法及行政法	三	二

解剖學實習	一	五
組織學實習	二	五
胎生學實習	一	五
蹄鐵學實習	一	五
生理學及醫化學實習	五	五
藥物學實習	五	五
外科手術實習	一	三
細菌學及免疫學實習	一	三
牧場實習	一	三
病理解剖學實習	二	二
細菌學及免疫學實習	二	二
衛生學及乳肉衛生實習	二	二
內科診療實習	一	二
外科診療實習	一	二
馬學實習	一	二
卒業論文	一	二
選擇科目	一	二
生物化學總論	二	三
實驗遺傳學	二	三
營養化學各論	二	三
土壤學	二	三

作物學	二	三
畜產製造學	二	三
法醫學	一	二
經濟學	四	二
特別講義	二	四
選擇スヘキ科目ハ五科目以上トス	二	四
水產學科	二	四
必修科目	二	四
動物學總論	四	五
水產動物學	四	五
水產植物學	四	五
浮游生物學	二	四
海洋學	二	三
水質學	三	三
水產學原論	二	三
水產養殖論	二	三
漁撈論	二	三
水產食物論	三	三
水產製造論	三	三
水族生態學	二	三

細菌學及水產病理論	二	二
動物組織學及發生學	二	二
有機化學	三	二
生物化學總論	二	三
冷藏法	二	三
漁政論	二	三
應用氣象學	二	三
機械學	二	三
漁船論	二	三
水產學演習	二	二
動物學實驗	三	二
植物學實驗	四	二
化學實驗	二	二
海洋學實驗	三	二
卒業論文	二	二
選擇科目	二	二
實驗遺傳學	四	二
經濟學	四	二

第十七章 農學部 學科課程

(農業土木學專修ヲ卒業シタルモノト看做ス)

第三 試驗規程

- 第一條 必修科目及選擇シタル科目ハ試驗ヲ受クルコトヲ要ス
- 第二條 試驗ハ同一科目ニ就キ毎年一回トシ十月又ハ三月ニ於テ之ヲ行フ但シ受持教員ハ教授會ノ議ヲ經テ臨時ニ之ヲ行フコトヲ得
- 第三條 三學年以上在學シタル學生ハ前條ニ規定セル試驗ノ外六月ニ於テ試驗ヲ受クルコトヲ得
- 第四條 試驗ハ各科目ニ就キ合格不合格ヲ決ス
- 第五條 試驗ノ成績ハ甲、乙、丙トシ甲、乙ヲ合格トス

- 第六條 試驗ノ成績ハ甲、乙、丙トシ甲、乙ヲ合格トス
- 第五條 實驗、實習及演習ハ受持教員ノ意見ニヨリ試驗ヲ施行セスシテ成績ヲ定ムルコトヲ得
- 第六條 三學年以上在學シ學科課程第四條ニ規定セル必修科目及選擇シタル科目ノ試驗ニ合格シタルモノヲ卒業者トス
- 第七條 學生ノ在學期間ハ六學年以上ニ互ルコトヲ得ス
- 第八條 休學シタル學年數及轉科前ノ在學年數ハ第三條、第六條及第七條ニ規定セル在學年數ニ之ヲ算入セス

第四 農學部實科規則

第一 學科課程

第一條 農學部ニ左ノ實科ヲ置ク

- 農學實科
- 林學實科
- 獸醫學實科

第二條 各實科ノ修業期間ハ三學年トス

第三條 一學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

夏學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル

冬學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第四條 各實科ニ於ケル授業科目並其ノ每週授業時間數ハ左ノ如シ

農學實科學科課程

第一年

物理學及氣象學

農學部 試驗規程 農學部實科規則

夏學期

二

冬學期

二

地質學	動物學	植物學	化學
三	二	二	二

二	二	三	三
---	---	---	---

土壤學	肥料學	數理學	農業學	養蠶學	農具論	英語	植物學實驗	農場實習	栽培論及育種學	作物學	園藝學	畜產學	植物病理學及細菌學	害蟲論	家畜飼養學	經濟學	產業組合論	英語
三	二	二	二	二	四	四	四	四	三	三	二	三	三	三	二	二	三	三
夏學期							夏學期	冬學期										

動物學實驗	植物學實驗	植物病理學及細菌學實驗	化學實驗	農場實習	農產製造學	農業經濟學	農政學	法學大意及農業法律	歌謠學大意	林學大意	獨逸語	體操	農學演習	特別講義及實驗	測量實習及製圖	農場實習	林學實科學科課程
二	四	二	二	三	二	二	三	三	三	四	二	二	二	六	二	三	三
夏學期					夏學期												冬學期

解析幾何學及微積分學	物理學及氣象學	化學	植物學	森林動物學	地質學及森林土壤學	森林測量學	經濟學大意	英語	獨逸語	體操	森林測量實習及製圖	測樹學實習	實地演習	第二年	造林學	森林保護學	森林利用學
三	二	二	二	二	三	三	二	四	三	二	二	二	(隨時)	三	二	二	二
夏學期											夏學期	冬學期					

林價算法及林業較利學	森林土木學及森林機械學	森林理水及砂防工學	林產製造學	英語	獨逸語	體操	化學實驗	造林學實習	林價算法及林業較利學實習	森林土木學實習	林產製造學實習	實地演習	第三年	森林經理學	森林管理法	林政學	法學大意	森林法律學	熱帶林業
三	三	二	二	四	三	二	二	二	二	二	二	(隨時)	三	三	二	三	三	二	二
夏學期												夏學期	冬學期						

造園學	二		
木材商業論	二		
狩獵術			
財政學	二		
農學大意	二		
體操	二		
森林利用學實習	二		
森林經理學實習	一回		
森林理水及砂防工學實習	一回		
木材商業實習	一回		
林學特別實習	(隨時)		
實地演習	(隨時)		
歌醫學實科學科課程			
第一年			
物理學	二	夏學期	冬學期
化學	三		
動物學	二		
植物學	二		
解剖學	四		
組織學	二		

生理學	三		
胎生學	三		
病理學總論	二		
寄生蟲病學	一		
蹄語學	四		
英語	二		
體操	二		
組織學實習	二		
解剖學實習	一回		
裝蹄實習	二		
牧場實習	(隨時)		
第一年			
醫學	二	夏學期	冬學期
內科	三		
外科	二		
藥物學	二		
病理學	三		
細菌學	三		
畜產學	二		
家畜飼養學	二		
畜產製造學	二		
林學大意	三		
法學大意	三		
經濟學	二		
土壤學	三		
肥料學	二		
飼料學	二		
獨逸語	四		
體操	二		
細菌學實習	二		
衛生學實習	一回		
畜產製造學實習	二		
內科診療實習	(一學年間)		
外科診療實習	(一學年間)		
馬學實習	一回		

遺傳學	二		
英語	四		
體操	二		
外科手術實習	一回		
醫化學實習	一回		
調劑法實習	一回		
病理解剖學實習	一回		
病理組織學實習	一回		
裝蹄實習	一回		
病畜管理實習	一回		
乘馬實習	一回		
牧場實習	(隨時)		
第三年			
傳染病學	二	夏學期	冬學期
外科	二		
產科	二		
衛生學	四		
乳肉衛生	二		

歌醫學警察及行政法	二		
家畜飼養學	二		
畜產製造學	二		
林學大意	三		
法學大意	三		
經濟學	二		
土壤學	三		
肥料學	二		
飼料學	二		
獨逸語	四		
體操	二		
細菌學實習	二		
衛生學實習	一回		
畜產製造學實習	二		
內科診療實習	(一學年間)		
外科診療實習	(一學年間)		
馬學實習	一回		

外國人ニシテ特ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ本條ノ授業科目中英語若クハ獨逸語ヲ學修セサルコトヲ得

第五條 農學實科ニ於テハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル期間農場實習ヲ課ス

第二 入學規程

第六條 各實科第一學年ニ入學ヲ出願シ得ヘキ者ハ品行方正志操堅實身體健全ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一 中學校ヲ卒業シタル者

二 實業學校ヲ卒業シタル者但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年又ハ高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若クハ之ト同等以上ノ實業學校ヲ卒業シタル者

三 前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ指定セラレタル學校ヲ卒業シタル者

四 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

第七條 前條第一號第二號及第三號ノ學校ヲ其ノ年三月末日迄ニ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ヲ以テ入學ヲ出願スルコトヲ得

第八條 入學ヲ許可スヘキ者ハ學力檢定身體檢查竝ニ口頭試問ニ合格シタル者トス但シ農學實科ニ入學ヲ許可スヘキ者ノ約三分ノ一ハ耕地十町歩若クハ山林原

野二十町歩以上ヲ所有スル者又ハ其ノ子弟ヨリ選拔ス

第九條 學力檢定ハ左ノ學科目ニ就キ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

作文

數 學(代數幾何三角)

動物學

植物學

英語(英文和譯)

第十條 入學志願者ハ入學願票本學部ヨリ交附スニ入學考査料金五圓及左記ノ書類ヲ添ヘ本學部ニ差出スヘシ

既納ノ入學考査料ハ何等ノ場合ト雖モ返付セス

一 寫真二葉(最近撮影セル脱帽半身名刺型無臺紙ノモノニシテ入學願票ニ貼付スヘシ)

二 出身學校卒業證明書在學生ハ卒業見込證明書試驗檢定合格者ハ合格證明書

三 學業成績證明書(最終二學年ノ各學科目ノ得點及何人中何番等)

四 規則第八條但書ニ該當スル者ハ市町村長ノ所有證明書

第十一條 入學ヲ許可セラレタル者ハ入學料金三圓ヲ納付スヘシ

第十二條 入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人二人ヨリ所定ノ在學證書ヲ差出スヘ

シ
保證人ノ中一人ハ父兄(父兄ナキ者ハ親戚)他ノ一人ハ東京府内ニ住所ヲ有スル市
町村公民タルコトヲ要ス但シ農學部長ニ於テ適當ト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラ
ス

第十三條 保證人死亡シ若クハ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ在學證書ヲ差出ス
ヘシ

第三 試驗規程

第十四條 試驗ハ學期及學年ノ終ニ於テ之ヲ行フ

第十五條 試驗ノ成績ハ評點ヲ以テ之ヲ示シ百點ヲ滿點トス

第十六條 實驗、實習及演習ハ受持教員ノ意見ニ依リ試驗ヲ施行セスシテ成績ヲ定
ムルコトヲ得

第十七條 各科目ニ對スル學期試驗ノ平均點數ト學年試驗點數トノ和ヲ二分シタ
ルモノヲ各科目ノ學年點數トス

第十八條 各科目ノ學年點數ノ和ヲ科目數ニテ除シタルモノヲ學年平均點數トス
但シ農學實科ノ學年平均點數ハ農場實習以外ノ諸科目ノ學年點數ノ平均數ニ四

ヲ乘シ農場實習ノ學年點數ヲ加ヘ五ヲ以テ除シタルモノトス

第十九條 各科目ノ學年點數五十以上及學年平均點數六十以上ヲ得タル者ヲ合格
シタル者トス

第二十條 學年試驗ニ缺席シタル者ハ零點ヲ附ス但シ病氣其ノ他止ムヲ得サル事
故ニ依リ學年試驗ニ缺席シタル者ハ教授會ノ決議ヲ經テ次學年ノ始メニ於テ特
ニ試験ヲ受ケシムルコトヲ得

第二十一條 同一學年ニ於テ合格セサルコト二回ニ及フ者ハ之ヲ除籍ス

第二十二條 生徒ノ席次ハ五十音順ニ依ル

第四 授業料

第二十三條 授業料ハ一學年金八十圓トシ左ノ二期ニ分チテ之ヲ徴收ス

第一期 自四月 金四十圓

第二期 自十月 金四十圓

第五 雜則

第二十四條 本規則ニ掲ケサルモノハ學部通則ニ依ル

附 則

第十七章 農學部 農學部實科規則

本規則第二十三條(昭和四年三月改正)ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ現在昭和四年三月二十五日在學ノ生徒ニ對シテハ昭和六年三月迄舊規則ヲ適用ス

第五 農業教員養成所規則

- 第一條 本所ハ農業學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スルヲ以テ目的トス
- 第二條 修業年限ハ三年トス
- 第三條 授業料ハ之ヲ徴收セス
- 第四條 學年ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第五條 學年ヲ分チテ左ノ二學期トス
 - 夏學期 四月一日ヨリ十月三十一日ニ至ル
 - 冬學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第六條 學科課程左ノ如シ

教 修	第一學年	夏學期	二	冬學期	二
	育 身	每學期	一	每學期	一
植 化	心理及論理	每學期	二	每學期	二
	數 學	每學期	一	每學期	一
物 理	物理及氣象	每學期	三	每學期	三
	物 學	每學期	一	每學期	一

動 物	地質及土壤	每學期	三	每學期	二
	肥 料	每學期	三	每學期	二
作 物	作物病蟲害	每學期	三	每學期	三
	經濟學	每學期	二	每學期	二
英 語	英語	每學期	三	每學期	三
	體 操	每學期	二	每學期	二
農 學	農場實習	每學期	一回	每學期	一回
	農 學	每學期	二	每學期	二
修 身	教授法	每學期	二	每學期	二
	教育學	每學期	二	每學期	二
化 學	作物病蟲害	每學期	二	每學期	二
	畜 產	每學期	二	每學期	二
養 畜	蠶 產	每學期	二	每學期	二
	蠶 產	每學期	三	每學期	三

農 產	農 業	每學期	二	每學期	二
	製 造	每學期	二	每學期	二
法 學	法 學	每學期	二	每學期	二
	大 意	每學期	一	每學期	一
英 語	英語	每學期	三	每學期	三
	體 操	每學期	二	每學期	二
農 學	農 學	每學期	二	每學期	二
	化學實驗	每學期	一回	每學期	一回
農 場	農場實習	每學期	一回	每學期	一回
	農 學	每學期	二	每學期	二
公 民	公民科	每學期	二	每學期	二
	教 授	每學期	一	每學期	一
哲 學	教育行政	每學期	三	每學期	三
	社會學	每學期	三	每學期	三
家 畜	家畜飼養及食物化學	每學期	一	每學期	一
	農 業	每學期	二	每學期	二
工 學	農 業	每學期	二	每學期	二
	工 學	每學期	三	每學期	三

農	政	二	農學實驗	一回	一回
水產學大意		二	農藝化學實驗	一	一
獸醫學大意	二		農場實習	二	二
英語	三		實地授業	一	一
體操	二	三	研究報告		

第七條 夏期休業ヲ爲サス七月十一日ヨリ九月十日マテハ專ラ農場實習ヲ課ス但シ實習ノ都合ニ依リ臨時休業スルコトアルヘシ

第八條 本所ニ入學ヲ許スヘキ者ハ身體健全品行方正在學中家事ニ係累ナク農業學校教員タルノ志望確實ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ入學期マテニ一年以上教職ニ在リタル者ニシテ地方長官ノ薦舉ニ係ルモノトス但シ第一號及第二號ニ在リテハ在學中農業ヲ修メタル者ニ限ル

- 一 師範學校卒業者
 - 二 中學校卒業者
 - 三 尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年以上ノ農業學校若クハ之ト同程度ノ農業學校ヲ卒業シタル者
- 第九條 應募者豫定人員ニ超過シタルトキハ左ノ學科目ノ全部若クハ一部ニ付師

範學校卒業ノ程度ニ依リ選抜試験ヲ行フ

國語及漢文 英語譯解 數學(算術代數幾何) 物理及化學 博物(動物植物礦物生理) 農業 教育

第十條 入學志願者ニハ身體檢查ヲ行フ但シ身體檢查證ヲ以テ之ニ代フルコトアルヘシ

第十一條 入學志願者ハ左式ノ願書ヲ差出スヘシ
入學願書

某儀貴學部附屬農業教員養成所ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書及身體檢查書相添此段恭請候也

現住所

本籍族(戶主ナラハスハ何某男或ハ弟等)

年月日

何 某印(姓名ニハ片假名ヲ附スヘシ)

何年何月何日生

東京帝國大學農學部長何某殿

履歷書

第十七章 農學部 農業教員養成所規則

何 某
何年何月何日生

職務
學業(卒業證書寫添附)
兵役
賞罰

右ノ通相違無之候也

年月日

右
何 某印

第十二條 入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人二人ヲ定メテ所定ノ在學證書ヲ差出スヘシ

保證人ノ中一人ハ父兄父兄無キ者ハ親戚一人ハ東京府内ニ住所ヲ有スル市町村公民タルコトヲ要シ但シ農學部長ニ於テ適當ト認メタル者ハ此ノ限ニアラス

第十三條 保證人死亡シ若クハ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第十四條 試験ハ每學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ但シ實驗實習及實地授業ニ付テハ教官ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第十五條 各學科目ノ成績ハ百點ヲ以テ滿點トス

第十六條 學年成績ハ各學期ノ成績ヲ平均シタルモノトス

第十七條 各學科目ノ學年成績五十點以上及全學科目ノ平均成績六十點以上ヲ得タル者ヲ合格トス

第十八條 病氣其ノ他已ムヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタル者ニハ次學期ノ始メニ於テ特ニ試験ヲ行フコトアルハシ

第十九條 休學ハ同一學年ニ在ル間ハ一回ニ限り許可スルモノトス

第二十條 本所ニ研究科ヲ置キ修業年限ヲ一年トス但シ研究ノ必要ニ依リ在學延期ヲ願出ツルトキハ更ニ一年以内之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十一條 研究科ニハ本所卒業業者ニシテ既習ノ學科目ニ付尙研究セント欲スル者ニ限り入學ヲ許ス

第二十二條 研究科生徒ハ指導教官ニ就キテ研究スルモノトス但シ研究上必要ト認ムル學科目ニ付テハ特ニ授業ヲ課ス

第二十三條 研究科生徒ノ研究及授業ノ時數ハ每週十八時ヲ下ラサルモノトス
第二十四條 研究科生徒研究ヲ終リタルトキハ報告書ヲ提出セシメ成績考査ノ上
修了證明書ヲ授與ス

第二十五條 本則ニ掲ケサルモノハ學部通則ニ依ル

第六 摘錄

農學部ハ實驗室列品室ヲ有スル外農場及果樹園林木苗圃樹木園家畜病院附屬演習
林等ノ諸設備アリ
農場ノ面積ハ畑及田七町步餘アリ分テ實習地、試驗地、作物見本園、園藝見本園及經濟
農場見本地トス而シテ場内ニ實習室、農具室、種子室、肥料室、農產製造室、養蠶室、收納舍
又ハ家禽舍等之ニ要スル建物アリ
其ノ他東京府北多摩郡田無町ニ農場二十八町九段九畝二十七步餘アリ近ク舊來ノ
農場ノ一部ヲ此處ニ移轉セントス又神奈川縣中郡吾妻村ニ吾妻果樹園四町五段五
畝十二步餘アリ果樹及蔬菜ノ實驗實習ノ用ニ供ス
林木苗圃及樹木園ハ東京府北多摩郡田無町ニ面積凡九町步アリ學生生徒ノ實習及
各種ノ造林試驗ノ用ニ供シ又内外國產樹木ヲ植栽シテ樹木園ヲ造成シ教材ニ資セ

ントス

家畜病院ハ本學部構内ニ在リ臨床講義及學術實驗ニ須要ナル患畜ヲ入院セシム
病院ヲ分テ甲、乙、丙ノ三舍トス甲ハ大動物牛、馬ノ病舎ニシテ内科患畜八頭外科患畜十
二頭合計二十頭ノ患畜ヲ容ルルノ裝置ヲ爲シ診察所及手術場之ニ附屬ス乙ハ小動
物羊、豚、犬、猫、家禽ノ病舎ニシテ診察所手術場及内外科病室ニ區分シ四十頭ノ患畜ヲ容ルル
ニ足ル丙ハ特ニ構内離隔セル場所ニ設ケ傳染病畜ヲ容ルル所トス

本學部附屬演習林ハ總テ十箇所ニシテ内東京府千葉縣埼玉縣愛知縣靜岡縣濱名湖
畔ノ附屬地ヲ含ム山梨縣北海道臺灣及樺太ニ各一箇所朝鮮ニ二箇所アリ其ノ面積
通計十四萬六千九十一町步ヲ有ス

此ノ他蹄鐵ヲ實地ニ就キ修メント欲スル者ノ爲メニ蹄鐵術傳習規則農業蠶業若ク
ハ林業ヲ實地ニ就キ修メント欲スル者ノ爲メニ農業實地見習、蠶業實地見習、林業實
地見習規則等ノ設ケアリ

第十八章 經濟學部

二七二

第一 職員 (同職中ノ氏名ハ)
就職ノ順ニ掲ク

(六月一日現在)

學部長 教授及教師

經濟學第三講座擔任	法學博士法學士	河津 暹	東京
保險學講座擔任	法學博士法學士	森 莊三郎	東京
商業學第四講座擔任	法學博士法學士	上野 道輔	東京
商業學第五講座擔任	經濟學博士法學士	土方 成美	東京
財政學第一講座擔任	法學士	舞出長五郎	神奈川
經濟學第六講座擔任	法學士	矢内原忠雄	愛媛
殖民政策講座擔任	法學士	大内 兵衛	東京
財政學第二講座擔任	法學士	河合榮治郎	東京
社會政策講座擔任	經濟學博士法學士	本位田祥男	岡山
經濟史講座擔任	經濟學士	中西寅雄	和歌山
商業學第五講座擔任			
商業學第一講座擔任			

經濟學第二講座分擔	經濟學士	荒木光太郎	東京
經濟學第五講座擔任	法學士	田邊 忠男	東京
商業學第三講座擔任	工學士經濟學士	馬場 敬治	大阪
經濟學第四講座擔任	經濟學士	山田 文雄	東京
經濟學	ドクトル・デル・シュターツウイッセンシヤフテン (ストラスブルグ大學)	クルト・ジンゲル	獨國
授業擔任			
刑法	教授法學博士法學士	牧野 英一	東京
哲學	教授文學博士文學士	桑木 嚴翼	東京
憲法、行政法	教授法學博士法學士	美濃部 達吉	東京
民法	教授法學博士法學士	末弘 嚴太郎	大分
工業通論	教授工學博士工學士	加茂 正雄	東京
民法	教授法學博士法學士男爵	穂積 重遠	東京
國際公法	教授法學博士法學士	立 作太郎	東京
民法	教授法學博士法學士	三 濬信三	東京
商法	教授法學博士法學士	田中耕太郎	佐賀

第十八章 經濟學部 職員

二七三

社會學
工業通論

助教授

教授文學士 戶田貞三 東京
教授工學博士工學士 厚木勝基 東京

商業學 第四講座分擔

經濟學

統計學 講座擔任

經濟學 第二講座分擔

商業學

經濟學(在外研究中)

經濟學 第一講座分擔

商品學

授業擔當

國際私法(在外研究中)

政治學

講師

經濟學士 佐々木道雄 三重
經濟學士 土屋喬雄 山梨
經濟學士 有澤廣巳 高知
經濟學士 橋爪明男 三重
經濟學士 脇村義太郎 和歌山
經濟學士 油本豐吉 鳥取
經濟學士 渡邊信一 愛知
經濟學士 柳川昇 三重
助教授法學士 江川英文 静岡
助教授法學士 矢部貞治 愛媛

鐵道論

海上保險論

海運論

取引所論

倉庫論

商品學

商業英語

國際公法

國際金融論

商業英語

經濟地理

貿易理論貿易實務

國際私法

第二學科課程

第一條 經濟學部ニ左ノ二學科ヲ置ク

第十八章 經濟學部 職員 學科課程

法學士 中川正左 東京
法學士 中村精一 廣島
經濟學博士 寺島成信 山形
法學士 河合良成 富山
法學博士商學士 内池廉吉 福島
坂口武之助 長崎
マスター・オブ・アーツ(オックスフォード大學) 山崎宗直 熊本
法學博士法學士 松原一雄 福井
五十嵐直三 東京
パチエラー・オブ・コンマース(マンチエスター大學) トレヴオー・ジョンズ 英國
理學士 佐藤弘 大分
パチエラー・オブ・コンマース(ロンドン大學) ネール・スキーン・スミス 英國
法學士 井野英一 東京

第一 經濟學科

第二 商業學科

第二條 經濟學部ニ於ケル修學期間ハ三學年トス

第三條 一學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

夏學期 四月一日ヨリ十月十五日ニ至ル

冬學期 十月十六日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第四條 授業科目ヲ必修科目、選擇科目及隨意科目トス

第五條 各學科ニ於ケル必修科目及選擇科目左ノ如シ

經濟學科

必修科目

經濟原論、經濟學史、經濟史、日本經濟史、貨幣論、銀行論、農業政策、工業政策、商業政策、交通政策、社會政策、殖民政策、統計學、保險學、財政學、第一外國語、經濟學(英、佛、獨)、民法、商法

選擇科目

第二外國語、經濟學(英、佛、獨)、特別外國語、經濟學(英、佛、獨)、經濟學特別講義、會計學、經營

經濟學、經濟地理、國際金融論、取引所論、政治學、社會學、哲學、憲法、行政法、刑法、國際公法、國際私法、演習

商業學科

必修科目

會計學、經營經濟學、工場經營論、商業數學、經濟地理、商業史、國際金融論、取引所論、貿易理論、貿易實務、商品學、英語、商業學、商業英語、經濟原論、貨幣論、銀行論、商業政策、統計學、保險學、財政學、民法、商法

選擇科目

工業會計、銀行會計、倉庫論、生命保險論、海上保險論、工業通論、特別英語、商業學、獨語、商業學、商業學特別講義、交通政策、社會政策、憲法、行政法、國際公法、演習

一ヲ選擇セシム

第六條 各學期ニ於ケル必修科目及選擇科目ノ每週授業時數左ノ如シ

經濟學科

第一學期(夏學期)

必修科目

每週授業時數

經濟原論第一部

經濟史

第一外國語經濟學(英、佛、獨)第一部

民法第一部

經濟地理

第二外國語經濟學(英、佛、獨)

會計學第一部

哲學

憲法

第二學期(冬學期)

必修科目

每週授業時數

經濟原論第二部

日本經濟史

統計學

第一外國語經濟學(英、佛、獨)第一部

民法第二部

選擇科目

工業政策

財政學第二部

保險學

第一外國語經濟學(英、佛、獨)第二部

商法第一部

選擇科目

經營經濟學

政治學

刑法

演習

第五學期(夏學期)

必修科目

每週授業時數

經濟學史

商業政策

社會政策

商法第二部

選擇科目

特別外國語經濟學(英、佛、獨)

經濟學特別講義

取引所論

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

國際私法

三 四 四 四 四 二 四 四 二 四 三 二 二 二 二 二 二 二 二 二 三

第二外國語經濟學(英、佛、獨)

會計學第一部

社會學

行政法

第三學期(夏學期)

必修科目

每週授業時數

貨幣論

農業政策

財政學第一部

第一外國語經濟學(英、佛、獨)第二部

民法第三部

商法第一部

選擇科目

會計學第二部

政治學

刑法

國際公法

演習

第四學期(冬學期)

必修科目

每週授業時數

銀行論

經濟學史

交通政策

社會政策

殖民政策

商法第二部

選擇科目

特別外國語經濟學(英、佛、獨)

國際金融論

國際私法

演習

商業學科

第一學期(夏學期)

必修科目

每週授業時數

會計學第一部

商業數學第一部

英語商業學第一部

商業英語第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

經濟原論第一部

二 三

經濟地理	四	憲法	二	第二學期(冬學期)	每週授業時數	英語商業學第一部	二	第四學期(冬學期)	每週授業時數
民法第一部	四	必修科目	三	會計學第一部	三	商業英語第二部	二	必修科目	四
獨語商業學第一部	四	會計學第一部	四	商業數學第二部	四	獨語商業學第二部	二	會計學第二部	四
選修科目	二	英語商業學第一部	二	英語原論第二部	二	英語商業學第一部	二	統計學	四
		商業英語第一部	二	統計學	四	獨語商業學第一部	二	民法第二部	四
		獨語商業學第一部	二	民法第二部	四	獨語商業學第一部	二	獨語商業學第一部	四
		獨語商業學第一行	二	獨語商業學第一部	四	獨語商業學第一行	二	必修科目	四
		獨語商業學第一行	二	必修科目	四	獨語商業學第一行	二	會計學第二部	四
		第三學期(夏學期)		會計學第二部	四	會計學第二部	四	商業史	四
		必修科目		商業史	四				

倉庫論	二	第五學期(夏學期)	每週授業時數	社會政策	四	第六學期(冬學期)	每週授業時數
獨語商業學第二部	二	必修科目	三	必修科目	三	必修科目	三
獨語商業學第二部	二	工場經營論	三	國際金融論	三	國際金融論	三
		取引所論	二	貿易實務	三	貿易實務	三
		貿易理論	三	商學	四	商學	四
		商業政策	四	商法第二部	二	商法第二部	二
		商法第二部	二	選修科目	二	選修科目	二
		選修科目	二	海上保險論	二	海上保險論	二
		銀行會計	二	特別英語商業學	二	特別英語商業學	二
		生命保險論	四	獨語商業學第三部	二	獨語商業學第三部	二
		商業學特別講義	二	交通政策	四	交通政策	四
		特別英語商業學	二	社會政策	二	社會政策	二
		獨語商業學第三部	二	習	二	習	二

第七條 (削除)

第八條 隨意科目ノ種類及授業時間數ハ教授會ノ決議ニ依リ每學年之ヲ定ム商業學科ニ於テハ學生ノ志望ニ依リ珠算タイプライティング及佛獨露西支等ノ外國語ヲ授業スルコトアルヘシ

學生ハ本學部又ハ他ノ學部ニ屬スル授業ヲ隨意科目トシテ履修スルコトヲ得但シ他ノ學部ニ屬スル授業ヲ履修スルニハ本學部長及關係學部長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第三 試驗

第九條 大學令第十條ニ依リ本學部ノ試驗ヲ受ケ經濟學士ト稱スルコトヲ得ルニハ必修科目ノ全部及選擇科目中經濟學科ニ在リテハ五科目以上商業學科ニ在リテハ二科目以上ノ試驗ニ合格スルコトヲ要ス

第九條ノ二 第二十七條ニ依リ入學ノ際試驗ニ合格シタル科目ニ付テハ在學中更ニ試験ヲ受クルコトヲ要セス

第九條ノ三 第二十四條ニ掲クル者ハ從前在學中試験ニ合格シタル科目ニ付教授會ノ決議ニ依リ試験ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條ノ四 隨意科目ハ學生ノ志望アル場合ニ限り試験ヲ行フ

第十條 試験ハ授業ヲ受ケタル科目ニ付之ヲ受クルモノトス

第十一條 (削除)

第十二條 同一科目ノ授業ニ學期以上ニ互ルモノハ各學期毎ニ一科目トシテ計算

ス但シ經濟學科ニ於テハ第一外國語經濟學(英佛獨)第二外國語經濟學(英佛獨)特別外國語經濟學(英佛獨)經濟學史社會政策會計學第一部政治學商法刑法國際私法及演習商業學科ニ於テハ會計學第一部英語商業學特別英語商業學獨語商業學商業英語社會政策商法及演習ハ各一學年ヲ以テ一科目トス

第十三條 休學シタル者ハ其ノ學年ニ屬スル試験ヲ受クルコトヲ得ス

第十四條 試験ハ毎年一回三月ニ於テ之ヲ行フ但シ受持教員ハ教授會ノ議ヲ經テ臨時ニ試験ヲ行フコトヲ得

學生三月ニ於テ事故ニ因リ試験ヲ受クルコト能ハサリシトキ又ハ試験ヲ受ケテ合格セサリシトキハ其ノ試験ニ合格スルニ依リ經濟學士ト稱スルコトヲ得ヘキ者ニ限リ六月ニ於テ更ニ試験ヲ受クルコトヲ得

試験ノ日割ハ一週間以前ニ之ヲ揭示ス

第十五條 試験ハ當該學年ニ於テ授業アリタル科目ニ付受持教員之ヲ行フ但シ受持教員故障アルトキハ教授會ノ議ヲ經テ他ノ教員ヲシテ代リ行ハシム

當該學年ニ於テ授業ナカリシ科目ニ付テハ志望者アル場合ニ限り試験ヲ行フ
受験科目ノ受持教員カ授業ヲ受ケタル教員ト異ナル場合ニ於テハ學生ハ授業ヲ

受ケタル教員ニ付受験スルコトヲ得但シ其ノ教員故障アルトキハ此ノ限ニアラス

第十六條 三月ノ試験ヲ受ケントスル者ハ一月三十一日迄ニ六月ノ試験ヲ受ケントスル者ハ四月三十日迄ニ其ノ受験科目ヲ届出ツヘシ

前條第二項第三項ニ依リ受験セントスル者ハ前項ノ届出ト共ニ別ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

正當ノ理由ナクシテ前二項ノ届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ試験ヲ無効トス第十六條ノ二 經濟學科ノ學生ニシテ第一外國語經濟學(英佛獨)ヲ變更セント志望スル者ハ四月一日ヨリ五月十五日迄ニ學部長ニ願出ツヘシ

前項ノ出願ニ對シテハ教授會ノ決議ニ依リ其ノ許否ヲ決ス但シ必要アルトキハ試験ヲ行フ

第十七條 試験ハ各科目ニ付合格、不合格ヲ決ス

試験ノ成績ハ優、良、可、不可ノ四等トシ優、良、可ヲ合格トス

前項ノ成績ハ教員ノ報告ニ基キ教授會ニ於テ之ヲ決定ス

第十八條 各科目ノ試験ノ成績ハ試験完了後三週間以内ニ學生票ニ記入シテ之ヲ

交付ス

第四 入學

第十九條 高等學校高等科及學習院高等科ヲ卒業シタル入學志願者ノ數本學部收容豫定人員ニ超過スル場合ニ於テハ選抜試験ヲ行ヒ入學者ヲ定ム

選抜試験ヲ行フトキハ豫メ各高等學校及學習院ニ通知ス

第二十條 選抜試験ハ高等學校ニ於テ履修シタル科目ニ付之ヲ行フ

試験科目及其ノ日割ハ豫メ本學部内ニ揭示シ且官報ヲ以テ公告ス

第二十一條 選抜試験ハ本學部教員中ヨリ選任シタル委員之ヲ行フ

第二十二條 選抜試験ノ成績ハ試験委員會ニ於テ之ヲ決定シ其ノ結果ハ之ヲ本學部内ニ揭示シ且官報ヲ以テ公告ス

第二十三條 選抜試験ノ結果入學スルコトヲ得サリシ者更ニ入學ヲ志望スルトキ

ハ他ノ入學志望者ト共ニ選抜試験ヲ受クルコトヲ要ス

第二十四條 左ニ掲クル者ハ選抜試験ニ依ラスシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

- 一 法科大學又ハ本學部ノ卒業生ニシテ更ニ本學部ノ他ノ學科ニ入學ヲ志望スル者

- 二 法科大學經濟學科若ハ商業學科又ハ本學部學生ノ退學セシ者
- 三 他ノ分科大學又ハ學部ノ卒業生
- 四 他ノ帝國大學ノ卒業生
- 第二十五條 前條ニ掲クル者ノ外選抜試験ニ依ラスシテ入學ヲ許可スル場合ハ教授會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム
- 第二十六條 經濟學科ニ入學ヲ志望スル者ハ履修スヘキ第一外國語經濟學(英佛獨)ヲ入學願書ニ記載スルコトヲ要ス
- 第二十七條 第二十四條第一號ニ掲クル者入學ノ際第五條所定ノ必修科目及選擇科目中十五科目以上ノ試験ニ合格シタルトキハ在學年數ノ計算ニ付テハ既ニ二學年在學シタル者ト看做ス但シ科目數ノ計算ハ第十二條ノ規定ニ依ル
- 前項ノ規定ニ依リ入學ノ際試験ヲ受ケントスル者ハ入學願書ニ其ノ旨ヲ記載シ二月十五日迄ニ學部長ニ願出ツヘシ
- 第二十八條 第二十四條第一號第三號及第四號ニ掲クル者ハ在學年數ノ計算ニ付テハ既ニ一學年在學シタル者ト看做ス
- 第二十九條 第二十四條第二號ニ掲クル者ニシテ入學ヲ許可セラレタル者ハ在學年數ノ計算ニ付テハ其ノ從前在學シタル學年數ヲ本學部在學年數ニ通算ス

第五 (削除)

第三十條 (削除)

第三十一條 (削除)

第六 除籍

第三十二條 (削除)

第三十三條 (削除)

第三十四條 (削除)

第三十五條 在學六學年ニ及ヒ學士試験ヲ終了セサル者ハ之ヲ除籍ス

第七 學生票

第三十六條 學生票ハ入學者ニ對シテハ夏學期ノ終マテニ之ヲ交付ス

第三十七條 學生票ノ再交付ヲ出願スル者ハ料金壹圓ヲ納付スヘシ

附 則

第三十八條 本規則ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和二年以前ニ入學セル學生ニ對シテハ教授會ノ決議ニ依リ必要ナル特例ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條ノ二 日本經濟史ハ昭和六年以前ノ入學者ニ對シテハ之ヲ選擇科目ト

第三十九條 (削除)

第四十條 (削除)

第四十一條 (削除)

第十九章 陸軍砲工學生及海軍學生規程

○工學部及理學部陸軍砲工學生規程

第一條 陸軍砲工學校員外學生ハ特ニ工學部若クハ理學部ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 陸軍砲工學生ハ毎年四月ニ入學スルモノトス

第三條 工學部及理學部陸軍砲工學生ニハ各當該學部所設ノ一學科ヲ專修セシムルモノトス

第四條 入學料及授業料ハ之ヲ徵收セス

第五條 本規程ノ外東京帝國大學ノ諸規則ハ陸軍砲工學生ニ適用ス

○工學部及理學部海軍學生規程

第一條 海軍大學校選科學生ニシテ高等學校高等科理科卒業以上ノ學力アリト認ムル者ハ特ニ工學部若クハ理學部ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 海軍大學校選科學生ハ毎年四月ニ入學セシムルモノトス

第三條 工學部及理學部海軍學生ニハ各當該學部所設ノ一學科ヲ專修セシムルモ

第十九章 陸軍砲工學生及海軍學生規程

ノトス

第四條 入學料及授業料ハ之ヲ徵收セス

第五條 前各條ノ外東京帝國大學ノ諸規則ハ總テ工學部及理學部海軍學生ニ適用

ス

第二十章 東京帝國大學附屬圖書館

職員(同職中ノ氏名ハ) (六月一日現在)

館長 ドクトル・オブ・ローズ(カリフオーニヤ大學) 教授文學博士文學士 姊崎正治 東京

ドクトル・オノレール(ストラスブル大學) 助教授文學士 山田珠樹 東京

司書官 長澤正雄 東京

助手文學士 小野源藏 秋田

鈴木繁次 東京

本館ハ東京帝國大學ノ圖書ヲ收容保管シ之ヲ學員一般ノ用ニ供スル所ナリ本館ノ舊建物ハ明治二十六年開館藏書七十餘萬冊ニ上リシカ大正十二年九月一日ノ震災ノ爲ニ本館建物及藏書ノ全部焼亡シ僅ニ藏書ノ一小部分竝ニ學内諸教室研究室等ニ分置ノ圖書若干ヲ救出シ得タルノミニシテ創立以來三十餘年間ニ堆積シタル蒐集ハ殆ト烏有ニ歸シタリ此ニ於テ本學ハ災後直ニ復興ノ策ヲ講シ先ツ圖書復興委員會ヲ設ケ教授數人ヲ海外ニ派遣シ又諸方面ニ復興ノ援助ヲ求メタリ本館ノ災厄ハ忽ニシテ内外ノ注意ト同情ヲ喚起シ本學カ援助ヲ求ムル旨ヲ公表スルニ先チ

テ侯爵徳川頼倫氏ハ多年ノ經營ニ成ル南葵文庫ヲ全部寄贈スル旨ヲ申出ラレ續テ内外諸方面ノ同情寄贈ハ續々到來シ殆ト全世界ニ亘リテ各國ノ政府大學學會其他内外私人ヨリ多數ノ寄贈アリ本學復興費ニテ購入シタルモノヲ併セテ昭和七年度末迄ニ受入タル圖書約九十萬冊ニ達セリ就中英國政府ハ二萬五千ポンドヲ支出シテ英國出版書ヲ寄贈スルコト、シ同國學士院組織ニ係ル寄贈事業ヲ繼續シテ委員會ヲ設ケ圖書ヲ選擇蒐集シ其寄贈既ニ二百九十六箱約三萬八千三百冊ニ及ヒ全部ノ完了モ近キニアラントス

右購入及寄贈ノ内容竝ニ寄贈者ノ芳名ハ一々此處ニ記シ得ス在來復興報告ヲ發行シテ世ニ公ニセル外ニ寄贈ノ厚意ヲ記念スル方法ヲ講シツ、アリ
右圖書館復興ニ付テ特筆スヘキハジョン・デ・ロツクフエラー氏(子息)ノ寄附ニシテ同氏ハ大正十三年末日ヲ以テ右目的ノ爲ニ金四百萬圓ヲ寄贈スル旨ヲ申込ミ三人ノ管理委員ニ其支出全權ヲ委任セラレタリ本學ハ圖書館設計委員ヲ設ケ右寄附金ノ大部分ヲ建築費ニ充ツルコト、シ迅速ニ再建ノ工事ニ著手シ又同時ニ他ノ資金(政府支出金及他ノ寄附金)ヲ以テ將來ノ擴張ニ備フルト共ニ進歩シタル設備ヲ整フル手筈ヲ定メ右建築工事ハ大正十五年一月起工シ昭和三年十二月一日竣工式ヲ舉ケ

續テ開館セリ現在ノ圖書館即チ是ナリ

新館ハ建坪千七百七十五坪延坪五千九百九十五坪ニシテ内容ヲ略記スレハ一般閱覽室(三一二坪座席五〇〇)指定書閱覽室一五〇坪座席三〇四特別閱覽室七五坪座席七八)雜誌閱覽室九六坪座席約一八〇)自由閱覽室九〇坪座席約一二〇)等ノ諸閱覽室ヲ備ヘテ利用者ノ用ニ供ス其外記念室陳列室研究室演習室等ノ設備アリ研究室ハ特定ノ事項ヲ研究調査セントスルモノ、爲ニ期間ヲ限リテ一室ヲ専用又ハ共用セシム目下研究室ノ大半ハ文學部各學科ノ研究室トシテ貸付セリ演習室ハ本學教員教授上演習ノ爲ニ交互ニ之ヲ使用ス
事務諸室及同附屬室ハ事務系統ニ依リ各機關ヲ適當ニ配置シテ相互ノ聯絡ヲ滑ニシ事務ノ進捗ヲ圖レリ又休養室ニハ利用者ノ需ニ應シ文具及喫茶ノ供給ヲナサシム其他種々近代的設備ヲ施シ努メテ本館利用ヲ旺ニセンコトヲ期スルモ經費ノ都合上活用ヲ完フシ得サル點多キヲ遺憾トス
書庫(九四五坪七〇八七立方メートル)ハ安全書庫新聞書庫及豫備書庫ヲ別ニシテ木書庫ノミニテ收容量七十餘萬冊ノ見積ニシテ尙引續キ擴張スヘキ餘地ニハ優ニ百萬冊ヲ容ル、ニ足ルヘシ故ニ將來全圖書館ハ約二百萬冊ノ圖書ヲ收藏シ得ル豫定

ナリ
 本館ノ圖書目錄ハカード目錄トシテ閱覽係ノ前面ニ陳列シ其外利用者案内ヲ發行シテ利用者ノ便ニ供ス
 農學部傳染病研究所、航空研究所、東京天文臺、地震研究所ハ各其所屬圖書ヲ獨立ニ保管ス

○東京帝國大學附屬圖書館規則

第一總則

- 第一條 東京帝國大學附屬圖書館ハ東京帝國大學所屬圖書ノ管理ニ關スル事務ヲ掌ル
- 第二條 圖書館ノ管理スル圖書ヲ分テテ左ノ二種トス
 - 一 本館備付ノ圖書
 - 二 教室、研究室、其他ノ部局備付ノ圖書
- 第三條 本館備付ノ圖書ヲ分テテ左ノ五種トス
 - 一 貴重圖書及特殊圖書
 - 二 諸學科ニ通スル辭書事彙類
 - 三 教授上ノ必要ニ由ル指定圖書
 - 四 一般圖書(定期逐次刊行物ノ完册ヲ含ム)
 - 五 新聞雜誌等定期逐次刊行物(未完册ノ分)
- 第四條 教室、研究室、其他ノ部局ニ於テ圖書ヲ備付ケル場合ニハ當該部局長又ハ主任ヨリ所定ノ備付證書ヲ本館ニ差出スヘシ
 前項ノ圖書ハ當該部局長又ハ主任其保管ノ責ニ任ス
- 第五條 本館内ニ於テ圖書ヲ利用スル者ノ爲ニ閱覽室、研究室及演習室ヲ設ク
- 第六條 閱覽室及研究室ハ日曜日及祝祭日ヲ除キ左ノ通り之ヲ開ク
 一月六日ヨリ二月末日マテ

- 三月一日ヨリ七月二十日マテハ
 午前八時半ヨリ午後九時半マテ
 午前八時ヨリ午後九時半マテ
 - 七月二十一日ヨリ八月卅一日マテハ
 午前八時ヨリ正午マテ
 - 九月一日ヨリ十月三十一日マテハ
 午前八時ヨリ午後九時半マテ
 - 十一月一日ヨリ十二月廿八日マテハ
 午前八時半ヨリ午後九時半マテ
- 但シ圖書點檢其他ノ必要ニヨリ臨時閉館スルコトアルヘシ
- 第七條 本館利用者ハ總テ本館證票ヲ携フヘシ
 - 第八條 本學名譽教授、名譽教師ニハ庶務課長ノ申出ニヨリ、教授、教師、助教授、講師ニハ當該學部長ノ申出ニヨリ、其他ノ高等官ニハ當該部局長ノ申出ニヨリテ本館證票ヲ交付ス
 - 第九條 本學ノ助手、副手、技手、史料編纂官補、其他ノ職員ニハ當該學部長又ハ部局長ノ推薦ニヨリテ本館證票ヲ交付スルコトアルヘシ
 - 第十條 本學學生生徒ニアリテハ學生證生徒證ヲ以テ本館證票ニ代用ス
 - 第十一條 左ノ各號ニ當ル者ハ出願ニヨリテ本館證

第二十章 東京帝國大學附屬圖書館

- 票ノ交付ヲ受ケルコトヲ得
 - 一 三年以上本學ニ於テ第八條ニ掲ケタル職員タリシ者
 - 二 本學卒業ノ學士
 - 三 帝國學士院會員
 - 四 官廳公衙ノ吏員ニシテ當該廳衙ヨリ照會アル者
 - 五 本學ニ特別ノ縁故アル者
 - 六 圖書館商議會ニ於テ特許ヲ認メタル者
 - 第十二條 休學又ハ停學中ノ學生生徒ハ本館ヲ利用スルコトヲ得ス
 - 但シ休學中特別ノ事情アルモノハ當該學部長ヲ經由シテ本館ノ利用ヲ出願スルコトヲ得
 - 第十三條 本館利用者ニハ別ニ定ムル所ニヨリテ料金保證金ヲ納メシムルコトアルヘシ
- 第二閱覽室
- 第十四條 閱覽室ノ種別左ノ如シ
 一 一般閱覽室 一般圖書ヲ閱覽スル所ニシテ本館利用者ハ總テ之ヲ利用スルコトヲ得
 指定書閱覽室 指定圖書ヲ閱覽スル所ニシテ本學學生生徒ノミ之ヲ利用スルコトヲ得
 特別閱覽室 第八條ニヨリ閱覽者其他圖書館長ノ

指定シタル利用者ノミ之ヲ利用スルコトヲ得
 新聞雜誌閱覽室 新聞雜誌等定期逐次刊行物ノ未
 完册ノ分ヲ閱覽スル所ニシテ本館利用者ハ總テ
 之ヲ利用スルコトヲ得
 自由閱覽室 備付ノ自由取出圖書又ハ利用者自用
 ノ圖書ヲ閱覽スル所ニシテ本館利用者ハ總テ之ヲ
 利用スルコトヲ得
 第十五條 一般圖書ヲ閱覽セントスル者ハ一般閱覽
 係ヘ本館證票又ハ學生證生徒證ヲ差出シ借證ニ
 所定ノ事項ヲ記入シテ圖書ノ貸附ヲ受ケ座席票ヲ
 受取り之ニ指示セル座席ニ就クヘシ
 第十六條 指定圖書ヲ閱覽セントスル者ハ指定書閱
 覽係ニ就キテ前條同様ノ手續ヲナスヘシ
 第十七條 特別閱覽室ニ於テ一般圖書ヲ閱覽セント
 スル者ハ一般閱覽係ニ就キテ借證ノ手續ヲナスヘ
 シ但シ第八條ニ當ル者ニ就キテハ別ニ借證ノ手續
 ヲ定ム
 第十八條 新聞雜誌閱覽室ニ於テ自由取出ニアラサ
 ル定期逐次刊行物ヲ閱覽セントスル者ハ同室係員
 ニ就キテ借證ノ手續ヲナスヘシ
 第十九條 貴重圖書並ニ特殊圖書ヲ利用セントスル
 者ハ指定ノ場所ニ於テ閱覽スヘシ

第二十條 借證ノ圖書ハ利用ノ後直ニ閱覽係ニ返納
 スヘシ
 第二十一條 諸室ニ備付ノ圖書ハ當該室以外ニ持出
 スコトヲ禁ス
 第二十二條 一般閱覽室及指定書閱覽室ニ於テ利用
 者カ一時間以上其ノ座席ニ在ラサルトキハ其圖書
 類ヲ收メ之ヲ空席トシテ取扱フコトアルヘシ
 前項ノ取扱ヲ受ケタル利用者カ尙ホ圖書ヲ閱覽セ
 ントスルトキハソノ舊座席票ヲ差出シテ更ニ借證
 ノ手續ヲナスヘシ
 第三 研究室
 第二十三條 本館研究室ハ特定ノ事項ヲ研究調査セ
 ントスル者ニ對シ期間ヲ限リテ一室ヲ專用又ハ共
 用セシム
 第二十四條 左ノ各號ニ當ル者ハ研究室ノ使用ヲ出
 願スルコトヲ得
 一 第八條ニ當ル者
 二 本學大學院學生ニシテ所屬學部長ノ推薦アル
 者
 三 第十一條ニ當ル者
 第二十五條 研究室使用出願者ハ研究事項利用圖書
 種別及冊數ノ見込並ニ利用期間ヲ記入シタル願書

ヲ圖書館長ニ差出スヘシ
 圖書館長ハ使用者ノ履歷書又ハ學術業績ノ提出ヲ
 求ムルコトアルヘシ
 第二十六條 研究室使用ノ許否ハ圖書館商議會ノ議
 決ヲ經ルヲ要ス
 第二十七條 一事項ノ共同研究者二人以上ナルトキ
 ハ其中ノ一人ヲ主責任者トシテ届出ツヘシ
 研究調査上助手ヲ必要トスル場合ニハ豫メ其氏名
 身分及任用期限ヲ圖書館長ニ申出テ其承認ヲ經ヘ
 シ助手ニハ助手證票ヲ交付ス
 第二十八條 研究室ノ使用期間ハ一ケ年以内トス但
 シ研究調査上必要ノ場合ニハ既往研究調査ノ成績
 及將來ノ見込ヲ添付シテ其更新ヲ出願スルコトヲ
 得
 使用期間内ト雖モ圖書館長ハ圖書館商議會ノ議決
 ヲ經テ使用ヲ停止スルコトアルヘシ
 第二十九條 本學名譽教授、名譽教師、教授、教師、
 助教授、講師、大學院學生、公用ノ爲ニ官廳ノ照
 會ニ依ル者ノ外ハ使用許可ノ際使用料及保證金ヲ
 納ムヘシ
 使用更新ノ場合ハ更ニ使用料ヲ納ムヘシ
 第三十條 研究室使用者カ第二十五條ニヨリテ借出

シタル圖書ハ之ヲ研究室ニ備置クヘシ借用ノ圖書
 ヲ館外ニ帶出スル場合ニハ帶出ニ關スル手續ヲ經
 ルコトヲ要ス
 私有圖書ヲ室内ニ備置ク場合ニハ豫メ其冊數ノ見
 込ヲ届出ツヘシ
 第三十一條 圖書館長ハ貸出圖書ノ種類冊數ヲ制限
 シ期間ヲ指定シ又期間内ト雖モ返納ヲ求ムルコト
 アルヘシ
 第三十二條 本館開館時間外ニ於テ研究室ヲ使用セ
 ントスルニハ豫メ圖書館長ノ許可ヲ得ルコトヲ要
 ス
 第三十三條 研究室内ニ於テハ實驗ヲナスコトヲ禁
 ス
 第三十四條 研究室使用者ハ本館證票ヲ有セサル者
 ヲ室内ニ引見スヘカラス
 第三十五條 本館職員ハ使用中ノ研究室ニ出入シ又
 圖書備品ヲ調査スルコトアルヘシ
 第四 演習室
 第三十六條 本學教員ハ教授上演習ノ爲ニ本館演習
 室ヲ使用シ且之ニ要スル圖書ヲ借出シテ室内ニ備
 付クルコトヲ得
 第三十七條 演習室ヲ使用セントスル教員ハ毎年三

月十五日マテニ演習ノ題目、使用ノ期間時間制、参加人員、及所要圖書ノ見込ヲ記入シタル申込書ヲ當該學部長ヲ經テ圖書館長ニ差出スヘシ

圖書館長ハ前項ノ申込ニ就キテ取捨配當ヲ決定ス

第三十八條 演習室使用教員ハ使用時間中室内一切ノ責ニ任ス

本館證票ヲ有セサル者ハ之ヲ演習ニ参加セシムルコトヲ得ス

第三十九條 圖書館長ハ貸出圖書ノ種類冊數ヲ制限シ又期間内ト雖モ返納ヲ求ムルコトアルヘシ

第四十條 演習室内ニ於テハ實驗ヲナスコトヲ禁ス

第五 館内規律

第四十一條 本館利用者ハ常ニ本館證票學生生徒證又ハ座席票若クハ在庫票ヲ携帶シ本館職員ノ要求アルトキハ何時ニテモ之ヲ提示スヘシ

前項ノ規定ニ違反スル者ハ入館ヲ拒絶シ又ハ館外ニ退出セシムルコトアルヘシ

第四十二條 本館利用者ハ館内ニ於テ左ノ諸項ヲ遵守スヘシ

- 一 靜肅ヲ保ツコト
- 二 圖書器具床其他ノ設備ヲ汚損セサルコト
- 三 所定ノ場處以外ニ於テ飲食喫煙セサルコト

四 圖書利用ニ資セサル携帶品ヲ閱覽室内ニ持込マサルコト

五 已ムヲ得サル場合ノ外ハ外部トノ交通ヲ避クルコト

六 印刷物其他物品ヲ配布シ又ハ他人ヲ勸説セサルコト

七 協議又ハ議事ニ類スル會合ヲナササルコト

第四十三條 下駄ヲ穿ツ者インキ瓶ヲ携帶スル者自用圖書以外大量ノ荷物ヲ携帶スル者其他館内ノ規律ニ支障アル風態ヲナス者ハ入館ヲ許サス

第四十四條 館内ニ於テ利用者相互間ノ告知ノ爲ニ揭示ヲナサントスルニハ本館職員ノ許可ヲ受ケ所定ノ場所ニ之ヲナスヘシ

第六 書庫内圖書檢索

第四十五條 左ノ各號ニ當ル者ハ一般書庫内ニ入りテ圖書ヲ檢索スルコトヲ得

- 一 第八條及第九條ニ當ル者
- 二 滿十五年以上本學教授又ハ助教教授タリシ者
- 三 本學大學院學生
- 四 圖書館商議會ニ於テ特許ヲ認メタル者

第四十六條 圖書檢索者ハ入庫ニ先チ本館證票學生證又ハ座席票引換ニ在庫票ヲ受取り退庫ノ際之ヲ

返納スヘシ

書庫内ニテ檢索シタル圖書ヲ閱覽室ニ於テ利用セシトスル者ハ一般閱覽係ニ就キテ借覽ノ手續ヲナスヘシ

第八條ニ當ル者ニ就キテハ別ニ入庫ノ手續ヲ定ム

第四十八條 第八條ニ當ル者以外ノ在庫者ハ一時ニ三十人ヲ限リトス

第七 圖書帶出及返納

第四十八條 本學各局部ノ長又ハ主任ハ當該局部ニ於ケル學用ノ爲ニ本館備付圖書ヲ帶出スルコトヲ得

學用帶出ノ手續及保管ノ責任ハ第四條ノ規定ニ準ス

第四十九條 學用帶出ハ一般圖書ニアリテハ一部局ニツキ五十冊以内トシ三ヶ月以内ニ返納スヘシ

貴重圖書及特殊圖書ニアリテハ一部局ニツキ五冊以内トシ一ヶ月以内ニ返納スヘシ

定期逐次刊行物(未完冊ノ分)ニアリテハ一部局ニツキ三冊以内トシ當日返納スヘシ

第五十條 本學教員ハ本館備付圖書ヲ帶出スルコトヲ得

前項ノ帶出ハ一般圖書ニアリテハ一人ニツキ十五

冊以内トシ六ヶ月以内ニ返納スヘシ

貴重圖書ニアリテハ一人ニツキ三冊以内トシ二週間以内ニ返納スヘシ

第五十一條 貴重圖書及特殊圖書ノ帶出ニハ圖書館長ノ許可ヲ受クルヲ要ス

圖書館長前項ノ許可ヲナスニハ總長ノ認可ヲ受ケヘシ

第五十二條 本學教員ニアラスシテ書庫内圖書檢索ヲナシ得ル者ハ所定ノ保證金ヲ納メテ一般圖書ヲ帶出スルコトヲ得

前項ノ帶出ハ一人ニツキ三冊以内トシ一ヶ月以内ニ返納スヘシ

第五十三條 第四十九條第五十條及第五十二條ニ定ムル冊數ハ紙數百枚以内ノ小冊子ニアリテハ總テ三冊ヲ以テ一冊ト見做ス

第五十四條 帶出ハ總テ一般閱覽係ニ就キテ所定ノ手續ヲ經ヘシ

一般圖書ト雖モ圖書ノ種別又ハ本館ノ必要ニ依リ帶出ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第五十五條 帶出圖書ハ借用期間内ト雖モ毎年七月一日ヨリ七月十日マテノ間ニ一旦返納スヘシ

圖書館長ハ前項ノ外必要ノ場合ニハ帶出圖書ノ返

納ヲ求ムルコトアルヘシ
第五十六條 内外官廳ヨリ公用ノ爲ニ圖書帶出ノ照會アリタルトキハ差支ナキ限り之ニ應スルコトアルヘシ

第八 圖書謄寫及撮影

第五十七條 本館所藏圖書ヲ謄寫又ハ撮影セントスル者ハ書名寫スヘキ箇所豫定方法所用目的ヲ記入シタル願書ヲ差出スヘシ
出願者團體又ハ數人共同ノ場合ニハ主責任者ヲ定ムヘシ

第五十八條 圖書館長ハ前條ノ出願ニツキ詮議ノ上許否ヲ決シ必要ナル事項ヲ指定ス
謄寫又ハ撮影進行中ト雖モ圖書館長ハ之ヲ停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

第五十九條 本館利用者ニシテ圖書ノ小部分ノ謄寫又ハ撮影ヲ本館ニ依頼セントスルトキハ案内係ニ申出ツヘシ

前項ノ依頼ニ對シテハ別ニ定ムル所ノ手数料ヲ徵收シテ其需ニ應スルコトアルヘシ

第九 證票交付料其他料金
第六十條 第十一條ニヨリ利用者ハ證票交付料トシテ一ヶ年六圓、六ヶ月參圓ヲ納ムヘシ

前項ニヨリ證票ノ交付ヲ受ケタル者證票ヲ紛失シタル爲ニ再交付ヲ求ムルトキハ壹圓ヲ納ムヘシ
第六十一條 第五十二條ニヨリ圖書ノ帶出ヲナス者ハ保證金五拾圓ヲ納ムヘシ但シ本學大學院學生ニアリテハ參拾圓トス
第六十二條 第二十九條ニ規定セル研究室使用者ハ使用料百圓乃至五百圓及保證金貳百圓ヲ納ムヘシ
前項ノ使用料ハ室ノ大小及期間ノ長短ニ應シテ其金額ヲ定ム
第六十三條 前二條ニ依リ納付シタル保證金ハ各其ノ事由ノ止ミタルトキ之ヲ還付ス
第六十四條 特別ノ事情アルモノニ對シテハ圖書館商議會ニ於テ特ニ前三條ニ規定セル證票交付料使用料及保證金ノ輕減又ハ免除ヲ詮議スルコトアルヘシ
第六十五條 本館管理圖書ノ受入ニツキテ證明ヲ求ムル者アルトキハ本館ニ於テ差支ナキ場合ニ限り其需ニ應ス
前項ノ證明ヲ求ムル者ハ一件ニツキ手数料貳圓ヲ前納スヘシ
第六十六條 一旦納附シタル本館證票交付料及研究室使用料ハ如何ナル場合ニモ之ヲ返附セス

第十制 裁

第六十七條 圖書ヲ帶出シテ期限内ニ返納セサル者ニ對シテハ督促狀ヲ發ス

督促二回ニ及フモ尙ホ返納セサル者ニ對シテハ一週間本館ノ利用ヲ停止ス

前項ノ處分ヲ受ケルモ尙ホ返納セサル者ニ對シテハ本館ノ利用ヲ禁止ス

第六十八條 本館ノ圖書又ハ設備ニ損害ヲ加ヘタル者ハ之ヲ辨償セシムル外其情狀ニヨリ本館ノ利用ヲ停止又ハ禁止ス

第六十九條 利用禁止又ハ二週間ヲ超ユル利用停止ニ處スル場合ニハ圖書館商議會ノ議決ヲ經ルヲ要ス

第七十條 本館規則ヲ守ラス規律ヲ破ル者ハ本館ノ利用ヲ停止又ハ禁止ス

東京帝國大學附屬圖書館「ロツカー」
專用規程

第一條 本館利用者ハ左ノ保證金及專用料ヲ前納シテ一人一函ヲ專用スルコトヲ得

保證金 金 參 圓

專用料 金 六拾錢 專用期間 三ヶ月
金 壹圓 同 六ヶ月
金 壹圓七拾錢 同 一ヶ月

第二十章 東京帝國大學附屬圖書館

專用期間中「ロツカー」開閉ノ用ニ供スル爲專用者ニ對シ鍵一箇ヲ貸與ス

第二條 專用滿期ニ達シタルトキハ三日以内ニ鍵ヲ返納スヘシ

前項ノ返納ヲ怠リタルトキハ遲滞一日ニ付金貳錢ヲ徵ス

第三條 專用繼續ヲ希望スル者ハ滿期三日前ニ其ノ旨ヲ申出テ其ノ手續ヲ經ヘシ

前項ノ申出ナク鍵ノ返納ヲ怠リテ滿期後三日ヲ經タルトキハ本館ハ自由ノ處置ヲナスヘシ

第四條 鍵ヲ亡失シタルトキハ其ノ辨償金壹圓五拾錢ヲ徵ス

專用物ニ毀損々害ヲ與ヘタルトキハ修理料ヲ徵ス

第五條 函中ニハ過重ノ物品、不潔物、危險物ヲ收藏スヘカラス

第六條 收藏物品ノ保管ハ專用者各自ノ責任トス
圖書館長ハ必要ニ應シテ收藏物ヲ檢査スルコトアルヘシ

第七條 一旦納付シタル專用料ハ之ヲ還付セス、保證金ハ專用滿期後ニ之ヲ還付ス

第八條 遲滞料、辨償金及修理料ノ未納額ハ還付スヘキ保證金ヲ以テ之ヲ填補ス

前項ノ場合ニ於テ保證金ノ剩餘額ハ之ヲ還付シ其
ノ不足額ハ之ヲ追徴ス

○東京帝國大學附屬圖書館商議會規程

第一條 東京帝國大學附屬圖書館ニ圖書館商議會ヲ置ク

商議會ハ左ノ事項ヲ審議ス

圖書館規則ノ制定及改廢ニ關スル件

圖書館ニ關シテ總長ヨリ諮詢ノ件

圖書館長ヨリ提議ノ件

商議委員ヨリ提議ノ件

第二條 商議會ハ圖書館商議委員ヲ以テ組織ス

第三條 委員ハ各學部一名トシ學部教授會ニ於テ當該學部所屬ノ教授ノ中ヨリ之

ヲ選定シ總長之ヲ命ス

委員長ハ委員ノ互選ニ依リ總長之ヲ命ス

第四條 委員長及委員ノ任期ハ二ケ年トス但シ再選ヲ妨ケス

補缺ニヨリ命セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ任期ニヨル

第五條 委員長ハ商議會ノ議長トナリ其事務ヲ統理ス

第六條 圖書館長ハ商議會ニ列席ス又委員長ハ必要アリト認ムル場合ニ於テ其他

ノ本學職員ニ列席ヲ要求スルコトヲ得列席職員ハ議決ノ數ニ加ハラス

第二十一章 傳染病研究所

所長
所員

職員(同職中ノ氏名ハ
就職ノ順ニ掲ク)

(六月一日現在)

- 教授醫學博士醫學士 長與又郎 東京
- 教授醫學博士醫學士 林 春雄 東京
- 教授醫學博士醫學士 宮川米次 愛知
- 教授醫學博士醫學士 高木逸磨 長崎
- 教授醫學博士醫學士 河本禎助 兵庫
- 教授醫學博士醫學士 田宮猛雄 大阪
- 教授醫學博士醫學士 佐藤秀三 新潟
- 教授醫學博士醫學士 三田村篤志郎 和歌山
- 教授醫學博士醫學士 竹内松次郎 福井
- 教授醫學博士醫學士 小島三郎 岐阜
- 助教授醫學博士醫學士 細谷省吾 東京

技師

助教授醫學博士 田宮貞亮 熊本

獸醫學博士 城井尚義 東京

理學博士 山田信一郎 新潟

助教授農學博士農學士 遠山祐三 東京

醫學博士醫學士 野邊地慶三 岩手

醫學博士醫學士 阿部俊男 宮城

醫學士 内野仙一 東京

囑託

醫學博士醫學士 中 島 壽 長野

醫學博士 中 原 和 郎 鳥取

醫學博士醫學士 西澤行藏 兵庫

醫學博士醫學士 八田善之進 福井

醫學博士醫學士 田澤鏞二 愛知

醫學博士醫學士 松山陸郎 東京

傳染病研究所ハ傳染病其ノ他病原ノ檢索豫防治療方法ノ研究豫防消毒治療材料ノ檢査傳染病研究方法ノ講習並ニ痘苗血清其ノ他細菌學的豫防治療品ノ製造及檢定ニ關スル事務ヲ掌ル所トス

本所ハ明治二十五年十一月大日本私立衛生會ニ於テ傳染病研究所ヲ設置シタルニ起源シ同二十六年度以降國庫ノ補助金ヲ受ケ其ノ事業ヲ經營シタリ同三十二年四月政府ニ於テ國立傳染病研究所ヲ設置スルニ方リ該私立衛生會ハ在來ノ研究所ヲ廢止シ家屋備品等ヲ舉ケテ之ヲ政府ニ寄附セリ同三十八年從來別ニ官業トシテ經營シタル痘苗製造所及血清藥院ノ事業亦本所ニ併合セラレ本所ノ事業漸次擴張シ土地建物ノ狹隘ヲ感スルニ至レルヲ以テ同三十九年之ヲ現今ノ敷地ニ改築移轉セリ

本所ハ始メ内務大臣ノ管理ニ屬セシカ大正三年十月官制改正以來文部大臣ノ管理ニ移サレ同五年三月勅令第四十七號ヲ以テ更ニ東京帝國大學ニ附置セラレ本所ニ於テ製造販賣スル痘苗血清ワクチン、診斷液類ハ痘苗、デフテリア血清、デフテリア抗毒素、破傷風血清、腸チフス血清、赤痢血清、コレラ血清、ペスト血清、微毒蛇毒血清、

連鎖球菌血清、連鎖狀球菌血清、猩紅熱用、流行性腦脊髓膜炎血清、肺炎雙球菌血清、インフルエンザ、菌肺炎雙球菌混合血清、健康馬血清、黃疸出血性、スピロヘータ血清、診斷用家兎免疫血清、舊、ツベルクリン、デフテリア豫防液精製、デフテリアアナトキシシン、破傷風豫防液精製、破傷風アナトキシシン、丹毒連鎖球菌、ワクチン、百日咳菌、ワクチン、淋菌「デクチン」、腸チフス「ワクチン」、バラチフス「A菌」、ワクチン、バラチフス「B菌」、ワクチン、バラチフス「菌混合」、ワクチン、腸チフス「バラチフス」、菌混合、ワクチン、赤痢「ワクチン」、赤痢内服「ワクチン」、コレラ「ワクチン」、ペスト「ワクチン」、インフルエンザ「菌肺炎雙球菌混合」、ワクチン、黃疸出血性「スピロヘータ」、ワクチン、狂犬病「ワクチン」、犬體用「狂犬病」、ワクチン、腸チフス「診斷液」、バラチフス「A型診斷液」、バラチフス「B型診斷液」、微毒診斷液ノ四十種ニシテ規定ニ從ヒ請求者ニ賣渡スモノトス

大正四年十月内務省令ヲ以テ檢定規程ヲ發布セラレ、デフテリア血清、破傷風血清並ニ其ノ製品製劑ノ販賣ハ必ス本所ニ於ケル檢定委員ノ檢定ヲ經タルモノニ限ルコトニ規定セラレ又大正六年八月文部省令ヲ以テ檢査規程ヲ發布セラレ本所ニ於テ公衆ノ依頼ニ應シ傳染病ニ關スル豫防、消毒、診斷、治療材料ノ檢査ヲ施行シツツアリ大正十年六月文部、内務兩大臣ノ認可ヲ受ケ脾脫疽ヲ患フル者ノ爲ニ獸疫調査所ニ

委託シテ製造セル脾脫疽血清ヲ人體治療用トシテ醫師ノ請求ニ限り實費ヲ以テ交付スルコトナレリ

昭和二年一月内務省令ヲ以テ傳染病豫防法施行規則改正セラレ内務大臣ノ指定シタル藥品ニシテ本所ノ檢定ニ合格シタルモノ又ハ之ヲ原料トシテ本所ノ指示スル製法ニ從ヒ調製シタル藥品ハ本所ノ指示スル所ニ從ヒ之ヲ同法施行規則第二十四條ニ定ムル藥品ニ代用スルコトヲ得ルコトナリ同時ニ内務省令ヲ以テ代用消毒藥品檢定規程發布セラレ代用消毒藥品ハ總テ本所ノ檢定ヲ受クルコトナレリ

本所ハ細菌學、傳染病學及公衆衛生學ノ普及發達ヲ圖リ國家衛生ノ進歩ニ資センカ爲毎年二期各三ヶ月間講習會ヲ開催シ(四月傳染病學、九月公衆衛生學)醫師、齒科醫師並ニ獸醫師其ノ他ヨリ講習志願者ヲ募集ス

本所ハ傳染病其ノ他ノ疾患ニ關スル研究ノ爲醫院ヲ附設シ傳染病及一般内科的患者ノ入院及外來診療ニ従事ス又狂犬病其ノ他各種傳染病豫防注射ノ依頼ニ應ス私費入院患者ノ入院料ハ一等、二等及三等ニ區別ス

本所ハ附屬醫院病室ニ使用ノ目的ヲ以テ内務省看護婦規則ニ準據シ看護婦養成所ヲ設ケ看護婦ヲ養成ス修業年限二ヶ年給費トシ看護ニ必要ナル教科ヲ授ケ卒業後

ハ二ヶ年間本所附屬醫院ニ於テ看護婦トシテ勤務スルノ義務アルモノトス

第二十二章 航空研究所

所長
所員

職員(同職中ノ氏名ハ
就職ノ順ニ掲ク)

(六月一日現在)

- 教授工學博士工學士 和田小六 東京
- 教授理學博士理學士 寺田寅彦 高知
- 教授工學博士工學士 田中芳雄 埼玉
- 教授工學博士工學士 竹村勸 石川
- 教授理學博士理學士 寺澤寛一 東京
- 教授工學博士工學士 柄原豊太郎 和歌山
- 教授理學博士理學士 小幡重一 東京
- 教授理學士 岩本周平 埼玉
- 教授工學博士工學士 和田小六 東京
- 教授工學博士工學士 後藤正治 静岡
- 教授工學博士工學士 井口常雄 東京

(海外出張中)

(在外研究中)

- 教授理學博士理學士 小林辰男 岡山
- 教授工學博士工學士 妹澤克惟 東京
- 教授工學博士工學士 永井雄三郎 栃木
- 教授理學博士理學士 佐々木達治郎 岡山
- 教授工學博士工學士 富塚清 千葉
- 教授工學博士工學士 中西不二夫 岡山
- 助教授工學士 芳井正夫 大阪
- 助教授工學士 福田慎一 愛知
- 助教授工學博士工學士 田中敬吉 三重
- 助教授工學士 小川太一郎 京都
- 助教授工學士 河田三治 東京
- 助教授理學博士理學士 山口文之助 東京
- 助教授文學博士文學士 淡路圓治郎 東京
- 助教授理學博士理學士 佐藤孝二 大分
- 助教授工學士 深津了藏 愛知

(海外出張中)

事務官

助教理學士 拔山大三 東京
 助教授工學士 山本峰雄 静岡
 助教授工學士 谷一郎 東京
 海軍技師工學士 橋本賢輔 東京

技師

水口吉藏 東京

石井定 兵庫

佐藤直藏 東京

理學士 玉野光男 岩手

助教授工學士 山本峰雄 静岡

工學士 簡野信行 東京

囑託

理學博士理學士 田中館愛橘 岩手

文學博士文學士 松本亦太郎 群馬

工學博士工學士 厚木勝基 東京

工學士 堀口貞雄 東京

文學士 增田惟茂 愛媛

工學博士工學士 星合正治 東京

理學士 高橋清 福島

工學士 桑田勉 廣島

航空研究所ハ航空機ノ基礎的學理ニ關スル研究ヲ掌ル所トス

本所ハ大正七年七月二日勅令第二百七十號ヲ以テ本學ニ附屬創設セラレ同年八月
 市内深川區越中島ニ移轉ス同年七月九日勅令第三百十號ヲ以テ當所ノ官制ヲ公
 布セラレ本學ニ附置セラル大正十年度ヨリ五ヶ年経續費ヲ以テ本所ノ擴張ヲ行フ
 コト、ナリ東京工業試験所ノ舊敷地ノ一部ヲ併合シ諸建物増築ノ中途大正十二年
 九月一日ノ大震火災ニ遭ヒ建物ノ大部分ヲ類焼シ敷地地盤夥シク沈下ヲ來セリ因
 ツテ本學農學部敷地内ニ移轉復興スルコトトナリ大正十五年八月以降漸次諸建物
 及設備ノ工事ニ着手シ昭和五年五月竣工ヲ告ケ同年九月迄ニ全部ノ移轉ヲ了スル
 ニ至レリ

第二十三章 東京天文臺

職員(同職中ノ氏名ハ就職ノ順ニ掲ク)

(六月一日現在)

臺長

教授理學博士理學士 早乙女清房 東京

技師

教授理學博士理學士 早乙女清房 東京

理學士 橋元昌矣 東京

理學士 及川奧郎 岩手

理學士 福見尙文 愛媛

理學士 神田茂 愛知

教授理學博士理學士 田中務 福岡

助教授理學博士理學士 萩原雄祐 大阪

理學士 辻光之助 東京

理學士 宮地政司 廣島

理學士 野村誠夫 山形

東京天文臺ハ天文學ニ關スル事項ヲ攻究シ天象觀測曆書編製時ノ測定報時及時計ノ檢定ニ關スル事務ヲ掌リ且大學院及理學部學生ノ實地授業及研究ノ用ニ供スル所ナリ本臺ノ位置ハ東京市麻布區飯倉三丁目舊海軍觀象臺趾ニ在リ地積二千五百餘坪ヲ有ス現今採用スル所ノ經緯度ハ經度東百三十九度四十四分四十秒九ニシテ緯度ハ北三十五度三十九分十六秒トス

本臺ノ設置ハ明治二十一年六月二日舊海軍觀象臺ノ天象部内務省地理局觀測課ノ天象部理學部ノ舊天象臺ノ合併ニヨリ成リタルモノニシテ理學部ノ附屬ナリシカ大正十年十一月二十二日勅令第四百五十號ヲ以テ官制ヲ定メラレ爾來大學ニ附置セラレタルモノナリ尙本臺ハ明治四十二年三月東京府北多摩郡三鷹村ノ土地九萬餘坪ヲ敷地ト定メ大正十三年九月本臺ノ大部ヲ移轉セリ

本臺ノ現今備付ノ天文學器械中最モ重要ナルモノハ第一「レブソルド」ノ子午儀(口徑一三、五センチメートル)焦點距離二一七センチメートル第二「カールツァイス」ノ赤道儀(口徑二〇、〇センチメートル)焦點距離三、五九センチメートル第三「メルツ」ノ赤道儀(口徑一六、二センチメートル)焦點距離二四五センチメートル第四「スタインハイル」ノ太陽寫真儀(口徑一二、八センチメートル)焦點距離一一、三メートル第五「ブラツシヤ」

天體寫真儀(口徑二〇・三センチメートル)焦點距離一〇八センチメートル(第六、テツフ
 アー)ノ分光太陽寫真儀第七、リフラー)ノ一等振子時計三基第八、ゴーチエ)一等子午
 環等ニシテ、カール・ツァイス)ノ大赤道儀(口徑六五・〇センチメートル)焦點距離一〇二
 〇・〇センチメートル)ハ其据付工事ヲ終ヘ目下試驗中ナリ
 本臺ハ遞信省ノ依來ニ應シ全國郵便電信局及横濱、神戸、門司、大阪ノ四港務部、東京帝
 國大學地震學教室竝ニ東京市ヘ電氣信號法ヲ以テ毎日正午時ヲ通報ス
 本臺ハ遞信省ノ依賴ニ應シ船橋及銚子無線電信局ヲ經テ主トシテ航海中ノ船舶ニ
 無線電信ヲ以テ毎日午前十一時及午後九時零分、一分、二分、三分及四分ヲ報知シ毎月
 中ノ報時修正値ヲ翌月十五日ノ官報ヲ以テ報告ス且夏期中毎夜十一時船橋無線電
 信局ヲ通シテ學用報時ヲ爲ス
 本臺ハ官制ニヨリ曆ヲ編纂シ神宮神部署ヨリ之ヲ發行ス又一般理學ノ教育研究及
 應用ノ便ニスル爲各種ノ表ヲ併記シタル曆書ヲ編纂シ理科年表ト名ツケ毎年之ヲ
 發行ス本臺ニ於テハ各國天文臺ノ例ニ倣ヒ毎年數回研究事業ヲ歐文ニテ編製シ東
 京天文臺年報トシ又觀測報告ノ短篇ハ、トウキョウアストロノミカルビルチントシ
 テ弘ク各國關係者ニ配布ス

第二十四章 地震研究所

職員(同職中ノ氏名ハ)

(六月一日現在)

所長
所員

教授理學博士理學士 石本巳四雄 東京

教授理學博士理學士 寺田寅彦 高知

教授理學博士理學士 岡田武松 千葉

教授工學博士工學士 内田祥三 東京

教授理學博士理學士 藤原咲平 長野

教授工學博士工學士 物部長穗 秋田

教授理學博士理學士 坪井誠太郎 東京

教授工學博士工學士 妹澤克雄 東京

教授理學博士理學士 石本巳四雄 東京

教授理學博士理學士 矢部長克 東京

助教授理學博士理學士 松澤武雄 埼玉

東北帝國大學教授理學博士理學士

助教授理學博士理學士

(海外出張中)

(海外出張中)

(在外研究中)

第二十四章

地震研究所

助教授理學士 坪井忠二 東京
 助教授理學士 津屋弘遠 岐阜
 助教授理學士 高橋龍太郎 秋田

技師

理學士 那須信治 大阪
 理學士 宮部直巳 東京

囑託

理學士 山口生知 茨城
 理學博士理學士 長岡半太郎 長崎
 理學士 辻光之助 東京
 工學士 平山復二郎 東京
 理學士 河角廣 長野
 陸軍少將理學士 鈴木元長 廣島
 海軍少將 小野彌一 山口

地震研究所ハ地震ノ學理及震災ノ豫防ニ關スル事項ノ研究ヲ掌ル所トス

本所ハ地震波地殼變動等ニ關スル數理的及實驗的ノ研究地震ニ關係セル地質學及地形學ノ研究各種計測器ノ考案及改良耐震構造ニ關スル研究ヲナス外尙地震動ノ觀測及地殼變動計測ノ如キ實地ニ付テノ研究ヲモ行フ
 本所ニ於テハ傾斜測定用水管熔融石英製傾斜計長單振子地震計加速度計自記重力偏差計振動分解器等ヲ以テ各種ノ觀測ヲ行フ尙支所ニモ地震計及傾斜計ヲ備附ケテ各種ノ觀測ヲナス
 本所ハ大正十四年十一月十四日勅令第三百十一號ヲ以テ本學ニ附置創設セラレ元文部省震災豫防調査會ノ事業ノ一部ヲ本所ニ於テ繼承スルコトナリタリ
 昭和二年度末是ヨリ先本學構内ニ經始スル所ノ新築成リシヲ以テ同三年六月本所ヲ茲ニ移ス尙茨城縣筑波町東京府北多摩郡三鷹村東京天文臺構内及目黒區駒場町ニ支所ヲ有ス
 本所ニ於テハ各所員ヨリノ研究報告ヲ編纂シテ之ヲ東京帝國大學地震研究所彙報ト名ツケ既ニ第十一號第一冊マテ出版セリ

第二十五章 制服、學生證、共濟施設、寄宿舍及運動會

○制服

本學學生ハ明治十九年四月二十八日達第三號ニ依リ一定ノ制服制帽ヲ著用スヘキモノトス

○學生證

本學學生生徒及聽講生ハ昭和二年三月十九日庶第四〇七號通牒ニ依リ一定ノ學生證生徒證及聽講生證ヲ所持スヘキモノトス

○共濟施設

學生ノ福利増進ノ目的ヲ以テ學生健康相談、學生人事相談及構内商人管理ノ事業ヲ學生課ニ於テ行ヒツツアリ即チ健康相談ハ學生課醫局之ニ當リ内科(レントゲン、太陽燈ノ設備アリ)外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、齒科及スポーツ醫事相談等ノ各科ニ夫夫専門醫ヲ依囑シテ學生生徒ノ診療竝ニ保健ニ關スル相談ニ當ラシメ且藥局ヲ置キテ投藥セシム人事相談ハ學生課共濟事業係之ニ當リ身上相談、學生人事相談會、内職紹介、學資補給ニ關スル相談、下宿貸間紹介、引越荷物運搬及暑中休暇中ノ荷物保管

等ノ事業ヲ行フ外學生一般希望者ノ爲屋外體操ヲ指導シツツアリ商人管理モ亦學生課共濟事業係之ニ當リ商人管理規則ニ基キ商人ヲシテ構内ニ於テ食堂、喫茶店、文具及雜貨販賣靴及洋服修繕販賣、理髮、寫真、時計修繕販賣、洗濯及クリーニング等ノ營業ヲ行ハシム以上ノ共濟施設ニ關スル協議機關トシテ昭和四年五月十八日共濟事業委員會ノ設立アリ同委員會ハ各學部長ヨリ推薦セラレタル各學部教授一名學生主事若干名及各學部會長ヨリ推薦セラレタル各學部學生二名ノ各委員及委員長推薦ニ依ル臨時委員若干名ヨリ成リ毎月一回定例會議ヲ開キテ協議ヲ行フ委員ハ總長ノ囑託ニ依ルモノトス

○寄宿舍

寄宿舍ハ農學部構内ニアリ學生生徒約百四十名收容スルノ設備ヲナセリ

○運動會

本學ニ於ケル體育運動ノ進歩普及ヲ圖リ汎ク會員ノ心身ヲ練磨スルヲ以テ目的トシ本學學生ヨリナル通常會員、本學職員ヨリナル特別會員竝ニ本學卒業生及理事會ニ於テ推薦シタル贊助會員ヲ以テ組織ス

本會ニ總務部、外漕艇部、陸上運動部、劍道部、柔道部、弓術部、庭球部、水泳部、スキー、山岳

部、野球部、ラグビー蹴球部、アツソシエーション蹴球部、馬術部、小銃射撃部、スケート部、ホッケー部、籠球部、排球部ノ十七部ヲ置ク

本學内ニ運動場、柔剣道場、弓術場及プール等アリ向島隅田川東岸ニハ艇庫ヲ設ケ之ニ端艇ヲ收藏シ巢鴨庚申塚ニハ硬球、テニスコート、靜岡縣田方郡戸田村御濱ニハ水泳場ノ設置アリ富士山麓山中湖畔ニハ運動場、野球場、テニスコート及艇庫ノ設備ヲナシ之等練習ノ用ニ供ス又群馬縣利根郡水上村字谷川ニ谷川寮アリ收容人員五十名外ニ浴場、食堂、スキー乾燥室及娛樂室ノ設ケアリ四季ヲ通シテ學生ノ週末休養所ヲラシメ冬季スキー練習場ヲ兼ネシム

第二十六章 獎學金

第一 獎學金

資金名義	寄贈ノ目的	寄贈年月	金額	寄贈者
贈右大臣大久保利通獎學資金	農學部學生ノ貸費	明治十一年一月	金五千四百二十三圓九十六錢八厘	大久保利通
江沼元五郎記念獎學資金	動植物學ノ標品、圖書購入費	明治十八年三月	金百二十五圓	故江沼元五郎外有志者
古河市兵衛獎學資金	探礦及冶金學科學生ノ學費補助器械類購入費	明治十九年五月	金一千圓	古河市兵衛
東京石川島造船所獎學資金	工學部機械、造船、電氣學科學生ノ貸費	自明治十九年五月至同三十五年十月	金四百六十三圓二十二錢六厘	東京石川島造船所專務取締役
三菱合資會社獎學資金	各學部學生ノ貸費	自明治十九年七月至同二十六年七月	金四千七百八十四圓六十八錢四厘	岩崎彌之助
古河市兵衛獎學資金	工學部學生ノ貸費	自明治十九年五月至同二十六年七月	金千四百五圓四十八錢五厘	古河市兵衛
東京電燈株式會社獎學資金	工學部電氣工學科學生ノ貸費	自明治十九年九月至同二十八年七月	金百七十九圓十一錢三厘	東京電燈株式會社長
住友吉左衛門獎學資金	工學部學生ノ貸費	自明治十九年七月至昭和七年十二月	金一萬一千八百九圓一錢三厘	住友吉左衛門
昌山義成記念獎學資金	法學化學工學科學生優等者ノ褒賞	明治十九年四月	金五百五十圓	故昌山義成
市川盛三郎記念獎學資金	物理學獎勵ノ爲	明治二十一年三月	金百五十二圓五十錢	故市川盛三郎
原亮三郎獎學資金	文學部及理學部學生ノ貸費	自明治二十年六月至同二十四年七月	金七百二十圓	故市川盛三郎
			金二千五百九十九圓九十六錢九厘	原亮三郎

第二十六章 獎學金

大橋佐平獎學貸費	學部學生ノ貸費	自明治二十一年一月至同三十二年五月	金千六百十五圓六十四錢五厘	大橋佐平
藥學科獎學貸費	藥學科學生ノ貸費	明治二十一年三月	金二百四圓五十錢	丹羽藤吉郎
獨逸語講談會補助費	貧困學生ノ補助費	明治二十一年六月	金三十一圓	獨逸人スピンネル
安田善次郎獎學貸費	工學部學生ノ貸費	自明治二十一年十月至同二十六年四月	金四百四十九圓二十二錢六厘	安田善次郎
鹿島岩藏獎學貸費	工學部土木工學科學生ノ貸費	自明治二十七年六月至同二十七年六月	金四百九十八圓六十七錢三厘	鹿島岩藏
佐藤雄二記念獎學貸費	工學部學生ノ貸費	明治二十三年六月	金五十六圓	高橋辰二郎
清水滿之助獎學貸費	工學部建築學科學生ノ貸費	自明治二十三年十月至同二十八年八月	金二百四十六圓四十五錢二厘	清水滿之助
田邊義三郎記念獎學貸費	工學部土木工學科優等生ノ褒賞及貸費	同二十五年三月至同二十五年六月	金千九十一圓四十錢	日下部辨二郎
柴山正秀記念獎學貸費	醫學部藥學科學生ノ貸費	明治二十四年五月	金三百二十圓	外柴山正秀
松尾周藏記念獎學貸費	醫學部藥學科學生ノ貸費	明治二十五年九月	金二百二十五圓	故松尾周藏
子爵森有禮記念獎學貸費	學力優等學生貧困者ノ授業料補助又ハ學資	明治二十六年四月	金二千七百圓	故子爵森有禮
贈正四位高島四郎太夫記念獎學貸費	工學部造兵、火藥學科學生ノ貸費	明治二十七年六月	金百三十六圓二十九錢二厘	贈正四位高島四郎太夫
巖谷立太郎記念獎學貸費	工學部探礦及冶金學科學生中學力優等者ノ學資又ハ物件給與	明治二十八年五月	金千七百四十三圓十六錢五厘	故巖谷立太郎
カール・イリス獎學貸費	兼修者ノ學資補助	明治二十九年四月	金千五百圓	獨逸人カール・イリス
子爵井上毅記念獎學貸費	大學院及ハ法學部研究科ニ於ケル國際公法學科者ノ學資補助	明治二十九年五月	金千四十五圓	故子爵井上毅

ホルム獎學貸費	法學部法律學科獨逸法兼修學生ノ貸費	明治二十九年六月	金五百四十圓	獨逸人ドクトルホルム
菊地安記念獎學貸費	理學部礦物學及火山學專攻者ノ學資補助	明治二十九年九月	金百九十圓	故菊地安
猪子吉人記念獎學貸費	醫學部學生藥物學優等者ノ貸費	明治三十一年三月	金二百八十五圓	故猪子吉人
沖野忠雄獎學貸費	工學部土木工學科學生貧困者ノ貸費	自明治三十一年四月至同三十八年三月	金六千三百圓	沖野忠雄
島田重禮記念獎學貸費	文學部漢學科優等學生ノ給費	明治三十一年十月至同三十五年二月	金二千二百二十五圓	故島田重禮
原善三郎獎學資金	學術獎勵ノ費途	明治三十二年二月	金一萬圓	原善三郎
關谷清影記念獎學資金	學術獎勵ノ費途	明治三十二年二月	整理公債證書額面金千六百圓	故關谷清影
鈴木重嶺記念獎學資金	法文學部學生學力優等者ノ給費	明治三十二年三月	金二百圓	故鈴木重嶺
今田東記念獎學資金	醫學部醫學科學生ノ給費	明治三十二年四月	軍事公債證書額面金五百圓及現金二十九圓八十七錢六厘	故今田東
杉井定吉記念獎學資金	工學部土木機械工學科學生學力優等者ノ褒賞及學資補助	明治三十二年五月	軍事公債證書額面金三千圓	故杉井定吉
林百合子記念獎學貸費	醫學部學生學力優等者ノ貸費	明治三十二年七月	金五百圓	故林百合子
太田六郎記念獎學貸費	工學部土木機械工學科學生學力優等者ノ貸費	明治三十二年九月	金千圓	故太田六郎
東京瓦斯株式會社獎學貸費	工學部應用化學科學生ノ貸費	明治三十三年十二月	金千圓	東京瓦斯株式會社
矢田部良吉記念獎學資金	植物學ニ關スル圖書購入費	明治三十四年七月	金五百七圓五十錢	故矢田部良吉
大島高任記念獎學資金	工學部探礦冶金學科研究費同學生學力優等者ノ學資補助	明治三十六年三月	整理公債證書額面金五千圓	故大島高任

第二十六章 獎學金

地理學獎學資金	地理學獎勵ノ費途	明治三十六年三月	金百七十五圓	一有志者
平野記念獎學金	工學部ニ於ケル獎學費	明治三十七年三月	金三百三十圓	名村泰藏外一名及
辻岡精輔獎學資金	醫學部藥學科ニ於ケル	大正五年十二月	金千圓	平野津類
小寺泰次郎記念獎學資金	新聞雜誌購入費	明治三十八年一月	海軍及整理公債證書額面	故辻岡精輔
足立美堅記念獎學資金	法學部法律及政治學科優等成績學生等ノ論文提出者ノ給與	明治三十八年二月	金六百五十圓	故外有志者
阿川重郎獎學貸費	農學部農學科圖書器械購入費	明治三十八年七月	百圓	故小寺泰次郎嗣子
福岡健良記念獎學資金	工學部學生ノ貸費	明治三十八年四月	百圓	故足立美堅父
乾立夫記念獎學資金	工學部探礦及冶金學科應用化學科獎勵ノ費途	明治三十九年七月	整理公債證書額面金三百五十圓	故足立正聲
中井元吉記念獎學資金	工學部應用化學科ニ關スル雜誌購入ノ費途	明治三十九年八月	政府五分利公債證書額面金一千圓	阿川重郎
落合直文記念獎學貸費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治三十九年二月	金千圓	故福岡健良嗣子
曾我俊二郎記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治三十九年八月	帝國政府五分利公債證書額面金五百圓	故乾立夫
長澤忠記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治四十年四月	金二百二十五圓	故乾立夫
竹前本太郎記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治四十年五月	金二百二十五圓	故乾立夫
小林岩雄記念獎學貸費	工學部土木工學科學生ノ貸費	明治四十年六月	金百九十五圓五十錢	故乾立夫
醫學獎學費	醫學部學生生徒ノ貸費	明治四十年七月	金七百三十圓	故乾立夫
佐々木忠次郎開講記念獎學資金	工學部土木工學科ニ於ケル研究獎勵ノ費途	明治四十年十月	帝國政府五分利公債證書額面金二千二百五十圓	故乾立夫
伯爵林友幸記念獎學貸費	醫學部學生中學力優等者ノ貸費	明治四十年十二月	十圓同國庫債券額面七百五十圓同軍事公債額面金五百圓	故乾立夫
南清及村上享一記念獎學資金	工學部機械工學ノ研究及獎勵費	明治四十一年三月	金七百三十圓	故乾立夫
樂山堂病院獎學貸費	法學部植民政策講座設置ノ費途	明治四十一年五月	金五百五十圓	故乾立夫
眞野文二獎學資金	工學部土木工學科ニ關スル圖書購入費	明治四十一年七月	整理公債證書額面金二千二百圓	故乾立夫
子爵兒玉源太郎記念植民政策講座設置獎學資金	醫學部內科學生ノ論文褒賞貧困優等學生ノ學資	明治四十一年九月	金五圓	故乾立夫
伊藤亮記念獎學資金	工學部機械工學科研究費	明治四十一年十一月	金五圓	故乾立夫
エルグキン・フォン・ベルツ獎學資金	醫學部化學教室定期刊行物購入費又ハ圖書購入費	明治四十二年三月	金九千七百四十六圓十九錢	故乾立夫
ウエスト教師記念獎學資金	農學部學生ノ貸費	明治四十二年七月	金二百十圓	故乾立夫
岩崎壽次郎記念獎學資金	農學部學生ノ貸費	明治四十二年十月	帝國五分利公債證書額面金三千五百圓	故乾立夫
子爵品川彌二郎記念獎學貸費	農學部學生ノ貸費	明治四十三年七月	金四千五百二十五圓	故乾立夫
外山正一記念獎學資金	農學部學生ノ貸費			故乾立夫

地理學獎學資金	地理學獎勵ノ費途	明治三十六年三月	金百七十五圓	一有志者
平野記念獎學金	工學部ニ於ケル獎學費	明治三十七年三月	金三百三十圓	名村泰藏外一名及
辻岡精輔獎學資金	醫學部藥學科ニ於ケル	大正五年十二月	金千圓	平野津類
小寺泰次郎記念獎學資金	新聞雜誌購入費	明治三十八年一月	海軍及整理公債證書額面	故辻岡精輔
足立美堅記念獎學資金	法學部法律及政治學科優等成績學生等ノ論文提出者ノ給與	明治三十八年二月	金六百五十圓	故外有志者
阿川重郎獎學貸費	農學部農學科圖書器械購入費	明治三十八年七月	百圓	故小寺泰次郎嗣子
福岡健良記念獎學資金	工學部學生ノ貸費	明治三十八年四月	百圓	故足立美堅父
乾立夫記念獎學資金	工學部探礦及冶金學科應用化學科獎勵ノ費途	明治三十九年七月	整理公債證書額面金三百五十圓	故足立正聲
中井元吉記念獎學資金	工學部應用化學科ニ關スル雜誌購入ノ費途	明治三十九年八月	政府五分利公債證書額面金一千圓	阿川重郎
落合直文記念獎學貸費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治三十九年二月	金千圓	故福岡健良嗣子
曾我俊二郎記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治三十九年八月	帝國政府五分利公債證書額面金五百圓	故乾立夫
長澤忠記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治四十年四月	金二百二十五圓	故乾立夫
竹前本太郎記念獎學費	醫學部探礦及冶金學科ニ必要ナル物品購入費	明治四十年五月	金二百二十五圓	故乾立夫
小林岩雄記念獎學貸費	工學部土木工學科學生ノ貸費	明治四十年六月	金百九十五圓五十錢	故乾立夫
醫學獎學費	醫學部學生生徒ノ貸費	明治四十年七月	金七百三十圓	故乾立夫
佐々木忠次郎開講記念獎學資金	工學部土木工學科ニ於ケル研究獎勵ノ費途	明治四十年十月	帝國政府五分利公債證書額面金二千二百五十圓	故乾立夫
伯爵林友幸記念獎學貸費	醫學部學生中學力優等者ノ貸費	明治四十年十二月	十圓同國庫債券額面七百五十圓同軍事公債額面金五百圓	故乾立夫
南清及村上享一記念獎學資金	工學部機械工學ノ研究及獎勵費	明治四十一年三月	金七百三十圓	故乾立夫
樂山堂病院獎學貸費	法學部植民政策講座設置ノ費途	明治四十一年五月	金五百五十圓	故乾立夫
眞野文二獎學資金	工學部土木工學科ニ關スル圖書購入費	明治四十一年七月	整理公債證書額面金二千二百圓	故乾立夫
子爵兒玉源太郎記念植民政策講座設置獎學資金	醫學部內科學生ノ論文褒賞貧困優等學生ノ學資	明治四十一年九月	金五圓	故乾立夫
伊藤亮記念獎學資金	工學部機械工學科研究費	明治四十一年十一月	金五圓	故乾立夫
エルグキン・フォン・ベルツ獎學資金	醫學部化學教室定期刊行物購入費又ハ圖書購入費	明治四十二年三月	金九千七百四十六圓十九錢	故乾立夫
ウエスト教師記念獎學資金	農學部學生ノ貸費	明治四十二年七月	金二百十圓	故乾立夫
岩崎壽次郎記念獎學資金	農學部學生ノ貸費	明治四十二年十月	帝國五分利公債證書額面金三千五百圓	故乾立夫
子爵品川彌二郎記念獎學貸費	農學部學生ノ貸費	明治四十三年七月	金四千五百二十五圓	故乾立夫
外山正一記念獎學資金	農學部學生ノ貸費			故乾立夫

第二十六章 獎學金

侯爵前田利爲國史學講 座設置獎學資金	西川勝藏獎學資金	小川三紀紀念獎學 資金	男爵濱尾新獎學資 金	山岡茂松紀念獎學 資金	子爵山尾庸三紀念 獎學資金	小藤文次郎獎學資 金	浦太郎紀念獎學資 金	梅謙次郎紀念獎學 資金	梶浦重藏紀念獎學 資金	神保三三郎紀念獎 學資金	鶴見宜清紀念獎學 資金	箕作佳吉紀念圖書 購入資金	下山順一郎紀念獎 學資金	德積八東紀念獎學 資金
文學部國史學講座增設 ノ費途	醫學部醫學科圖書具機械 購入費、同學生ノ貸費	醫學部ニ於ケル鳥學比較解剖 學ノ研究費又ハ標本購入費	各學部學生優等者ノ學資及大 學院學生ノ獎勵費	工學部火藥學科ニ關ス ル器械圖書購入費	工學部ノ學術獎勵ノ費 途	醫學部地質學ニ關スル 圖書購入費	植民政策修業ノ優等學生ノ學 資又ハ圖書購入費	法學部ノ法律書購入費	工學部電氣工學科ニ關 スル圖書機械購入費	工學部電氣工學科ニ關 スル圖書購入費	工學部土木工學科ニ關 スル圖書雜誌購入費	醫學部動物學教室ニ於 ケル研究用圖書購入費	醫學部藥學科教室ノ費 用	法學部研究室ニ於ケル憲法ニ 關スル書籍購入費
明治四十三年七月	明治四十三年七月	明治四十三年九月	明治四十三年三月	明治四十三年三月	明治四十四年四月	明治四十四年六月	明治四十四年七月	明治四十四年三月	明治四十五年四月	明治四十五年五月	明治四十五年五月	明治四十五年七月	大正元年九月	大正元年十二月
金二萬圓	金千七百圓	金三百八十圓	金一萬八千四百圓	金百五十圓	帝國四分利公債證書額面 金五千圓	清國鐵道公債額面金千圓	金五千圓	金千圓(藏書共)	金八百圓	金二百五十圓	金二百二十九圓十一錢	金千七百五十圓	帝國五分利公債證書額面 金二千七百圓	金二千五百圓
侯爵前田利爲	西川勝藏	故小川三紀 外有者	男爵濱尾新 外有者	山岡茂松相續人 外有者	子爵山尾庸三 外有者	小藤文次郎 外有者	故浦太郎 外有者	故梅謙次郎 外有者	故梶浦重藏 外有者	故神保三三郎 外有者	故鶴見宜清 外有者	故箕作佳吉 外有者	故下山順一郎 外有者	故德積八東嗣子 重威

鳥竹次郎紀念獎學 資金	堀省吾紀念獎學資 金	鶴岡留吉紀念獎學 資金	藤澤利喜太郎獎學 資金	男爵鴻池善右衛門 獎學費金	清水彦五郎紀念獎 學費金	近藤基樹獎學費金	中村達太郎在職獎 學資金	堤重雄紀念獎學資 金	公法研究室獎學資 金	エルグキン、フオン、 ルツ獎學資金	學術講演獎學資金	伊東榮三郎紀念獎 學資金	星野恒獎學資金	横山又次郎獎學資 金
工學部土木工學科ノ研 究及圖書標本購入費	工學部土木工學科ニ關 スル圖書及雜誌購入費	工學部土木工學科ニ關 スル圖書雜誌購入費	醫學部數學科學生ノ給 費	國文學上和歌ノ歴史ニ 關スル研究獎勵費	醫學部ニ於ケル費途	工學部造船科卒業試驗ニ優 等ノ設計者ニ授與ノ賞品購入 費	工學部建築學科ニ必要 ナル費途	工學部電氣工學科ニ關 スル圖書購入費	法學部公法研究室ノ費 途	醫學部醫學科卒業生中優等者 ノ獎勵國大學又ハ病院ノ留學 生ノ歐米學者ノ講演費又ハ 他ノ歐米學者ノ講演費	工學部應用化學科ニ於 ケル學術獎勵費	文學部哲學ノ史學、文學 科優等學生ノ賞與金	理學部地質學教室用圖 書器械器具標本購入費	
大正元年十二月	大正元年十二月	大正元年十二月	大正二年二月	大正二年七月	大正二年七月	大正二年十月	大正二年十一月	大正二年十一月	大正二年十一月	大正二年十二月	大正三年二月	大正三年四月	大正三年十一月	
金千八十五圓	金百三十圓	金百三十圓	金三千圓	每年金六百圓宛 每年金八百圓宛	特別五分利公債證書額面 金五百圓	金五百圓	金二千圓	金百二十圓	金百圓	金一萬圓	勸業債券額面金五百八十圓	金五百圓	金五百圓	
故鳥竹次郎 外有者	故堀省吾 外有者	故鶴岡留吉 外有者	故藤澤利喜 外有者	故男爵鴻池 善右衛門	故清水彦五 郎未亡人	故近藤基樹 基樹	故中村達太 郎	故堤重雄 外有者	故增田義一 義一	故ベルツ遺 族	故伊東榮三 郎	故星野恒 外有者	故横山又次 郎	

第二十六章 獎學金

田邊秀雄記念獎學	工學部建築學科學生ノ	大正四年三月ヨリ	金二千	田邊
貸費資金	工業ニ關スル發明獎勵	大正三年十二月	金七	故下瀨雅允
下瀨雅允記念發明	ノ費途	大正三年十二月	金二萬	南滿洲鐵道株式會社總裁
獎學資金	滿洲ノ地理歴史ニ關ス	自至 大正三年五月	金二萬	南滿洲鐵道株式會社社長
史學地理學攻究獎	勵費途	昭和三年五月	金二萬五千	南滿洲鐵道株式會社理事
小林泰藏記念獎學	記念講演開催ノ費途	大正三年十二月	金七百四十五圓	故小林泰藏
岡野ハル記念獎學	法學部學生ノ貸費	大正四年二月	帝國四分利公債證書額面金	岡野敬次郎
產科婦人科學獎學	產科婦人科學獎勵ノ費	大正四年四月	金五	故瀨田玄達
清水彦五郎獎學資	獎學ノ費途	大正四年四月	金三	故尾越辰
坪内清六記念獎學	工學部探礦冶金學ニ關	大正四年六月	金千二十三圓	故坪内清六
植木耐太郎記念獎	工學部探礦冶金學ニ關	大正四年七月	金六百十九圓六錢	故植木耐太郎
松井直吉記念獎學	農學部學術研究ノ費途	大正四年七月	金五千九百二十一圓	故松井直吉
坪内正五郎記念獎	農學部學術研究ノ費途	大正四年七月	五分利公債證書額面金五百	故坪内正五郎
井上哲次郎獎學資	文學部哲學研究室圖書	大正四年十月	金二千五百五十五圓	井上哲次郎
松村任三獎學資金	文學部哲學研究室圖書	大正四年十一月	金六百五十圓	松村任三
辰野金吾獎學資金	文學部哲學研究室圖書	大正四年十一月	金二千七百五十圓	辰野金吾

ケルネル記念獎學	農學部農學科及農藝化	大正四年十二月	金千三百	男爵菊池大德
男爵菊池獎學資金	學科圖書購入費	大正五年二月	金一	故岡村輝彦
岡村輝彦獎學資金	學術研究獎勵ノ費途	大正五年三月	金一	石川千代松
石川千代松獎學資	圖書購入費	大正五年三月	特別五分利公債證書額面金	安田善次郎
佛敎哲學研究獎學	農學部學生ノ貸費	大正五年四月	金五	故穗積八束
德積八束記念獎學	文學部印度哲學及佛敎哲學	大正五年五月	五分利公債證書額面	故穗積八束
桂與一記念獎學資	研究ノ爲講堂開設費	大正五年五月	金一萬二千五百圓	故桂與一
齋藤善右衛門獎學	法學部ニ於ケル憲法研	大正五年五月	金二千三百三十圓	齋藤善右衛門
田中館愛橋獎學資	究ノ費途	同大正五年八月	金一萬六千六百六十六圓	田中館愛橋
生藥學研究獎學資	工學部探礦學科及冶金學科ニ	自至 大正五年十二月	四分利公債證書額面 金五	田中館愛橋
中島銳治、中山秀	文學部印度哲學研究ノ費途	大正五年十二月	四十分利公債證書額面 金五	田中館愛橋
三郎獎學資金	哲學部印皮哲學特ニ佛	同大正五年十二月	金六千三百	田中館愛橋
理學部紀要中北支那植	文學部物理學研究ノ費	大正五年十二月	金三	田中館愛橋
物誌出版獎學資金	究ノ費途	同大正六年五月	金三千三百	田中館愛橋
生物學講座設置獎	醫學部藥學科生藥學研	大正六年五月	金三千三百	田中館愛橋
學資金	究ノ費途	同大正六年六月	金三千三百	田中館愛橋

青山胤通獎學資金	醫學部內科教室ノ實驗費	大正六年十二月	五分利公債證書額面金一萬圓	青山胤通 志者
醫學部植物學科遺傳學講座設置獎學資金	醫學部植物學科ニ於ケル遺傳學講座新設費	大正六年十二月	九州電燈株式會社社債金五萬圓	外 野村徳七 名
米國憲法歴史及外交講座設置獎學資金	米國憲法歴史及外交講座設置ノ費途	大正六年十二月	五分利公債證書額面金十二萬圓	米國人 エー・パルトン・ヘボン
機械學獎學費金	機械學ニ關スル研究費	大正六年十二月	金千圓	井 口 在 屋
三上參次獎學資金	國史學ノ研究及大日本史料ノ編纂ニ資スヘキ圖書購入費	大正六年十二月	金六千七百圓	三上參次 志者
保井忠七獎學費金	醫學部植物學科ニ於ケル遺傳學ノ研究ニ要スル費途	大正七年一月	金千圓	外 保井 忠七 者
長井長義獎學費金	醫學部藥學科教室ノ費途	大正七年二月	金三千圓	長井 長義 者
土方寧獎學資金	醫學部ニ於ケル私法及英米法ニ關スル圖書購入費	大正七年三月	五分利公債證書額面金一萬圓	土 方 寧 志者
日下義雄獎學資金	育英ノ費途	大正七年四月	金一萬圓	外 有 志者
神田鐳藏獎學資金	醫學部教授會ノ決議ニ基ク醫學研究ノ費途	大正七年四月	金一萬圓	神 田 鐳 藏 者
木下正中獎學資金	醫學部附屬醫院產科學婦人科學教室ノ費途	大正七年四月	金三千圓	木 下 正 中 者
時重初熊記念獎學資金	醫學部醫學教室ノ家畜病理學研究ニ必要ノ圖書等購入費	大正七年四月	金千八百圓	故時重初熊 志者
薩摩治兵衛獎學資金	東京天文臺ノ經費	大正七年五月	金一萬五千圓	薩 摩 治 兵 衛 志者
中島力造獎學資金	文學部倫理學研究獎勵ノ費途	大正七年七月	金二千五百圓	中島力造 志者
ジョン・ミルン記念獎學資金	醫學部地質學及工學部採礦學ニ關スル研究費	大正七年七月	五分利公債證書額面金三千圓	故ジョン・ミルン 志者

ヘンリー・テリイ獎學資金	法學部教授會ニ於テ適當ノ法律學研究ノ學費	大正七年十二月	金二千二百五十圓	米國人ヘンリー・テリイ 志者
芳我石雄記念獎學費金	傳染病研究所ニ於ケル費途	大正八年二月	金五百圓	芳 我 孝 一 者
武田二郎獎學資金	醫學部藥學科ニ於ケル和漢藥研究ノ費途	大正八年三月ヨリ向三年	金四千五百圓	武 田 二 郎 者
白石直治記念獎學資金	工學部土木工學科學生ノ給費並ニ研究費	大正八年四月	金一萬圓	白 石 多 士 良 者
名兒耶六都記念獎學費金	醫學部ニ於ケル癌腫研究ノ費途	自大正八年七月至同十年年度	金九千七百八十圓	故名兒耶六都 志者
留學生獎學資金	歐米各國ノ留學生派遣ノ費途	自大正八年十一月至同十四年度	金三千七百圓	中野財團理事長 太田 政 弘 者
大丸石雄記念獎學資金	法學部自治制度研究ニ關スル圖書購入費並ニ自治制度研究ニ關スル懸賞論文費	大正八年十一月	金三百圓	大丸 鐵 太 郎 者
石油講座設置獎學資金	工學部ニ於ケル石油講座設置ニ要スル費途	大正八年十二月	金八萬圓	日本石油株式會社 寶田石油株式會社 小倉 常 吉 者
釋宗演記念獎學資金	文學部印度哲學講座增設ノ費途	大正八年十二月	金三萬二千圓	同 釋 宗 敬 活 俊 者
藤澤利喜太郎獎學費金	經濟學部ニ於ケル費途	大正九年一月	金百三十圓	藤澤 利喜太郎 幸 者
山家幸獎學資金	工學部火藥學科ニ於ケル研究費	大正九年二月	四分利公債證書額面金千圓	山 家 幸 九 名 者
安藤政利記念獎學資金	工學部土木工學科ニ於ケル圖書雜誌購入費	大正九年二月	金四百二十一圓	故後藤藤五郎 志者
石油工業ニ關スル學術研究及留學生派遣獎勵費金	工學部ニ於ケル石油工業ニ關スル研究費留學生派遣費	自大正九年三月至同十四年度	金二萬七千圓	中野財團理事長 太田 政 弘 者
中野初子記念獎學資金	工學部ニ於ケル電氣學研究ノ費途	大正九年三月	金二千四百圓	玉木辨太郎 志者
紀要出版費金	醫學部紀要出版ノ費用	大正九年四月	金千四百七十五圓七十錢	莊田鑛業株式會社社長 藤田 徳次郎 者

橫井時敬獎學資金	農學部ニ於ケル農學研究ニ要スル經費	大正九年六月	金二千	橫井時敬志者
橋川源吾記念獎學資金	工學部電氣工學教室ニ於ケル圖書購入費	大正九年六月	金五百	中原岩三郎志者
外科學研究獎學資金	醫學部醫院ニ於ケル外科學一般研究費	大正九年八月ヨリ毎年	金四百五十六圓二十五錢	淺草觀音大慈會會長志者
鈴木梅太郎獎學資金	農學部農藝化學教室ニ於ケル研究ノ費途	大正九年九月	金一萬五千圓	救護榮海
コーラ一文庫維持資金	故伯林大學教授コーラ一博士藏書全部ノ整理及維持ノ費途	大正九年十月	英貨四分利公債證書額面千磅	織田昇次郎
江守襄吉郎記念獎學資金	工學部應用化學教室ニ於ケル圖書購入費	大正九年十一月	金二千六百四十圓	鳴外居有武志者
山縣文吉殉職記念獎學資金	工學部冶金學科ノ獎學研究ノ費途	大正九年十二月	五分利公債證書額面	依外國有一志者
中央化學研究獎學資金	醫學部物理治療所ニ於ケル藥學研究費	大正十年二月	金千九百圓	中央化學研究所代表者
藥學部研究資金	醫學部藥學教室ニ於ケル研究費	大正十年二月	金千	丹波敬三
澁澤元治獎學資金	植物ノ生活力ニ對スル電氣ノ影響ノ研究費	大正十年三月	金千	第一製藥株式會社取締役津村重舍
木村順吉獎學資金	醫學部醫化學教室ノ研究費	大正十年十二月	金二百	木村英雄
石川武美獎學資金	文學部宗教學宗教史研究費	大正十一年一月	金一萬圓	石川武美
入澤達吉獎學資金	醫學部ニ於ケル本邦ニ於ケル地方病ノ研究費	大正十一年二月	五分利公債證書額面	入澤達吉志者

近藤次繁獎學資金	醫學部ニ於ケル學術研究費	大正十一年二月	五分利公債證書額面	近藤次繁志者
矢野亮一志者	工學部電氣工學科ニ關スル圖書及雜誌購入費	大正十一年二月	金四百三十七圓五十錢	山田康太郎志者
松田定久記念獎學資金	醫學部ニ於ケル植物學ニ關スル圖書購入費	大正十一年三月	金八百	松村任三志者
武田長兵衛獎學資金	醫學部藥學科生藥學教室ニ於ケル和漢藥研究ノ費途	大正十一年三月ヨリ至昭和八年三月	金四千五百圓	武田長兵衛
井上勝造記念獎學資金	醫學部附屬醫院近藤外科ニ於ケル學術研究費	大正十一年七月	金四百七十一圓九十五錢	近藤次繁志者
早乙女竹獎學資金	醫學部給費及自然科學獎勵費	大正十一年九月	五分利公債證書額面	早乙女竹
婦人科學研究獎學資金	醫學部婦人科教室ニ於ケル研究費	大正十一年十月	金五百	第一製藥株式會社取締役社長津村重舍
菊池泰二記念獎學資金	醫學部物理學教室ニ於ケル雜誌購入費	大正十一年十月	金四百六十五圓	秋山峯三郎志者
高橋作衛記念獎學資金	法學部ニ於ケル國際法ニ關スル圖書購入費	大正十一年十一月	金二千四百四十圓	矢野亮一志者
義勇財團海防義會獎學資金	航空研究所ニ於ケル航空機械ニ關スル研究補助費	自大正十二年一月至同十四年七月	金四萬五千圓	義勇財團海防義會理事長小松謙次郎
吳秀三獎學資金	醫學部精神病教室ニ於ケル費途	大正十二年二月	金二千	吳秀三
寺野精一記念獎學資金	工學部船舶工學科教室ノ費途	大正十二年二月	四分利國庫債券額面	寺野元英
飯島魁記念獎學資金	醫學部動物學教室ニ於ケル圖書購入費及研究費	大正十二年六月	金二千五百八十四圓七錢	岩川友太郎志者

第二十六章 獎學金

經濟學圖書費金	購入費	大正十二年十一月	金千圓	京都帝國大學經濟學會代表
園藝學講座增設獎學資金	講座增設ノ費途	大正十二年五月	五分利公債證書額面金九萬圓	財部 靜治
ラッド記念獎學資金	文學部ニ於ケル應用心理學研究ノ費途	大正十三年二月	金一萬圓	侯爵 鍋島直映
早田獎學費金	理學部植物學研究室ニ於ケル臺灣植物學研究費	大正十三年三月	金二萬圓	故ジョージ・ラッド
近藤虎五郎記念獎學資金	工學部土木工學科ニ於ケル必要ナル費途	大正十三年五月	五分利公債證書額面金四千圓	日本エール大學會長
研究獎學費金	經濟學部ニ於ケル保險演習ニ關スル圖書購入費	大正十三年十一月	金一萬二百圓	大久保 利武
楠瀨記念獎學費金	火災學普及ノ爲メノ講演又ハ會合ノ費用及圖書機械藥品ノ購入研究及刊行費	大正十三年十二月	東京市第二電氣事業公債ノ號額面金八千三百圓	近藤 光之
寺野精一記念獎學資金	工學部船舶工學ニ關スル學術研究獎勵費	大正十三年十二月	四分利公債證書額面金一萬千圓	矢野恒太
復興獎學費金	附屬圖書館ニ於ケル圖書購入費	大正十三年十二月	金四百五十五圓六十二錢	生命保險會社協會會長
研究獎學費金	醫學部藥學科藥品製造研究室ニ於ケル研究費	大正十四年三月	五分利公債證書額面金五千圓	外加入會社
大島記念獎學費金	工學部冶金學科ニ於ケル研究又ハ會合費	大正十四年三月	五分利公債證書額面金三千五百圓	楠瀨熊治記念會代表者
河村獎學費金	理學部地質學科ニ於ケル費途	大正十四年四月	金五百圓	山本 開藏
服部獎學費金	工學部ニ於ケル獎勵費	大正十四年六月	金壹萬圓	加州大學日本人俱樂部
細正之助記念獎學資金	工學部礦山及冶金學科ニ於ケル費途	大正十四年六月	五分利公債證書額面金二千三百七十五圓	第一製藥株式會社取締役社長

三三六

研究獎學費金	農學部獸醫學教室ニ於ケル馬兜鈴ニ關スル試驗費	大正十四年六月	金壹千圓	帝國競馬協會理事長
脇村獎學費金	醫學部藥學科生藥學教室ニ於ケル研究費	大正十四年六月	金五百圓	安田 伊左衛門
原照記念獎學費金	農學部農學科學生ノ學業佳良貧困者ノ學費補助	大正十四年九月	金一萬一千圓	帝國競馬協會理事長
三好獎學金	理學部ニ於ケル植物學ニ關スル圖書購入費	大正十四年九月	金壹千圓	伯爵 松平頼壽
近藤記念獎學費金	法學部海法研究室ニ於ケル研究ノ費途	自大正十四年	金五圓	脇村 市太郎
子爵濱尾新記念獎學資金	各學部學生優等者學費及大學院學生ノ獎勵費	大正十四年十一月	金千六百圓	發起人總代
丹羽良忠記念獎學資金	理學部地震學科獎學ノ費途	大正十五年一月	五分利公債證書額面金三千圓	湯野 治房
巽獎學費金	經濟學部ニ於ケル經濟學ニ關スル圖書購入費	大正十五年五月	金七圓	子爵 濱尾 四郎
諏訪獎學費金	理學部地震學科ノ獎學費	大正十五年六月	五分利公債證書額面金一千三百圓	巽 孝之丞
山川義太郎記念獎學資金	工學部電氣工學研究並獎學ノ費途	大正十五年七月	帝國電燈株式會社債額面金二千七百圓	諏訪 仁
林密記念獎學費金	工學部鐵冶金學研究ノ費途	大正十五年七月	金千四百三十四圓三十錢	澁澤 元治
瀨木獎學費金	學術研究ノ爲	大正十五年九月	金十五萬圓	林 美代賀

三三七

第二十六章 獎學金

濱口獎學金	醫學部附屬醫院ニ於ケル	昭和六年二月	金五百圓	濱口雄幸
廣井勇記念獎學資	醫學部土木工學科ニ於ケル	昭和六年五月	帝國五分利附公債證書額面 金一萬五千圓	故廣井工學博士記念事 業會委員長中山秀三郎
原田積善會獎學金	地殼變動研究ニ關スル	自昭和六年六月	現金 金一萬一千圓	財團法人原田積善會 常務理事 久田益太郎 坂本嘉治馬
小田康貞記念獎學	醫學部附屬醫院物療內	昭和六年六月	金一萬圓	小田康
土田卯三郎獎學金	醫學部精神科教室研究	自昭和六年七月	金一萬二千圓	土田卯三郎
義勇財團海防義會	航空用重油發動機ノ研	至昭和七年十月	金二萬圓	義勇財團海防義會 理事長 小松謙次郎
獎學金	航空試驗	昭和七年十二月	金二萬圓	田中義次
田中次郎記念獎學	醫學部ニ於ケル(外科)	昭和七年一月	金三萬圓	田中義次
和國小六獎學金	航空研究所ニ於ケル特	昭和六年十一月	金五百圓	和國小六
農學部研究獎學金	農學部獸醫學教室ニ於ケル	昭和七年二月	金一千圓	日本雄雄鑿別普及會長 高橋橋廣治
高野岩三郎氏還曆	經濟學部ニ於ケル經濟	昭和七年三月	金二百三十圓	祝賀記念資委會 代表 矢作榮藏
祝賀記念獎學金	學ニ關スル圖書購入費	昭和七年五月	金二百圓	總代 河村
磯野寅記念獎學金	工學部鑛山及冶金學科	昭和七年五月	金一千一百七圓五錢	長岡半太郎
長岡半太郎獎學金	ニ於ケル圖書購入費	昭和七年五月	金一千五百圓	總代 伊東忠三
塚本靖記念研學資	地殼研究ニ關スル高壓	昭和七年五月	金一萬二千五百圓	藥理研究會 林 春
金	試驗ノ費用	昭和七年七月	金一萬八千圓	故元良勇次郎嗣子 元良良信 太郎
藥理研究獎學金	醫學部ニ於ケル	昭和七年七月	金一萬六千圓	
元良勇次郎記念獎	醫學部心理學科ニ於ケ	昭和七年十二月	金五千圓	

小西獎學費金

醫學部藥學科藥學藥品化學教

昭和八年二月 金一千圓

一千圓

小西新兵衛

第二 貸費及給費生員數

學部通則中ノ特選給費學生貸費及給費規程ニ從ヒ現今貸費及給與若クハ補給ヲ受クル者ノ員數左ノ如シ(昭和八年五月末日現在)

特選給費

八名

男爵菊池獎學資金

二名

獎學ノ爲メ大學院及各學部學生ノ内ヨリ選定ス

男爵濱尾新獎學資金

五名

獎學ノ爲メ大學院及各學部學生ノ内ヨリ選定ス

贈右大臣大久保利通獎學資金

四名

獎學ノ爲メ農學部學生ノ内ヨリ選定ス

田邊秀雄記念獎學貸費金

一名

獎學ノ爲メ工學部建築學科學生ノ内ヨリ選定ス

田邊義三郎記念獎學褒賞及貸費資金

二名

第二十六章 獎學金

工學部土木工學科優等生ノ内ヨリ選定ス

冲野忠雄獎學貸費金

七名

獎學ノ爲メ工學部土木工學科學生ノ内ヨリ選定ス

住友吉左衛門獎學貸費金

四名

獎學ノ爲メ工學部學生ノ内ヨリ選定ス、

太田六郎記念獎學貸費金

一名

工學部土木機械工學科學生ノ内ヨリ選定ス

東京瓦斯株式會社獎學貸費金

一名

工學部應用化學科學生ノ内ヨリ選定ス

阿川重郎獎學貸費金

一名

獎學ノ爲メ工學部學生ノ内ヨリ選定ス

古河市兵衛獎學貸費金

一名

獎學ノ爲メ工學部學生ノ内ヨリ選定ス

清水滿之助獎學貸費金

一名

獎學ノ爲メ工學部建築學科學生ノ内ヨリ選定ス

此他法學部ニ於テハ海軍主計學生トナル者醫學部ニ於テハ陸軍衛生部醫學部依託學生海軍軍醫學生及同藥劑學生トナル者工學部ニ於テハ海軍造船學生同造船學生及造兵學生トナル者農學部ニ於テハ陸軍獸醫部農學部依託學生及生徒トナル者ノ爲ニハ陸海軍省ヨリ又農學部學生生徒ニシテ卒業後實業學校ノ教職ニ就カントスル者ノ爲ニハ實業學校教員養成所規程ニ依リ各學費ヲ支給スルノ設アリ

第三 「シエイクスピア」賞牌授與ニ關スル規程

第一條 「シエイクスピア」賞牌ハ東京帝國大學學生及卒業生ニシテ英國ノ言語文學

美術歴史又ハ制度文物ニ關シ優秀ニシテ獨自ノ研究ニ成レル論文ヲ提出シタル

者一名ニ毎年之ヲ授ク

第二條 論文提出者ハ左記ノ一ニ該當スル者ナルコトヲ要ス

一、學部學生ニシテ入學後一年以上ヲ經過セル者

二、大學院學生

三、大學院學生以外ノ本學卒業生ニシテ卒業後一年ヲ經過セサル者

第三條 既ニ賞牌ヲ授ケラレタル者ハ再ヒ論文ヲ提出スルコトヲ得ス

第四條 論文ハ東京帝國大學總長ノ囑託ニ係ル委員之ヲ審査ス

審査委員ヲ三名トス但シ必要ニ應シ參加委員ヲ置クコトアルヘシ

第五條 適當ナル論文ナキトキハ授賞ヲ行ハサルモノトス

「シエイクスピア」賞牌論文提出者注意要項

一、論文ノ募集ハ每學年ノ初メニ之ヲ告知ス

二、論文ハタイプライターニテ印書シ用紙(二十五行詰)三十頁以上四十頁以下トス

三、論文ハ三通ヲ作り十一月三十日マテニ總長宛提出スヘシ

四、論文ハ表紙ニ學籍、入學年、姓名、住所、生年月日ヲ記載シ「シエイクスピア」賞牌論文ト

朱書シタル封筒ニ入レ提出スヘシ

五、賞牌ヲ授ケラルヘキ者ノ氏名ハ二月上旬之ヲ告知ス

受賞者

昭和四年度

文學部英吉利文學科學生

佐々木 達

昭和五年度

文學部政治學科學生

河崎 一郎

昭和六年度

文學部英吉利文學科學生

佐山 榮太郎

昭和七年度

ナシ

東京帝國大學附屬圖書館商議委員長 四、二二
 東京帝國大學醫學部附屬醫院長 四、二五
 東京帝國大學醫學部附屬醫院長 四、二五
 東京帝國大學助教授 五、一六
 東京帝國大學助教授 五、一一
 東京帝國大學助教授 五、一一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一
 東京帝國大學附屬圖書館商議委員 五、三一

轉免、死亡、休職

北海道帝國大學教授 五、四、一
 卒去 四、一二
 依願免官 四、一九
 卒去 五、一六
 東京帝國大學醫學部附屬醫院長 六、九
 海外出張不在代理 七、三
 契約期間満期 七、三
 依願免官 七、一一
 同 七、一一

兼助教 吉田洋一
 技師 野村孝次郎
 助教 大槻茂雄
 教授文學博士 木村泰賢
 教授醫學博士 稻田龍吉
 文學部備外國人教師 アランデル・デル・レ
 助教授 平野義太郎
 助教授 山田盛太郎

教授醫學博士 高柳賢三
 教授醫學博士 長岡又三郎
 教授醫學博士 石井順次郎
 教授醫學博士 石井照四郎
 教授醫學博士 福井勇二
 教授醫學博士 漆原義三
 教授醫學博士 高橋邦彦
 教授醫學博士 橋田義清
 教授醫學博士 大島三喜
 教授醫學博士 市河三喜
 教授醫學博士 吉江三喜
 教授醫學博士 雨宮三喜
 教授醫學博士 舞出五郎

地震研究所所員 九、一八
 東京帝國大學法學部長 九、三〇
 休職 一〇、二
 航空研究所長海外出張不在代理 一〇、一七
 東京帝國大學理學部附屬植物園長 一〇、二〇
 東京帝國大學農學部附屬植物園長 一〇、二〇
 依願免官 一、二四
 東京帝國大學司書官事務取扱 一、二四
 東京帝國大學教授 一、三〇
 依願免官 三、一九
 免兼官 三、二〇
 東京帝國大學評議員 三、二五
 依願免官 三、三一
 同 三、三一
 同 三、三一
 岡山醫科大學助教授 四、二四
 東京工業大學助教授 五、二一
 休職 六、一三
 死去 六、一五
 航空研究所所員 六、一五
 東京帝國大學農學部學生主事事務取扱 六、一七
 同 七、一六
 航空研究所所員 八、八
 東京帝國大學文學部長 九、一一

助教授 多田文男
 教授法學博士 中田重雄
 教授法學博士 佐々木重雄
 教授理學博士 田丸卓郎
 教授理學博士 早田文藏
 教授理學博士 岩住良治
 教授理學博士 遠藤美壽
 教授理學博士 長澤正雄
 教授理學博士 石川政吉
 教授理學博士 横手千代之助
 教授理學博士 平賀讓
 教授理學博士 長與正郎
 教授理學博士 加藤正治
 教授理學博士 矢野正治
 教授理學博士 今村恒藏
 教授理學博士 常盤大定
 教授理學博士 根岸一博
 教授理學博士 石原喜久太郎
 教授理學博士 木下久太郎
 教授理學博士 本多國助
 教授理學博士 野間海造
 教授理學博士 大岡海造
 教授理學博士 濱部源次郎
 教授理學博士 瀧部源次郎

職員移動

二、二、二、二、二、七、一、一、一、一、一、一、一、一、九、九、九、八、八、八、六、四、四、
 二、二、八、六、三、一、一、一、一、一、〇、〇、〇、一、九、八、三、二、九、一、三、一、
 六、六、三、一、一、一、一、一、一、三、二、二、一、〇、七、一、〇、四、
 一、三、一、八、四、一、二、〇、九、三、

職員移動

教授藥學博士 近藤平三郎
 教授醫學博士 山田信之
 教授醫學博士 三宅信廣
 教授醫學博士 大田義治
 教授醫學博士 高田貞次
 教授醫學博士 田中直
 教授醫學博士 末松雄次
 教授醫學博士 林松次
 教授醫學博士 片山春夫
 教授醫學博士 立木正
 教授醫學博士 井上通太
 教授醫學博士 今村明
 教授醫學博士 斯波三郎
 教授醫學博士 加藤恒
 教授醫學博士 橫手千代雄
 教授醫學博士 柴田次郎
 教授醫學博士 麻生慶次郎
 教授醫學博士 石川政次郎
 教授醫學博士 土田美吉郎
 教授醫學博士 山田信一郎
 教授醫學博士 後藤重正
 教授醫學博士 阿部良三郎
 教授醫學博士 竹內藏一郎
 教授醫學博士 學生主事
 助教授醫學博士 坂本恒雄
 助教授醫學博士 江口伊能
 助教授醫學博士 竹田重
 助教授醫學博士 林博太郎
 助教授醫學博士 高田真太郎
 助教授醫學博士 塩谷不二雄
 助教授醫學博士 吳田慎一
 助教授醫學博士 福田建雄
 助教授醫學博士 原田三郎
 助教授醫學博士 諸原三郎
 助教授醫學博士 高木北郎
 助教授醫學博士 辻村逸郎
 助教授醫學博士 田中敬一郎
 助教授醫學博士 星合正治
 教授醫學博士 本位祥男
 教授醫學博士 土方成美
 教授醫學博士 蠟山政道
 教授醫學博士 平林武皓
 教授醫學博士 那須太郎
 教授醫學博士 鈴木梅三
 教授醫學博士 市河三喜
 教授醫學博士 谷津直秀

四、四、三、二、六、一、一、一、一、一、一、一、一、九、九、九、九、九、九、九、八、八、六、
 一、五、一、二、一、二、二、一、〇、〇、〇、〇、三、二、一、一、八、八、七、二、二、六、九、
 三、九、二、一、二、一、一、一、二、一、一、二、〇、六、二、二、九、
 四、〇、五、三、六、四、四、七、〇、

傳染病研究所技師

教授醫學博士 塩田信廣
 教授醫學博士 山田義治
 教授醫學博士 大田貞次
 教授醫學博士 高田直
 教授醫學博士 田中直
 教授醫學博士 末松雄次
 教授醫學博士 林松次
 教授醫學博士 片山春夫
 教授醫學博士 立木正
 教授醫學博士 井上通太
 教授醫學博士 今村明
 教授醫學博士 斯波三郎
 教授醫學博士 加藤恒
 教授醫學博士 橫手千代雄
 教授醫學博士 柴田次郎
 教授醫學博士 麻生慶次郎
 教授醫學博士 石川政次郎
 教授醫學博士 土田美吉郎
 教授醫學博士 山田信一郎
 教授醫學博士 後藤重正
 教授醫學博士 阿部良三郎
 教授醫學博士 竹內藏一郎
 教授醫學博士 學生主事
 助教授醫學博士 坂本恒雄
 助教授醫學博士 江口伊能
 助教授醫學博士 竹田重
 助教授醫學博士 林博太郎
 助教授醫學博士 高田真太郎
 助教授醫學博士 塩谷不二雄
 助教授醫學博士 吳田慎一
 助教授醫學博士 福田建雄
 助教授醫學博士 原田三郎
 助教授醫學博士 諸原三郎
 助教授醫學博士 高木北郎
 助教授醫學博士 辻村逸郎
 助教授醫學博士 田中敬一郎
 助教授醫學博士 星合正治
 教授醫學博士 本位祥男
 教授醫學博士 土方成美
 教授醫學博士 蠟山政道
 教授醫學博士 平林武皓
 教授醫學博士 那須太郎
 教授醫學博士 鈴木梅三
 教授醫學博士 市河三喜
 教授醫學博士 谷津直秀

五、四、一、二
五、六、二、四
五、九、二、八
六、一、二、八
七、一、二、二
八、一、二、二
九、一、二、六
一〇、一、二、五
六、一、三

職員移動

在外研究員歸朝

獨 獨 米 獨 獨 英 佛 英 米 英 米
三、三、三、三、八、一、一、八、七、三、三、
三、二、二、一、一、二、一、二、一、三、三、
一、五、五、九、一、二、二、四、一、一、

傳染病研究所 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
理學部 助教授醫學博士 農學部 助教授醫學博士
理學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
醫學部 助教授醫學博士 農學部 助教授醫學博士

東 菅 野 宗 江 妹 千 南 野 鈴 山
龍 喜 拓 尙 英 克 英 綱 大 郎
三 人 三 行 文 惟 浩 一 吉 遂 郎

助教授理學博士 助教授理學博士 助教授理學博士
助教授醫學博士 助教授醫學博士 助教授醫學博士
助教授文學博士 助教授醫學博士 助教授醫學博士
助教授醫學博士 助教授醫學博士 助教授醫學博士
航空研究所 助教授醫學博士

小 高 丘 青 入 馬 安 田 田 石 石
倉 田 倉 英 秀 宗 敬 修 重 忠 政 房
三 郎 通 壽 治 平 郎 男 吉 雄

獨 獨 英 獨 獨 英 米 米 佛 英 獨 米 佛 英 米 米 獨 米 獨 獨 露、
七、 六、 五、
三、二、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、二、二、二、〇、〇、二、一、一、〇、三、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
九、二、二、一、二、三、九、四、九、〇、一、一、一、一、一、一、一、一、一、
一、七、四 七 九

在外研究員

醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士
醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士 醫學部 助教授醫學博士

大 小 岸 遠 矢 佐 平 漆 杉 野 三 伊 大 赤 野 小 錄 久 伊 長 伊 湯 美
政 鳥 山 山 伯 原 村 間 藤 山 塚 林 田 留 藤 井 本 淺 濃
正 俊 三 祐 誠 義 三 海 敬 貞 京 西 貞 京 武 貞 孝 貞 亮
隆 二 三 武 一 嵩 之 郎 造 義 市 治 謙 一 勝 一 琴 吉 古

職員移動

六、七、八、八、一、一、二、二、三、三、四、五、
 一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、
 一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、

助教授農學博士 吉田正
 助教授農學博士 永井彰
 助教授農學博士 野間海
 助教授農學博士 伊藤貞
 助教授農學博士 平山留
 助教授農學博士 久留山
 助教授農學博士 矢野秀
 助教授農學博士 長井維
 助教授農學博士 小島俊
 助教授農學博士 菅野拓
 助教授農學博士 長井真
 助教授農學博士 多田文
 助教授農學博士 東原太
 助教授農學博士 漆原龍
 助教授農學博士 篠原喜
 助教授農學博士 人之郎

一、二、三、三、四、五、六、六、六、七、七、七、八、八、九、九、
 一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、
 一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、一、二、

助教授農學博士 大野正
 助教授農學博士 水野武
 助教授農學博士 末綱康
 助教授農學博士 井上義
 助教授農學博士 尾見興
 助教授農學博士 淺井三
 助教授農學博士 永井政
 助教授農學博士 黑屋佐
 助教授農學博士 酒井志
 助教授農學博士 西井三
 助教授農學博士 平井梅
 助教授農學博士 平井泉
 助教授農學博士 福井邦
 助教授農學博士 菊井次
 助教授農學博士 大井正
 助教授農學博士 中山武
 助教授農學博士 松澤敬
 助教授農學博士 田中一
 助教授農學博士 水島重
 助教授農學博士 菅澤俊
 助教授農學博士 宮澤誠
 助教授農學博士 佐伯明
 助教授農學博士 遠山祐
 助教授農學博士 三男一

